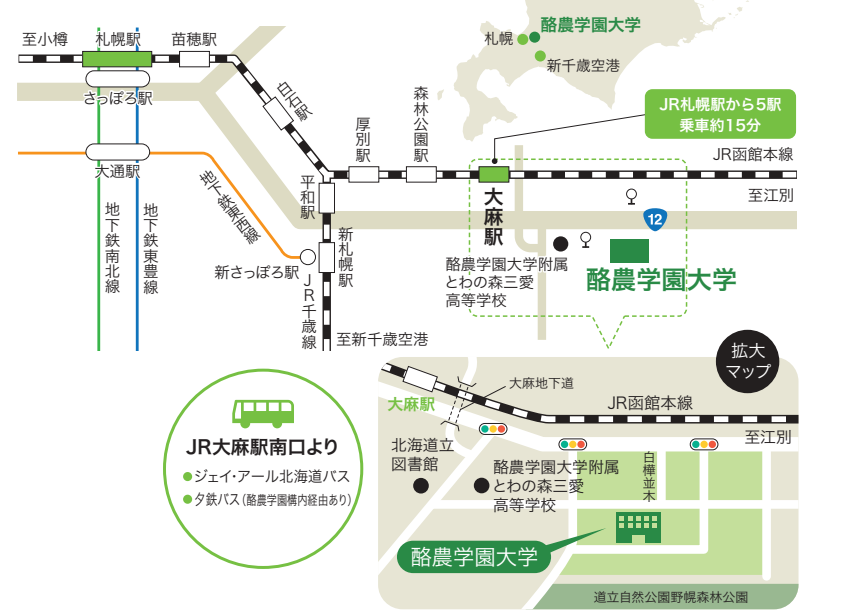
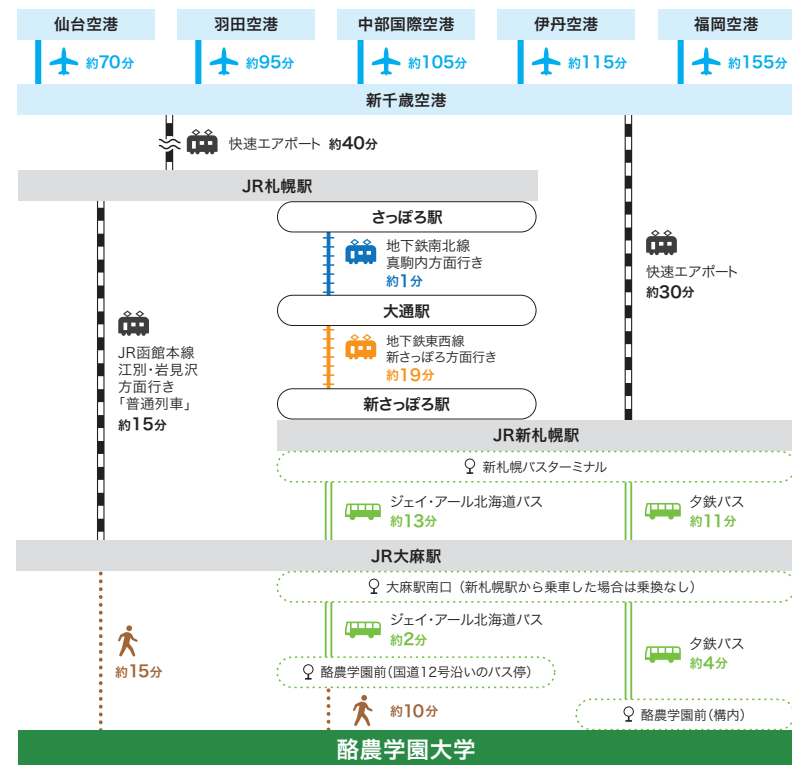


# ACCESS



## 酪農学園大学への主な交通機関



## 生きるを学ぶ。学びが生きる。 酪農学園大学

- 農食環境学群 | 循環農学類 | 食と健康学類 | 環境共生学類
- 獣医学群 | 獣医学類 | 獣医保健看護学類
- 大学院 | 獣医学研究科 | 酪農学研究科

https://www.rakuno.ac.jp  
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

入試広報センター TEL (011)388-4138 FAX (011)386-1220  
0120-771-663



酪農学園大学は、2020年度公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において、大学評価基準に適合していると認証されました。

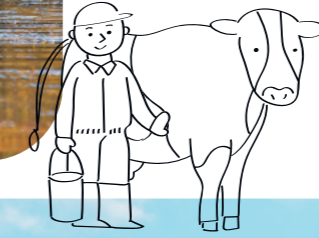
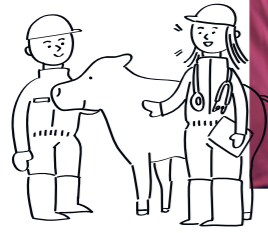
障がいのある方への支援について 受験や就学については、事前にご相談ください。  
酪農学園大学では、健康増進法の第25条に受動喫煙防止が規定されたことを受け、教育・研究・医療機関としての法の精神に鑑みて、2011年4月1日から敷地内を全面禁煙としています。  
この大学案内は2024年3月現在の情報を基に作成しております。

酪農学園大学 大学案内 2025

# RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

## GUIDEBOOK 2025

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY



# Life

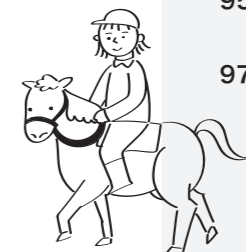
生きろを学ぶ。  
学びが生きる。

「動物たちを幸せにしたい」  
「安心して食べられるものをつくりたい」  
「かけがえのない自然を大切にしたい」

人と動物と自然は互に関わり、  
つながって生きている。  
そんなさまざまな「LIFE」が  
酪農学園大学にはあります。

好きなことを学ぼう。  
やりたいことに挑戦しよう。  
充実した環境のキャンパスには  
ともに歩む先生や仲間がいる。  
夢中になれる毎日がチカラになり  
社会へ、未来へとつながっていく。

ここからあなたの LIFE を見つけよう。



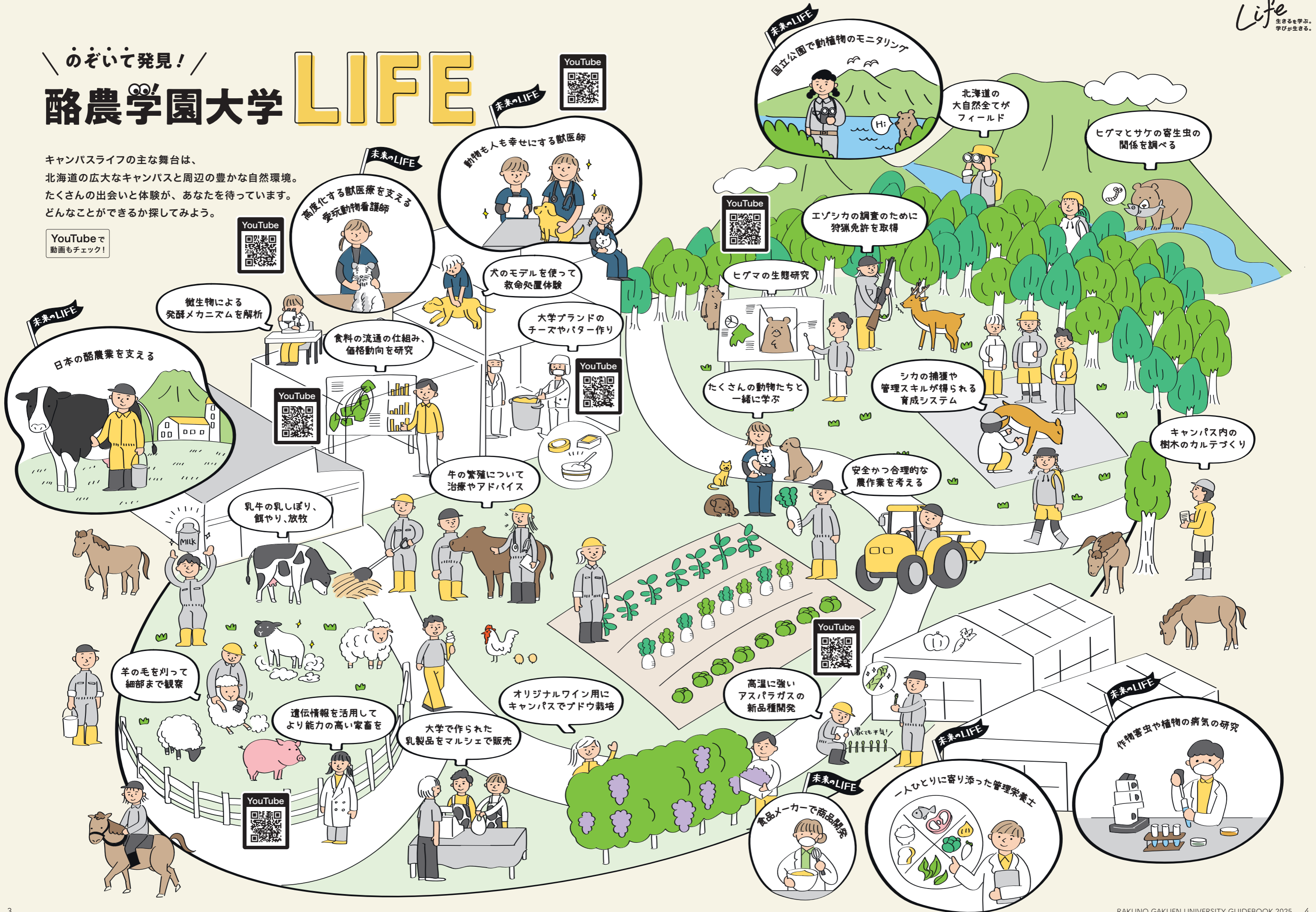
## Contents

- 03 のぞいて発見!  
酪農学園大学 LIFE
- 05 酪農 KNOW 学園大学  
11 TOPICS
- 07 わたしが学ぶ Life!
- 13 キャンパスマップ
- 15 現場に強い実践力が身につく  
専門施設
- 23 酪農学園大学の実学教育
- 29 教職コース・教職課程
- 31 LIFE×WORK  
社会で活躍する卒業生
  
- 37 建学の精神
- 38 学長メッセージ
- 39 学群・学類紹介
- 41 基盤教育
  
- 43 農食環境学群
- 45 循環農学類
- 53 食と健康学類
- 61 環境共生学類
  
- 69 獣医学群
- 71 獣医学類
- 77 獣医保健看護学類
  
- 83 国際交流
- 84 大学院
- 85 地域・企業との連携
- 86 キャリアサポート
- 87 卒業生就職データ
  
- 89 キャンパスライフ
- 91 施設紹介
- 93 クラブ・サークル紹介
- 95 My Rakuno Life  
学生寮／一人暮らし
- 97 OPEN CAMPUS

# のぞいて発見！ 酪農学園大学 LIFE

キャンパスライフの主な舞台は、  
北海道の広大なキャンパスと周辺の豊かな自然環境。  
たくさんの出会いと体験が、あなたを待っています。  
どんなことができるか探してみよう。

YouTubeで  
動画もチェック！



**日本の酪農業を支える**

微生物による発酵メカニズムを解析

YouTube

**動物も人も幸せにする獣医師**

高度化する獣医療を支える愛玩動物看護師

犬のモデルを使って救命処置体験

YouTube

食料の流通の仕組み、価格動向を研究

大学のブランドのチーズやバター作り

YouTube

牛の繁殖について治療やアドバイス

**未来のLIFE**

国立公園で動植物のモニタリング

北海道の大自然全てがフィールド

ヒグマとサケの寄生虫の関係を調べる

エゾシカの調査のために狩猟免許を取得

YouTube

**未来のLIFE**

ヒグマの生態研究

たくさんの動物たちと一緒に学ぶ

シカの捕獲や管理スキルが得られる育成システム

安全かつ合理的な農作業を考える

YouTube

**未来のLIFE**

羊の毛を刈って細部まで観察

遺伝情報を活用してより能力の高い家畜を

大学で作られた乳製品をマルシェで販売

オリジナルワイン用にキャンパスでブドウ栽培

YouTube

**未来のLIFE**

食品メーカーで商品開発

一人ひとりに寄り添った管理栄養士

作物害虫や植物の病気の研究

YouTube



みんな知ってる？

# ラク KNOW 学園大学 11 TOPICS

北海道にあって、牛や馬がいる…それはこの大学のほんの一部！知られていないけどすごいこと、知られているけどやっぱりすごいこと。もっと知ってほしい酪農学園大学の魅力をギュギュっとご紹介！



## 全学類あわせて 43種類以上

の資格が取れる！  
実学だから強い！さまざまな分野の資格取得に対応しています。全学類あわせて約43種類以上の資格が取得可能です。



モンゴル ホスタイ国立公園  
環境共生学類  
「海外自然環境実習」

## 日本の私大で 一番！？

広大なキャンパスは  
東京ドーム約28個分！

本学キャンパスの総面積は約135ha。その広さは実に東京ドーム約28個分。この中に講義棟、農場、動物病院、研究施設などさまざまな施設があります。

わたしたちが  
育てました！！



## 学生たちが A-5ランクの お肉を育てる！

元野幌肉牛農場(肉畜生産ステーション)で学生たちが丹精込めて育てた黒毛和種がA-5ランクのお肉に認定されました。肉畜の飼育、生産、医療、出荷までを学ぶことができます。

## 実習で作る乳製品が ふるさと納税 の返礼品に！

乳製品製造実験実習室で製造している乳製品(アイスクリーム、バター、チーズ)が、江別市のふるさと納税のお礼品に指定されました。



## 年間約 45,300件以上！ 日本一の診療件数

キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、犬や猫などの伴侶動物で約8,900件、牛や馬などの生産動物が約36,400件を数えます。



## 就職率 97.7%

入学直後からのサポートで  
進路計画もしっかり！

講座やセミナーをはじめ多角的な支援体制を構築し、学生の個性や適性、志望を生かした進路を支援することで、高い就職実績を実現しています。

※2022年度実績

## 実は札幌まで 15分



JR札幌駅から大学の最寄駅まで15分。利便性の高い環境に広大なキャンパスが立地しています。

## フィールドは キャンパス内から 世界まで

フィールドワークの舞台はキャンパス内から海外まで。実習・実験・演習を多く取り入れ、北海道から世界のフィールドで実学教育を実践しています。

## チーズ、アイス、ソーセージ… ぜんぶ学内で 作れちゃう！

ハムやソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやアイスクリームなどをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。



## 全国トップクラスの 愛玩動物 看護師 合格率



第1回愛玩動物看護師国家試験の合格率(既卒者含む)は95.1%(全国平均88.9%)。全国平均を上回り、大学別でも上位の結果となりました。

## 高い実績を維持し続ける 管理栄養士 国家試験 合格率

2018~22年の5年間の平均合格率92.1%と高い実績を誇っています。1学年40名の少人数クラスで、きめ細かな教育と国家試験対策が可能です。

# わたしが学ぶ Life!

畜産業界に貢献  
できる人材に  
トータルに畜産の  
知識を身につけ、

## 畜産大国“北海道”だからできる 専門かつ実践的な学びの環境

私は高校時代から学びの中で但馬牛の繁殖・肥育一貫経営を行うなど、和牛に触れる機会がある環境で過ごしていました。和牛についての学びをより深めたいという思いから、酪農学園大学への進学を決めました。

現在は家畜繁殖学研究室に所属し、和牛の専門分野で活躍されている堂地先生のもとで牛の繁殖について学んでいます。将来は和牛の改良に携わりたいと考えていた中で、繁殖の専門的な学びとともに、元野幌農場での肉牛の飼育管理を通して実践的な知識も身につけられることに惹かれて、この研究室を選択しました。学生主体の農場運営はほかの大学ではなかなかできないことだと思いますし、家畜繁殖を学ぶのにはとても恵まれた環境だと感じています。

私が現在取り組んでいる研究は、和牛の60日哺乳です。飼料価格の高騰により、全国の畜産農家の経営は厳しくなっています。そのため、哺乳の面からも少しでもコストを削減し、経営の負担軽減につなげることができれば、という思いから研究を始めました。また、繁殖関係にも関心を持って取り組んでいます。繁殖は畜産経営に直結する問題とされていて、繁殖がうまく行けば経営も良くなっていくため、この分野の

知識をしっかり身につけることで、畜産農家の方により貢献できると考えています。

循環農学類の最も良いところは、実践的な学びです。学内や元野幌農場で飼育している和牛の頭数も多く、実習を通して専門的に体験しながら技能を身につけることができるのは、北海道という畜産大国をフィールドに持つからこそできる学びだと感じます。また、先生方や同じ目標を持つ仲間たちをはじめ、実習先の方、搾乳アルバイトの方々など、多くの人との出会いを通じて成長できる機会があるのも本学の魅力です。

今後はこの大学で学んだ知識を最大限に生かして、畜産業界に貢献したいと考えています。そしていつかは地元に戻り、兵庫県の畜産を活性化させていきたいです。

### わたしと酪農学園大学

#### 学びが深まる環境

酪農学園大学ではどの分野でも専門の先生方がいるため、疑問はすぐに解消でき、知識として着実に身につけることができます。北海道という畜産大国でしか学べないことも多くあり、酪農学園大学で過ごす4年間は有意義なものになると感じています。



酒井 春菜さん  
農食環境学群  
食と健康学類 食品開発学コース  
食品物理学研究室 4年  
北海道/北海道遠別農業高等学校 出身

## 「おいしさ」という曖昧な概念を 物理で考え数値化する挑戦が楽しい

### 「楽しそう」という興味は 自分の可能性を広げる きっかけになる

高校時代に食品について学び、パウンドケーキやレトルト食品、ラム肉のソーセージなど実際に加工・販売し、作物や家畜が食品として加工され消費者の手にわたっていくところに面白さを感じました。商品開発の経験をきっかけに、「おいしさとは何だろう?その要因を研究したい」と思うようになり、食と健康学類にある食品物理学研究室の「おいしさを物理で考える」というキャッチコピーに魅かれて本学に進学を決めました。

「おいしさ」はとても複雑な概念で数値化することが難しいとされていますが、食品物理学研究室では物理の指標を使って「おいしさ」を数値で表すことを試みています。曖昧な概念をどこまですっきりと数字で説明できるか、という挑戦が楽しいです。現在は「チーズフォンデュの流動特性について」をテーマに研究しています。

チーズは原料が全く同じでも、その製造方法によって硬さや伸び方などの特性に差が生まれ、奥が深い食べ物だと思います。

私は食品原料等を製造している企業に就職することが決まりました。大学で得た知識や研究に取り組む基本姿勢を仕事に生かしながら、営業や品質管理などさまざまな業務にマルチに挑戦し、会社にとって不可欠な存在になることが目標です。

進学先を選ぶ際、「楽しそうだから」という理由でも良いと思っています。私も「野菜を育てるのが楽しそうだから」農業高校に進学し、「おいしいものが食べたくて」酪農学園大学を選びました。食と健康学類では、まず食について幅広く学んでから、その中でも自分が興味を持った分野についてより深く学んでいくことができます。私自身、研究に力を入れたいと思っていたので、研究室の先生が担当されている講義や実験には特に真剣に取り組んでできました。また、食品関連ではない業界の企業からも内定をいただいたこともあり、食と健康学類での学びや取り組み

はさまざまなところで生かすことができますし、卒業後の可能性は自分次第で広がってゆくと思います。ぜひ本学で楽しく学ぶ中で、気が付いたら成長している喜びを感じてほしいです。

### わたしと酪農学園大学

#### 緑に溢れるキャンパス

白樺並木や畑に育つ野菜など、キャンパスに緑が溢れていることは酪農学園大学の大きな魅力の一つです。美しい自然の緑は見ているだけで癒されます。秋には学内で採れたばかりの新鮮な野菜を、お手頃な価格で買えたり、貰えたりするのも嬉しいです。

谷川 未菜さん  
農食環境学群  
循環農学類 畜産学コース  
家畜繁殖学研究室 4年  
兵庫県/兵庫県立農業高等学校 出身

## 食の奥深さを知ることができる 本学ならではの多様な経験

管理栄養士コースは、1年生から管理栄養士になるための専門科目を学ぶことができ、健土健民入門実習や食品加工の実習を通して食べ物へのありがたさを身近に感じながら管理栄養士になることができる素敵な環境です。

本学の多様な学びの中でも、学生で班を作り約80食の大量調理を行った3年次の給食管理実習Iは印象に残っています。給食経営管理論等で学んだ知識や大量調理施設衛生管理マニュアルの内容を実践で活用していくのですが、はじめは中々うまくいかないことが多かったです。班員同士で何度もディスカッションを重ね、メンバーからの意見やアドバイスを聞いて試行錯誤しながら改善していくことができました。本番では予定よりもスムーズに調理が進んで時間通りの提供を行うことができ、達成感を味わいました。また、この実習を通して、食材の下処理作業をする人、調理作業をする人などさまざま

な視点から学ぶことができるので、管理栄養士として考えなければならないことがよく理解できたと感じます。

私が所属している給食栄養管理研究室では、栄養に配慮した商品開発やレシピ考案を行っています。昨年度は服部醸造株式会社の新商品である雲丹ソースのレシピ考案に携わりました。雲丹ソースの味や風味を無くさず、食塩量にも考慮した商品にするために、ゼミ生と一緒に何度も試作を重ねてレシピを考案しました。ノーステック財団の新規開発商品発表会では、どのように考えて作ったのかを発表し、雲丹ソースの商品紹介プリントには私たちが考えたレシピを掲載していただきました。レシピ考案の難しさや奥深さを学んだ貴重な経験も、本学だからこそできたことだと思います。

管理栄養士コースは少人数クラスのため、先生方も学生が理解できるまで丁寧に教えてくれます。就職活動などの相談にものってくれますし、先生方との距離が近いことも特長です。本格的な設備も整備されていて、管理栄養士を

目指す人にとって魅力的な環境です。本学で身につけた知識や経験を生かし、栄養を通してさまざまな方の健康をサポートできる管理栄養士になりたいと思っています。

### わたしと酪農学園大学

#### 有意義な調理の時間

大量調理を行える給食栄養管理研究室は、授業やゼミ活動、白樺祭に出すメニューの試作など、さまざまなことでよく使用しています。スチームコンベクションオープンなどの特殊な機器もあり、レシピの試作や味噌づくりなど、ゼミ生と笑顔で楽しく調理できる場所で、充実した時間を過ごすことができます。

## 栄養管理のプロとして、 人々の健康をサポートしていく



新木 ゆうさん  
農食環境学群  
食と健康学類 管理栄養士コース  
給食栄養管理研究室 4年  
北海道/市立札幌啓北商業高等学校 出身

## さまざまなフィールドワークを行い、 知識と実践力を身につける

高校時代の私は教員の道を目指すとともに、野生動物に関する研究にも関心があり、どちらについても学べることから本学への入学を決めました。本学で学ぶうちに「人間と野生動物との軋轢問題」に興味を持ち、軋轢改善に向けて調査・活動をしている野生鳥獣管理学研究室に所属することにしました。アライグマをはじめとした、野生動物に関するさまざまな論文を読み知識を蓄え、どのようにしてアライグマを捕獲するのかといった実際のフィールドワークを行うことで、学びを深めています。

環境共生学類では自分と同じ分野に興味を持つ友人と出会い、共に行うさまざまなフィールドワークを通じて、確かな知識と実践力を身につけることができます。研究室は和気あいあいと

した雰囲気、先生・学生の枠にとらわれない意見交換が活発な環境です。楽しく充実した日々を過ごしています。こうした交流を通じて気付いたことが、コミュニケーションの大切さでした。

調査や研究は、基本的に一人では成り立ちません。先生方やほかの学生だけでなく、実際の現場で働く方々や、地域住民の皆さまなど、さまざまな人の協力が必要不可欠です。密なコミュニケーションを通じて多くの方に協力していただくことで、調査・研究は初めて一つの成果を得られる、ということを本学で学びました。

卒業後は大学院への進学を希望しています。大学院で教育についてより深く学びつつ、今よりもさらに多くの人と関わっていきたいです。コミュニケーション能力に磨きをかけ、将来はさまざまな人の気持ちに立ち、物事を考えることができる教員になりたいと思います。

## 密なコミュニケーションを通じて、 調査・研究は成果を得られる



青木 慧斗さん  
農食環境学群  
環境共生学類 野生動物学コース  
野生鳥獣管理学研究室 4年  
北海道/北海道科学大学高等学校 出身

### わたしと酪農学園大学

#### 出会いのある場所

私にとって酪農学園大学とは、多くの出会いがある場所。調査・研究をはじめとしたさまざまな活動で学内という枠を越え、いろいろな方々と関わりを持てる機会がたくさんあります。みなさんも本学での一つひとつの出会いを大切に、真剣に向き合い、充実した学生生活を送ってください。



村上 美里さん  
獣医学群  
獣医学類  
獣医臨床病理学ユニット 5年  
愛知県 / 名古屋市立菊里高等学校 出身

### 動物のストレスを測定・評価し、動物福祉の向上に繋げる

幼少期から動物飼育員を目指していたものの倍率が非常に高く、高校時代には動物に関する資格を取得したら夢に近づけるのでは、と考えていました。高校3年生のときに国家資格となった愛玩動物看護師、さらに人数は限られますが家畜人工授精師の資格を取得できる、酪農学園大学への進学を決めました。

入学後にいろいろと学んだ中で、印象的だったのが犬のお世話です。犬を飼ったことがなく最初は不安でしたが、グループのみんなと相談しながらしつけの仕方などを実践的に学ぶことができました。本学では伴侶動物だけでなく生産動物にも関わることができ、獣医学類の先生が担当の授業もあり、より深く知識を身につけることができます。先生との距離も近いので相談しやすく、質問すれば丁寧に教えていただけます。

将来は家畜人工授精師になるために、資格取得に向け牛に関わる授業に取り組んでいます。

進学前は大きい牛に恐怖感がありましたが、1年生のときの健士健民入門実習で触れてから牛が好きになり、牛飼師の資格などを取得しました。動物生命科学ユニットに所属し、将来役立てることができるよう、動物のストレスの測定と評価についても研究しています。言葉でコミュニケーションを取ることができない動物のストレス値を測定し、高い場面ではどう軽減させるか。「幸せホルモン」であるオキシトシンをどう指標とするか。ネガティブだけではなくポジティブなストレスも測定・評価することで、動物福祉の向上に繋がっていくと考えています。酪農家や牛のためにたくさんの知識と技術を身につけ、信頼される家畜人工授精師になりたいです。

酪農学園大学にはいくつもの質の高い授業があり、たくさんの選択肢があります。気になったことには挑戦し、積極的に行動しているいろいろな経験をしてみてください。ぜひ多くの人と関わり、充実した4年間を過ごしてほしいと思います。

#### わたしと酪農学園大学

#### 獣医学群学生委員会 SAVER

実習や講義、施設などの評価をし、教育の質を向上させることが目的の学生委員会、SAVERに参加しています。学生からの意見・要望を先生方に提示し、返答をフィードバック。みんなにとってのより良い学生生活に繋げることができたら嬉しいですね。



## 知識と技術を身につけ、信頼される 家畜人工授精師 になりたい

## 伴侶動物・生産動物 ともに幅広く学び、 多角的な視点を養う



### 飼い主様にも寄り添うことができる 獣医師になるために

実家で飼っていた犬が動物病院にかかった際、素人では分からない症状を判断し治療して下さる先生の姿が強く印象に残りました。それが獣医師という職業に憧れを持つようになったきっかけです。獣医師を目指すなかで、酪農学園大学は伴侶動物・生産動物の両方を幅広く学べることを知りました。子どもの頃から馬が好きで、祖父母宅の近くにある牧場によく馬を見に行っていたこともあり、馬産業の盛んな北海道で獣医学を学べることに魅力を感じ、入学を決めました。

所属している獣医臨床病理学ユニットでは、呼吸器の超音波検査など、牛のエコー診断について研究しています。犬や猫は一匹だけを診る形ですが、群れで活動する牛の場合、個体を診るだけでなく、ほかの牛も同じ病気にかかっていないか診察するなど、群れ単位の健康管理を行います。入学当初はそれほど牛に興味があ

ったのですが、群れで管理するという考え方が面白く、今では楽しんで研究しています。授業では馬・中小家畜臨床学が興味深く、もともと好きだった馬の特徴、起りやすい疾患、それに関する対応・治療法・予防法などを学ぶことができている。馬だけではなくエキゾチックアニマルや野生動物など多種多様な動物種についての授業があり、それぞれの治療法や手術場所、使用薬剤など、伴侶動物と生産動物の両方を深く学ぶため、多角的な視点を養うことができます。どちらの獣医師になりたいか迷っている方にとっては判断材料が多い環境で、じっくりと考えることができると思います。

私は興味がある馬や牛の治療のため、産業動物獣医師になりたいと考えており、国家試験に向けて勉強する日々を送っています。本学では二次診療施設である附属動物医療センターで最新の治療も学ぶことができ、獣医師を目指すうえで最高の環境だと思います。動物だけではなくその飼い主様にも寄り添うことができる獣医師になるために、これからも頑張っていきます。

#### わたしと酪農学園大学

#### 日々乳牛の飼育に取り組める

学内に牛舎があり、日々乳牛の飼育に取り組めるのはすごいことだと思います。言葉の通じない牛を正しい方向に導いたり、体の重い牛と安全に接したり。牛のハンドリング実習は1頭1頭の牛をしっかり管理するために役立ちました。



外崎 百合香さん  
獣医学群  
獣医保健看護学類  
動物生命科学ユニット 4年  
北海道 / 北海道大麻高等学校 出身

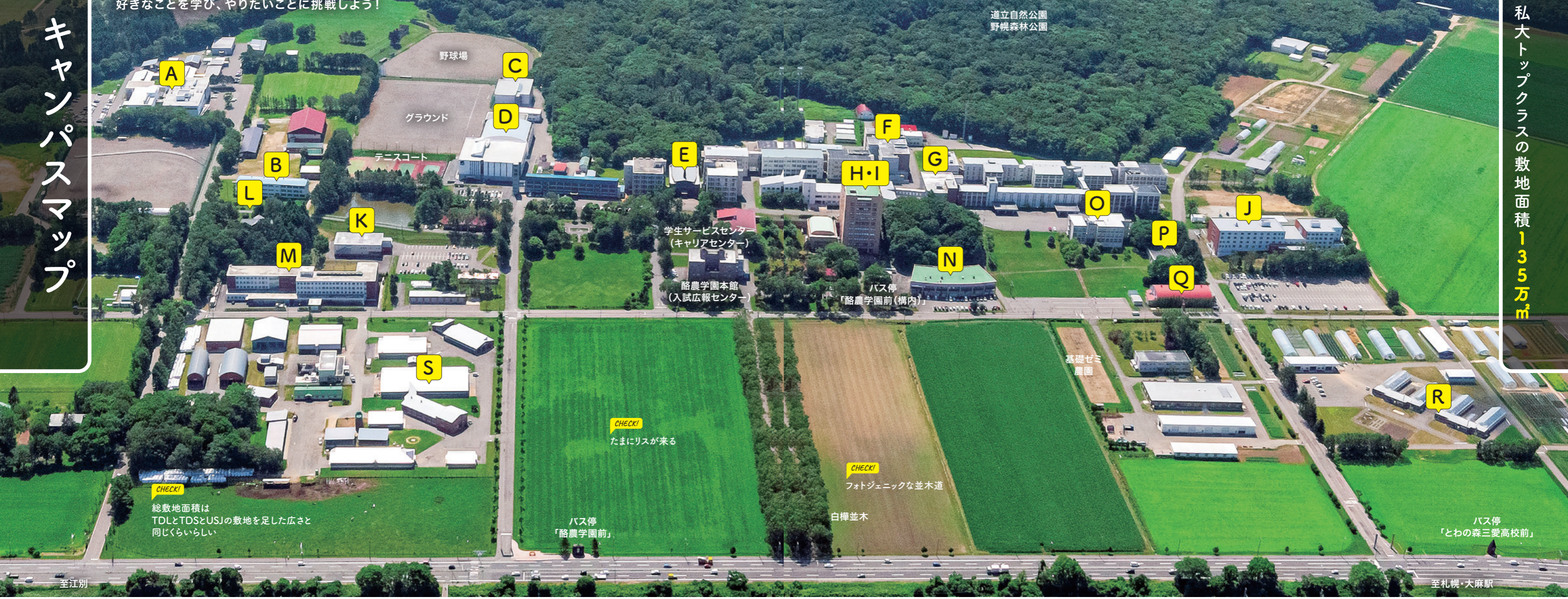
キャンパスマップ

大自然の宝庫・野幌森林公園と接して広がる135万㎡もの広大なキャンパス。  
たくさんの人や動物との出会いがあなたを待っています。  
酪農学園大学ならではの規模と専門的な施設・設備を生かして、  
好きなことを学び、やりたいことに挑戦しよう！

**CHECK!**  
キャンパスのすぐ裏は  
原始の北海道の面影が残る野生の王国

道立自然公園  
野幌森林公園

私大トップクラスの敷地面積135万㎡



**CHECK!**  
総敷地面積は  
TDLとTDSとUSJの敷地を足した広さと  
同じくらいらしい

**CHECK!**  
たまにリスが来る

**CHECK!**  
フォトジェニックな並木道

2020年7月撮影

<p><b>A</b></p> <p>附属動物医療センター » P.21</p>	<p><b>B</b></p> <p>スキルスラボ棟 » P.22</p>	<p><b>C</b></p> <p>健身館 (格技・体育系部室)</p>	<p><b>D</b></p> <p>健身館 (体育施設・トレーニングセンター) » P.91</p>	<p><b>E</b></p> <p>黒澤記念講堂 » P.92</p>	<p><b>F</b></p> <p>B4号館 » P.20-92</p>	<p><b>G</b></p> <p>C1号館</p>	<p><b>H</b></p> <p>中央館 (学生ロビー・学生ホール) » P.91</p>	<p><b>I</b></p> <p>附属図書館 » P.91</p>	<p><b>J</b></p> <p>希望寮 (男子寮) » P.95</p>
<p><b>K</b></p> <p>健音館 (音楽・演劇系部室)</p>	<p><b>L</b></p> <p>緑音館 (音楽系部室)</p>	<p><b>M</b></p> <p>清温寮 (女子寮) » P.95</p>	<p><b>N</b></p> <p>酪農学園ホール (学園生協) » P.92</p>	<p><b>O</b></p> <p>D1号館 » P.92</p>	<p><b>P</b></p> <p>食品加工実習室 » P.19</p>	<p><b>Q</b></p> <p>乳製品製造実験実習室 » P.19</p>	<p><b>R</b></p> <p>作物生産ステーション » P.18</p>	<p><b>S</b></p> <p>酪農生産ステーション » P.16</p>	<p><b>学外</b></p> <p>肉畜生産ステーション 所在地：北海道江別市元野幌1107 » P.17</p>



# 現場に強い 実践力が身につく専門施設



酪農学園フィールド教育研究センター

- 酪農生産ステーション P.16
- 肉畜生産ステーション P.17
- 作物生産ステーション P.18



食品加工実習室 P.19



乳製品製造実験実習室 P.19



B4号館 P.20



附属動物医療センター P.21



スキルラボ棟 P.22

## 01 酪農学園フィールド教育研究センター 酪農生産ステーション

主な使用学類  
循環農学類

詳しくは  
動画も  
チェック



### キャンパス内にある牛舎で 日々乳牛の飼育に取り組める

異なるシステムの牛舎があり、循環農法型により約170頭の乳牛を飼育しています。フリーストール牛舎は牛が自由に行動・採食できます。繋ぎ飼いの牛舎は1頭1頭の牛をしっかりと管理しながら飼育することができます。さまざまな酪農形態を学ぶことが可能です。また、草地・飼料畑はキャンパス内に牧歌的な景観を見えています。



【土地】	
牧草地	53.6ha
デントコーン	17.3ha
放牧地	1.4ha
【主な施設】	
フリーストール牛舎	1,439.6㎡
繋ぎ飼いの牛舎	550.8㎡
育成牛舎	432.0㎡
搾乳棟	754.2㎡
バンカーサイロ	1,062.5㎡
乳牛(ホルスタイン種、ジャージー種)	約170頭

Data

1 草が血となり乳となります。牛の体の仕組みを学び、牛乳のすばらしさに気付く学生も多いです 2 サイレージ用トウモロコシ圃場の実規模収量調査 3 子牛や育成牛の管理を学生が行っています 4 学生が子牛にミルクを与えている様子 5 インテリジェント牛舎で搾乳を体験します 6 循環型酪農は、牛の管理だけでなく、飼料生産も含めて成り立っていることを学びます

## 02 酪農学園フィールド教育研究センター 肉畜生産ステーション

主な使用学類  
循環農学類

詳しくは  
動画も  
チェック



### 肉畜の飼育・生産・医療・ 出荷までを学ぶ

約80頭の黒毛和種や日本短角種がいる肉牛の畜舎と、めん羊、豚、鶏など中小家畜の畜舎群の2カ所の農場があります。飼料設計から日々の世話まで学生が交代で行い、肉牛では低コスト飼料で最高等級のA5を獲得。肉牛の共進会にも積極的に出品し、好成績を収めています。その他の生産動物においても繁殖から出荷して肉になるまでの一連の流れを体験でき、看護を含めた動物医療の学びの場として活用されています。



1 羊舎にて行われた羊の妊娠鑑定 2 卵を収集しながら、産んでいない鶏をチェックし、個々の様子を観察します 3 高能力牛からの受精卵を回収 4 給与飼料は、市販濃厚飼料を中心に給与し、食品製造残さ等を最大限に活用し、飼料費低減と産肉性の向上に努めています 5 ここで産まれた子豚たち。分娩から飼養管理まで学生が行います 6 中小家畜教育研究施設(豚舎、鶏舎、羊舎)

【土地】	
採草・牧草地	58.6ha
【主な施設】	
肉牛牛舎	1,672.0㎡(80頭)
豚舎	904.2㎡(100頭)
鶏舎	498.8㎡(ケージ:400羽・平飼い:450羽)
羊舎	419.5㎡(20頭)
肉牛(黒毛和種、日本短角種)	
豚(交雑種母豚(主にLW種)、純種母豚(ランドレス種)、種雄豚(デュロック種)、肥育豚(主にLWD種))	
羊(サフォーク種、テクセル種)	
鶏(さくら、もみじ、横斑プリマスロック)	
※W:大ヨークシャー種、L:ランドレス種、D:デュロック種	

肉牛教育研究施設(肉牛牛舎)

## 03 酪農学園フィールド教育研究センター 作物生産ステーション

主な使用学類  
循環農学類

詳しくは  
動画も  
チェック



### 品種改良から生理生態、 病害虫管理を学ぶ

4棟のガラス温室は、温度や日射量などを計測し、自動で栽培環境を制御できます。冬場でも水稲などの作物の栽培が可能ですので、1年を通して栽培や育種に関する研究、作物の病害虫防除の研究ができます。ビニールハウスでは、トマトやアスパラガスなどの野菜やカーネーションなどの花きの栽培研究が行われています。露地圃場では、ダイズやムギ類など畑作物の栽培が行われ、さまざまな教育・研究に活用されています。

【土地】	
露地栽培露地圃場	12,911.5㎡
園芸作物露地圃場	591.0㎡
展示圃場	673.2㎡
畑作物露地圃場	4,182.0㎡
サンプル採集圃場(作物病理学用)	116.6㎡
水田圃場	1,400.0㎡
【主な施設】	
実習棟	1,275.0㎡
ビニールハウス	2,643.6㎡
花きガラス温室	331.0㎡
野菜ガラス温室	331.0㎡
作物ガラス温室	331.0㎡
作物保護ガラス温室	331.0㎡



1 収穫後2週間、乾燥庫に干したライムギを脱穀 2 花きの栽培や研究を学びます 3 トマトの脇芽取り等から管理作業を学びます 4 根に共生する根粒を観察します。作物は微生物の力を利用して大気や土から栄養を獲得しています 5 収穫に向けコムギ生産ステージの判断法を学びます 6 水田圃場で水稲栽培を実施しています

## 04 食品加工実習室

主な使用学類  
食と健康学類

詳しくは  
動画も  
チェック



### 「食」を科学する本格的な実験実習設備

ソーセージやハム、ベーコンなどの製造工程や品質管理について体系的に学べる実習設備を完備。研究や試験開発に用いる試作品もここで作成しています。



- 1 X線検査機を使用し、HACCPに対応した異物混入の検査をします
- 2 燻製器を使用した品質特性に関する試験。燻製する木材ごとや、いくつかの木材をブレンドして試作品を作ります

## 05 乳製品製造実験実習室

主な使用学類  
食と健康学類

詳しくは  
動画も  
チェック



### ブランドを生み出す乳製品製造施設

キャンパス内の乳牛から搾った新鮮な生乳を使って、牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品の製造工程を学べます。オリジナルの牛乳・乳製品の製造には学生が積極的に参加しています。



- 1 製品規格に適合しているか、作られた牛乳を直ちに検査。翌朝には店頭に並びます
- 2 道産チーズを集めた試食会を開催。チーズがおいしく感じるよう、ディスプレイの方法も学びます

実習室でつくられたソーセージや乳製品は、「酪農学園大学ブランド」として販売。2020年には酪農学園大学の牛乳・乳製品が、江別市のふるさと納税のお礼品に指定されるなど、学内のみならず学外からも人気です。



酪農学園  
大学ブランドの商品  
(左)牛乳・乳製品  
(右)ポロニアソーセージ



Check!

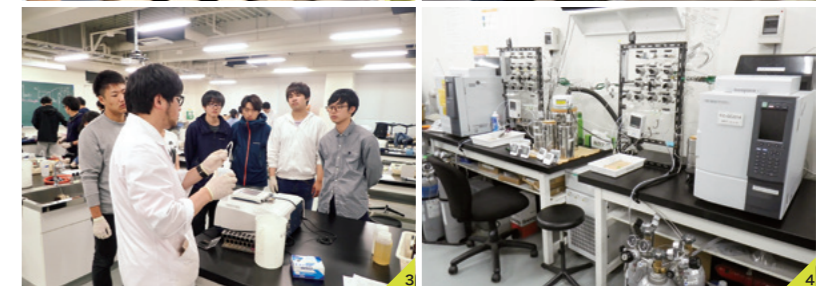
## 06 B4号館

主な使用学類  
環境共生学類



### 環境試料や分析機器を 活用した環境分野の 研究拠点

学類が所有するさまざまな分析装置や環境調査道具、自然史標本のほとんどがこの建物内で管理されており、多くの研究室の調査研究に利用されています。また、各実験室では学類の実習科目が開講されるなど、大学が掲げる実学教育の場としても活用されています。



- 1 地層を観察する基礎を学ぶ授業の様子
- 2 採集した昆虫を顕微鏡で観察し、グループ分けするソーティングを実施
- 3 環境水中の化学物質を測定する実習の様子
- 4 各実験室にはさまざまな分析機器が設置され、多くの研究に利用されています(ガスクロマトグラフィー)



- 5・6 動物の骨格標本を用いて、生物の体のつくりを観察する実習の様子
- 7 同館は大学オープンキャンパスの会場としても利用され、学類企画では各研究室が所蔵する標本展示を見ることがや調査体験などができます

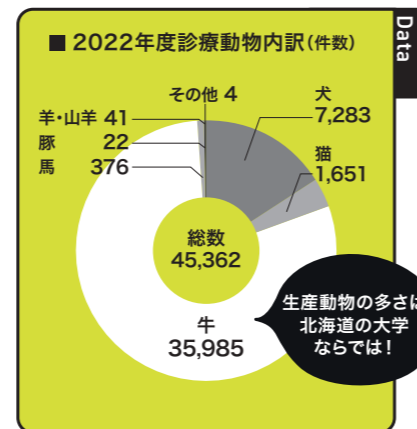
# 07 附属動物医療センター

主な使用学類  
獣医学類  
獣医保健看護学類



## 年間約45,300件の診療件数 獣医療の拠点で最新の診療技術を学ぶ

キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、年間の診療件数は犬や猫などの伴侶動物で約8,900件、牛や馬などの生産動物が約36,400件。本学獣医学類および獣医保健看護学類全ての学生に先進的な獣医療を含む実践的な獣医臨床教育を行っています。全国の獣医師養成大学で最大の施設規模となっており、伴侶動物医療部門には、内科・外科・循環器科・神経科・腫瘍科・リハビリテーション科、馬診療科、生産動物医療部門には、内科・外科・繁殖科・群管理科、診療支援部門には、画像診断科・麻酔科・集中治療科などの診療科を設置。臨床実習では専門性の高い診療と日本で最高レベルの動物のためのチーム医療を学ぶことができます。生産動物医療部門では、専用の入院棟と臨床実習棟で、現場に近い臨床実習を展開しています。



# 08 スキルラボ棟

主な使用学類  
獣医学類  
獣医保健看護学類



## 世界の獣医系大学で3校だけ、 日本で唯一の 建物丸ごとスキルラボ棟

スキルラボとは生体を使わず、シミュレーターで臨床手技を習得する施設のことであり、動物に負担をかけず何回もトレーニングすることができます。スキルラボは獣医系大学で導入されつつありますが、建物の全てがスキルラボのスキルラボ棟があるのは本学を含めて世界の獣医系大学で3校だけで、日本では唯一です(2023年時点)。施設内には臨床手技ごとに臨床検査実習室、生産動物実習室、大動物実習室、外科実習室、麻酔実習室、臨床繁殖実習室、画像診断実習室、そして完全に動物病院を再現した模擬動物病院があり、約70個のシミュレーターや実習機器が用意されています。獣医学類の学生は3年生からこの施設を利用した実習で、獣医師が初日に具備すべき105個の臨床技術(Day One Competences)を習得します。例としては、採血、気管挿管、牛・馬の直腸検査、人工授精、内視鏡検査などをシミュレーターで習得することができます。また実習時間以外も学生はこの施設を利用して、自由にトレーニングを積み重ねることができます。さらに獣医学類の学生のみならず獣医保健看護学類の学生もこの施設を利用することができます。



1 臨床検査室/クリーンベンチ、全血球計算装置、電解質計測装置、血液生化学検査装置、遠心分離機、サーマルサイクリャー、オートクレーブなどさまざまな機器を用意しています 2 生産動物臨床実習室B/牛、子牛、羊、ブタ、子ブタ、ニワトリなどのシミュレーターを使用し、注射法や採血、ハンドリングと保定の練習などを行います 3 臨床繁殖実習室/牛の繁殖学教育模型を使用し、直腸検査の練習、未経産牛および経産牛の人工授精のトレーニング、日齢に応じた妊娠診断の練習を行います 4 画像診断実習室/模擬X線撮影台で人形を用いた撮影ポジションの練習や、読影練習モニターでX線、CT、MRI画像をモニターに表示し、読影の練習を行います 5 大動物臨床実習室/馬の全身モデル、頭頸部モデルのシミュレーターを使用し、頭絡、馬着装着などの馬の取り扱いの基本技術、各種注射法、X線検査などの練習などを行います 6 模擬動物病院/待合室や受付、薬剤調剤室、処置室があり、実際の動物病院を想定した実習を行うことができます

酪農学園大学の実学教育

# 北海道の地で生きるを学ぶ

酪農学園大学の学びのフィールドはキャンパス内にとどまりません。  
広大な北海道の各地で実習を行い、生きた学びを体感します。



放牧地から牛たちを追って、牛舎に帰す様子

Case 01

農食環境学群 循環農学類

## 実践酪農学実習 1・II

■ 実践農学研究室 猫本 健司 准教授



### 酪農現場の実際を学び、 即戦力となる実践的な人材を育成

酪農が盛んな十勝地方・釧路地方で酪農現場の実際を体験し、座学では学べないことを実習で身につけていきます。実習時期は2年生の4~8月、3年生の10~2月に実施するため、四季それぞれの現場を経験することができます。また、大学から遠く離れた地域なので、道央とは違った土地の気候や土の状態なども学ぶことができ、生産者とコミュニケーションを取る中で現場に対応した経営を知っていくことも狙いの一つです。学生たちは、早起きなどの苦勞もありますが、楽しんで実習を行っています。酪農の大変さを実際に体感することで、体力や精神力を身につけています。実践酪農学実習は酪農の現場を経験しながら卒業に必要な単位を取得できる、文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に採択された日本で唯一の実践的な農業教育方式です。自分自身で道筋を立てて行動でき、考える力と応用力を持ち合わせた、社会で即戦力となる実践的な人材の育成につなげています。

1 放牧地から牛舎に戻った牛を留め具(スタンション)で繋いでいます  
2 生まれたばかりの子牛(肉用の交雑種)も管理します 3 搾乳前に行う手搾り「前搾り」で、乳に異常がないかを確認しています 4 乳牛に餌(サイレージ)を与えています



1 計量しながら香辛料をブレンドして記録します 2 香辛料の特性を生かすため、香りや味を確かめて調整します 3 塩せきした肉をひき肉にします 4 調整した香辛料とひき肉を混ぜ合わせます 5 ケーシングに充填して結紮(結ぶこと)する作業をしています 6 充填されたソーセージはその後燻煙、ポイルします



Case 02

農食環境学群 食と健康学類

## 乳肉製造学実験実習

■ 食肉科学研究室 前田 尚之 准教授



### 食肉製品の製造を体験しながら理解し、 多様な食課題に対応できるスキルを養う

本実習では、さまざまな肉製品を実際に製造し、製品開発の一端を経験することで、食肉の取り扱いとそれぞれの加工技術を実践的に学びます。中でもオリジナルソーセージの製造は魅力的な取り組みです。各班に分かれ、香辛料をどう調合するか、ディスカッションを重ねながら自分たちで考えるところから始めます。調合した香辛料は、肉を成形して塩漬ける「塩せき」を行った肉に混ぜ合わせた後、工房レベルの製造機器を用いて、ケーシングに充填、燻煙、ポイルしてソーセージを製造。全員で試食して順位付けし、最終的に選ばれたソーセージは商品化されて販売します。実習を通して、食肉製品の製造方法とその原理の理解を深めながら、食品を扱ううえで衛生管理がいかに大事かも学んでいきます。安全面、衛生面における見識をはじめ、食に関わるさまざまな課題に対して積極的に対応できる知識および技能を身につけます。このスキルは製造業だけでなく、開発やコンサルタントなどにおいても生かすことができます。

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。

稚内

Case 03

農食環境学群 食と健康学類 管理栄養士コース

## 公衆栄養学実習 II

■ 公衆栄養学研究室 木村 宣哉 講師

### 地域の健康増進に実際に携わり 管理栄養士としての責任を自覚する

4年次に道立保健所や市町村保健センターへ行き、保健所・保健センターの役割と行政栄養士の業務について学び、管理栄養士としての実践経験を積む実習です。実習の課題として、住民を対象にして健康講話や啓発資料の作成を行うことも多くあります。実際に地域で公衆栄養学マネジメントの実態を学び、実習先によって健康教育の実施やヘルシーメニューの考案から提供を行う経験を通じて、管理栄養士としての実践力を身につけます。学内授業ではどうしても学生同士や机上の課題でしか実践を試すことができませんが、実際に地域住民を対象に健康教育を行うのは臨地実習ならではの。地域の健康増進に実際に携わるといふやりのがあると同時に、その内容には大きな責任を伴います。住民の方々には正しい知識を伝えて、クオリティの高い健康教育を行わなくてはなりません。実習先の実習指導者からの指導を通じ、現場で提供されている健康教育のレベル・クオリティを理解し、管理栄養士としての自覚が芽生えていきます。



1 実習生が考案したヘルシーメニュー 2 保健所の職員の方々にも好評です

3 食堂に来た方へ詳しくメニューの説明をします 4 ヘルシーメニューを食べた方からアンケートを回収します 5 実習生がメニューの提供も実施します 6 ヘルシーメニューを食べている方に率直な感想を伺います



Case 04

農食環境学群 環境共生学類

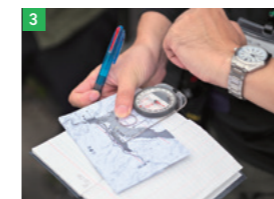
## 野生動物保全技術実習

■ 野生動物生態学研究室 佐藤 喜和 教授

### ヒグマの生態を調査し、 痕跡を発見・記録する技術を身につける

北海道東部、十勝平野と釧路湿原の間に位置する白糠丘陵とその周辺地域にて、ヒグマの生態調査法、北海道東部の自然植生、人の土地利用と野生動物の関係、地域にとっての野生動物の管理のあり方、地域の自然保護のための外来種管理などについて学ぶ実習です。ヒグマの生息する森林内で地形図とコンパスを用いた森林内踏査法と野生動物の痕跡調査法を学び、森の中を自由に歩き、痕跡を発見・記録する技術を身につけます。ヘアトラップ(体毛回収トラップ)やカメラトラップを用いたモニタリング機器の設置やメンテナンス作業を行い、調査技術も習得します。実習の魅力は、森に入り自らの足で歩くことができる、森林の音や匂い、そこに暮らす野生動物の痕跡や気配です。地元で暮らす方々との交流を通じて、地域にとっての自然環境保全や野生動物管理の意味を実感することもできます。仲間との共同作業を通じてチームワークが形成され、特性を生かした役割分担も自然とできるようになっていきます。

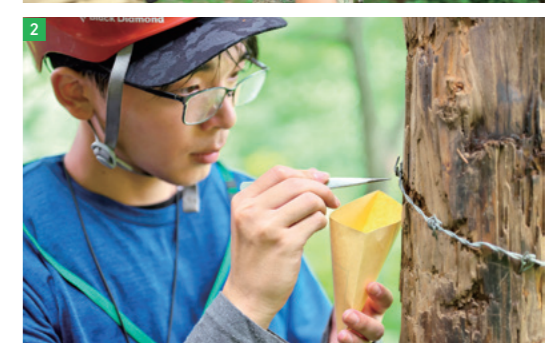
※本実習は、複数の実習から1つを選択して参加します。



3 踏査中に用いる地形図とコンパス  
4 ヘアトラップに体毛がないか確認  
5 ヒグマの食物ミズナラのどんぐりを数える豊凶調査



踏査中に地形図とコンパスを使って現在地点を確認



1 ヒグマを撮影するためのカメラトラップを設置 2 ヘアトラップに残されたヒグマの体毛を採取



馬の診療を始めるために、馬への近づき方を学びます

Case 05

獣医学群 獣医学類

参加型伴侶臨床実習D  
(検査・馬診療)

岩内

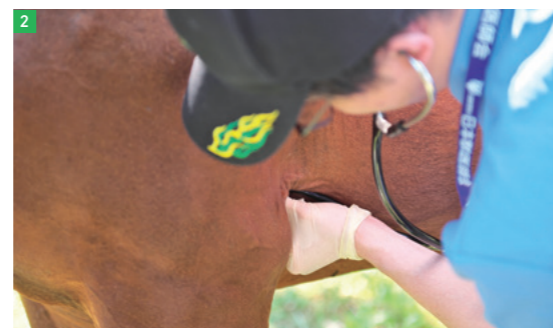
■ 獣医臨床病理学ユニット 鈴木 一由 教授

年間800頭以上の馬の症例を扱う中で、  
獣医師としての心構えを学んでいく

学生が馬医療チームの一員として馬に触れ、馬臨床ハンズオントレーニング(ワクチンの接種、採血や投薬などの技術、心電図検査、跛行診断など)、および実際の症例による診療に参加することで、馬の獣医師として必須となる知識と臨床技術を習得します。

実習では乗馬クラブやホーストラストなどで実際にオーナーのいる馬を扱いますが、診療するうえで馬の飼い主様からどのように動物の状態を聞き出せるかがとても重要になります。馬の生産者など多くの人と接する中で、獣医療におけるコミュニケーション能力を養うことができ、獣医師としての心構えを学べるのが、この臨床実習の醍醐味です。また、年間800頭以上の馬の症例を扱うため、馬に触れる機会が多いことも極めて魅力的です。大きな馬に初めて触れる学生は腰が引けてしまうこともあります。その恐怖心は馬も感じ取ってしまいます。馬との信頼関係を構築して、近づいて診療することができるよう訓練することも本実習の狙いです。

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 馬を怖がらせないように右手で触れながら腸運動の様子を聴診  
2 心臓に異常がないか聴診をし、心拍数を計測 3 馬は中指だけで地面に接している動物なので、足の怪我が多いために挙肢検査が欠かせません 4 馬は法律で定められたワクチン接種が義務付けられています 5 ワクチンを首の筋肉内に接種する様子

Case 06

獣医学群 獣医保健看護学類

動物看護総合実習 I・II

江別

■ 動物生命科学ユニット 林 英明 教授

動物看護師の業務内容と  
社会的役割を理解する

動物看護の知識を臨床現場での実践に生かすため、学外の伴侶動物病院において実際の動物看護師業務を体験し、業務内容と社会的役割を理解する実習です。専門基礎科目から積み重ねてきた学習は、伴侶動物病院での動物看護総合実習Iにおいて、臨床系の知識や技術としての深い学びに変化していきます。動物看護総合実習IIでは生産動物を含めたさまざまな動物病院で学びます。ホームドクターから二次診療まで、希望に沿った動物病院を選んで学ぶことが可能です。実習では清掃や消毒から始まり、3年生までに学んだ各種検査に携わります。手術や診療の現場に立ち会うだけでなく、動物のたくましい生命力や飼い主様の想いを感じる機会など、貴重な経験を積むことができます。実習中は責任ある行動、守秘義務の遵守、インフォームドコンセントの重要性理解など、社会人としての基礎力が求められます。自身を客観視して状況を冷静に分析する必要も生じてきます。本実習で培った力は、その後の就職において大きく役立ちます。



1 レントゲンのレクチャー 2 治療の際の保定



3 手術器具の扱い方 4 電子カルテの入力指導 5 検査機器の扱い方についてのレクチャー

# 酪農学園大学で 教員を目指す

## 教員免許を取得する“2つの道”

本学では学類によって、中学校教諭一種免許状(理科・社会科)、高等学校教諭一種免許状(理科・公民科・農業科)の教員免許が取得可能です。教員免許を取得する方法は、農食環境学群の各学類(管理栄養士コースを除く)に所属しながら「教職課程」に登録して免許を取得する道と、教員養成を目的とした「教職コース」に所属して免許を取得する道の2通りあります。このうち「教職コース」は、酪農学

園大学の実学教育の特色を生かしながら、実践的でコミュニケーション能力豊かな教員を養成することを目的として、「循環農学類」と「食と健康学類」に設置されています。教職コースは卒業時に農業科の免許が取得できる仕組みになっており、さらに理科または社会科・公民科の複数の免許を取得することで、農業を基盤としながら幅広い領域に対応できる教員を目指すことが可能です。

### コースごとに見た取得可能な免許

教員免許取得可能コース		取得可能な免許
循環農学類	酪農学コース 畜産学コース 農学コース 農業経済学コース	● 農業科(高校) ● 理科(中学/高校) ● 社会科(中学) ● 公民科(高校)
	教職コース※1	● 農業科(高校)+理科(中学/高校) ● 農業科(高校)+社会科(中学) ● 農業科(高校)+公民科(高校)
農食環境学類	食と健康学類※2 食資源開発学コース 食品流通開発学コース	● 農業科(高校) ● 理科(中学/高校) ● 社会科(中学) ● 公民科(高校)
	教職コース※1	● 農業科(高校)+理科(中学/高校) ● 農業科(高校)+社会科(中学) ● 農業科(高校)+公民科(高校)
環境共生学類	野生動物学コース 生命環境学コース	● 理科(中学/高校)

※1 教職コース生は、教員免許取得のための単位の一部が卒業要件に含まれます。教職コース生は、循環農学類と食と健康学類のどちらかに所属します。

※2 食と健康学類 管理栄養士コースでは教員免許を取得することはできません。

### 教職コース生と教職課程生との違い

	教職コース生	教職課程生
受講科目	教職コース専門科目(教職応用演習、教職インターンシップ等)を優先的に受講可能	左記科目については、受講年次・人数による制限がかかることがある
卒業要件単位	教職課程教育科目などの約30~40単位分が卒業要件に加算	教職課程教育科目については、卒業要件に含まれない
教育実習	3年生の前学期に履修	4年生の前学期に履修
その他	全員が教員採用試験合格を目指す学習環境	教員採用試験を受験しない学生も交えた学習環境

### VOICE

#### 充実なカリキュラムとサポートで 全員が教員を目指す教職コース

自分と同じように教員を目指す仲間たちと切磋琢磨しながら学習していきたいと思い、本学の教職コースを選びました。

教職コースでは教職課程生より1年早く、3年次に教育実習を行います。そのため、自分に足りない部分を早期に気付くことができるだけでなく、4年次の教員採用試験受験に向けて集中できるようにカリキュラムが組まれているのが魅力です。また、専攻教育によって農学の専門知識もしっかり身につけることができるのも特長だと思います。先生や教職スタッフの合格に向けたサポートも手厚く、教員採用試験の過去問や教職雑誌、教科書も豊富なので、教員を目指す学生にとって充実した環境が整っています。

将来は、気候変動や技術革新など急激な社会的変化に対応できる農学を担う学生を育成・輩出し、持続可能な社会づくりに貢献できる農業科教員になりたいです。



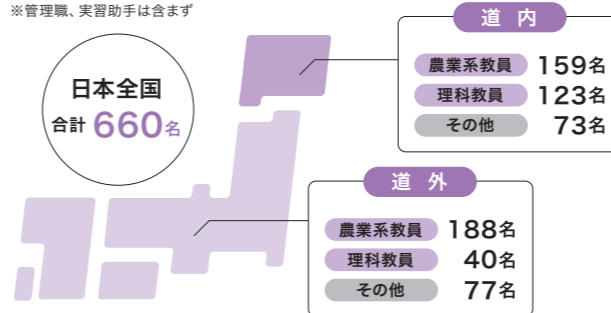
岩崎 兼大さん  
農食環境学群  
循環農学類 教職コース3年  
(農学)  
農業科教育課程研究室 所属  
北海道名寄産業高等学校 出身

### POINT 01 教員として全国で活躍! 酪農学園大学の教員養成

酪農学園大学から教員として日本全国で活躍している卒業生は600名以上、さらに道内高校の農業系科目教員にいたっては、全道の約70%が本学の卒業生です。本学の教員採用試験に向けたさまざまなプログラムに加え、全国で活躍する卒業生によるバックアップによって、多くの教員を輩出しています。

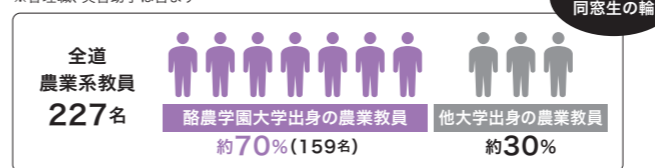
#### 酪農学園大学卒の教員 2023年度/本学調べ

※管理職、実習助手は含まず



#### 道内高校の農業系科目教員の割合

※管理職、実習助手は含まず



### POINT 02 「教員になりたい」をサポート! 酪農学園大学教職センター

教職を目指す学生をサポートするため、本学では教職センターを設置しています。教育学に関わる職員とサポートスタッフによる教職や教職採用に関する相談をはじめ、北海道・札幌市の教員採用試験過去問や教職に関する書籍をそろえた図書コーナーを完備するなど、「教員になりたい」皆さんの夢の実現をお手伝いします。



### 卒業生からのメッセージ

#### 食や農業の楽しさを生徒たちに伝えています

私は土幌高等学校で農業教師を育成する「農業教員養成コース」を卒業し、酪農学園大学の食と健康学類に設置された教職コースに進みました。現在は母校の教師として「フードシステム科」で食品化学や農業と環境などの授業を受け持っています。また授業のほかに土幌町内で害獣として駆除された鹿を活用した鹿肉カレーの開発や、高校の公式サイトやSNSを通じた情報発信などにも携わっています。

生徒と接する際に心掛けていることは生徒の個性を認め、その個性を引き出せるように接することです。私自身、もともとそれ程勉強が得意ではなく、人前に立つことは苦手でした。しかし高

校で先生方にさまざまなことを教えて頂く中で自信をつけ、教師になるという明確な目標を抱くようになりました。私にとって後輩である生徒たちにもそのような先生になれればと、授業内容等を考えています。生徒から「授業面白かったよ」、「あの話楽しかった」と言っていた時はとても嬉しかったです。

酪農学園大学の教職コースでは、同じ志を持つ仲間と一緒に努力した日々がとても印象に残っています。大学で学んだ知識や技術、培った人間関係は卒業後どこで生きるか分からないものです。ぜひ明確な目標を持って学生生活、そして人生を歩んでほしいと思います。



北海道土幌高等学校 教諭  
金澤 菜々子さん  
農食環境学群 食と健康学類 2015年3月卒業  
北海道/北海道土幌高等学校 出身



# LIFE X 社会で 活躍する卒業生 WORK

※勤務先は、2023年4月時点



大学で学んだ  
知識と経験を生かして、  
青森県らしい畜産業の  
実施を目指す

## 青森県 農林水産部畜産課 勤務

須藤 由貴さん  
農食環境学群  
循環農学類 酪農学コース  
2019年3月卒業  
青森県/青森県立弘前中央高等学校 出身

Interview  
01

### 農家の方の声を聞き、 畜産の現場に還元していく

現在は青森県における畜産業の振興が仕事で、酪農・養豚・養鶏を担当しています。乳用牛の能力検定や乳質のデータを、酪農家が活用するための体制を構築したり、地鶏である「青森シャモロック」の品質を保つためのブランドの管理などの業務を行ったりしています。

在学中に所属していた家畜管理・行動学研究室では、全国の畜産農家の現地調査を実施。農家だけではなく飼料メーカーや農協などの畜産関係者の方からも学ぶ機会があり、地域の畜産業を支えている職業に魅力を感じていました。大学で学んだ知識と経験を地元である青森県で生かしたいと思い、現在の職業を選択しました。

酪農学園大学は学生の意欲に一生懸命応えてくださる先生ばかりで、たくさんの知識・技術を学びました。研究室の森田教授からは、「現場で学び、現場に還す」を教わっていたため、今でも地域の現

状を知るために現場に足を運ぶことを常に心がけています。実際に農家の方と話すことで、統計などの数字だけでは見えない課題が抽出でき、施策の検討へ繋げることができています。大学2年生のとき、浜中町で行った酪農実習では、素人の私でも搾乳や子牛の世話を経験させていただき、丁寧な搾乳作業を身につけることができました。そこで学んだ現場の感覚は農家の方と共有できるため、聞き取りなどの業務で大いに役立っています。研究室の活動で全国の畜産農家を訪問したことも、他県の畜産環境を知ることができるありがたい経験でした。

今後は、農畜産がさかんな青森県の強みを生かした畜産業を目標としていきたいです。例えば必要な稲わらやもみからは、県内の米作りで出た物を無駄なく流通させることを考えています。「行政は農家のために何かしてあげるといふ目線ではなく、一緒に作っていくという目線が大事。」という先輩からの言葉は今でも意識しています。何年経っても農家の方の声を聞き、現場を見ることを継続していくつもりです。



MY CAMPUS LIFE

OB・OG会の繋がりは  
何ものにも代えがたい財産

全国から学生が集まり、卒業後もいろいろな場所で活躍する仲間や先輩がたくさんいるので、地元に戻った今でもその繋がりに助けられています。「酪進会」という研究室のOB・OG会があり、青森県で働く会のメンバーも大勢います。話をする際の最初のきっかけになったり、情報交換をしたり、お話を伺いたい農家の方を紹介してくださったり。先輩の牛舎にお邪魔させていただくこともあります。会の繋がりは業務上で非常に大きな助けになっていますし、私にとって何ものにも代えがたい財産です。

### 食品の課題解決への取り組みに 大学での食に関わる学びが 生かされている

所属していた研究室の活動の中で、地域企業との共同研究から商品開発に携わる機会がありました。この経験を自分の仕事にしたいと思うようになり、オホーツク圏の自治体や企業などと力を合わせて商品開発に取り組めるオホーツク財団を就職先を選びました。

私はオホーツクの農畜水産物の付加価値化の研究をはじめ、加工食品の開発・製造技術の改良に関する独自の研究や企業との共同研究、お客様の委託に基づく受託研究を行っています。特に、オホーツク管内で作付けが広がっているもち麦の調査・分析に力を入れています。具体的には、オホーツク管内産のもち麦の機能性成分であるβ-グルカン、管内の生産者毎に比較し、機能性表示食品として届出可能かを調査しました。また、もち麦の加工特性を明らか

にし、オホーツク管内の加工事業者への情報提供も行っています。その他にも研究だけでなく、オホーツクブランド認証制度の運営もしており、オホーツク産の加工食品の魅力を消費者に知らせ、農畜水産資源を活用した加工食品の販路拡大を図る事業にも携わっています。オホーツク圏地域は、農業、酪農、水産と一次産業は盛んですが、原料としての出荷が多く、食品加工による付加価値がまだまだ乏しいと感じています。新しく加工に取り組もうとしている人も多くいるので、そういった方々の力になりたいと思っています。

私は普段の仕事で、食品の加工から開発、衛生技術と幅広く各事業者さんの課題と向き合っていますが、酪農学園大学での食に関わる学びの全てが生かされていると感じています。特に、研究室の活動で企業との共同研究に携わり、企業の抱える課題を大学生のうちから知ることができた経験は、とても貴重な機会だったと感じています。



MY CAMPUS LIFE

夢中になって取り組んだ研究が  
今に繋がっている

研究室での活動が今の自分に大きく影響しています。特に、高速液体クロマトグラフィーの立ち上げに関わったことは印象的な経験でした。今の仕事でも使用することが多い機器ですが、当時は使い方や分析方法が全く分からないところから始めたこともあり何度も失敗しました。繰り返していくうちに徐々にできるようになっていき、そのおかげで、今の職場では難なく分析することができています。夢中になって研究に取り組んだ学生時代の経験が、将来も研究を続けたいと考えるきっかけに繋がりました。

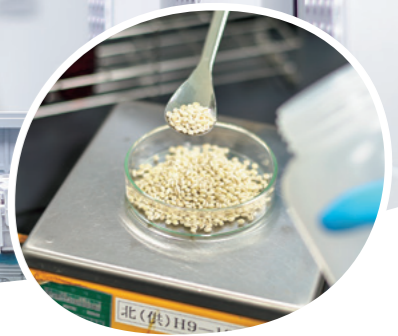
### オホーツクの 農畜水産物の付加価値を高め、 地域の食品産業をさらに発展させたい



## 公益財団法人 オホーツク財団 勤務

太田 悠介さん  
農食環境学群  
食と健康学類 食資源開発学コース  
2021年3月卒業  
北海道/北海道北見北斗高等学校 出身

Interview  
02



### 地域住民の健康意識を高める 行政栄養士という存在

私は中学・高校と所属していたバスケ部での活動を通して、スポーツと栄養は密接な関係で、食べ物によってパフォーマンスにも影響することを身をもって知りました。このことをもっと多くの人に知ってもらいたい、もっと栄養について知りたいという想いから、管理栄養士を目指すようになりました。

現在、私は道庁で行政栄養士として働いています。仕事内容は、地域社会の健康増進に関わるもの全般です。地域の健康増進に向けたイベントやキャンペーンの企画・運営をはじめ、食品表示(栄養成分表示)に関する助言や啓発活動、管理栄養士養成校の臨地実習の受け入れ調整、調理師養成施設の実地指導など多岐にわたります。

食事を通じて健康で笑顔になれる喜びを発信する取り組みには、大学生活での「酪農アスリートめしプロジェクト(RAMプロ)」の取り組みや、料理レシピコンクールで審査員特別賞を受賞

した「筋肉焼売」を冬季アジア札幌大会の選手宿舎で提供した経験も生かされていると感じます。

私が仕事を選ぶ際の軸としていたのは、いつまでも健康でいられるような環境や知識の提供ができる業務内容か、という部分でした。大学4年時の保健所での臨地実習が、行政栄養士という仕事の役割と責任の大きさを知る機会となりました。市町村の栄養士さんや、地元で根ざした食に関するボランティアの方々と一緒に、住民の健康を支えるために取り組んでいた姿が印象的で、保健所での仕事に魅力を感じました。

健康や栄養に関する情報を提供することで、地域住民の健康意識を高める役割を果たせることに、この仕事のやりがいを感じています。これからも分かりやすく、興味を引くコンテンツを提供できるように工夫を凝らして、行政としての取り組みを推進していきます。今後、北海道庁の出先機関である保健所に異動となった時には、地域の実情を肌で感じ、課題や特徴を捉え、たうえて事業を行い、中核を担える人材としてより広範な影響を持つ仕事に挑戦したいです。



#### MY CAMPUS LIFE

#### 自分とチームのために力を注いだ ラグロス部での日々

大学で所属していたラグロス部では、マネージャーやゼミに在籍していた大学院生の方などに力を借りながら、体組成分析を行って自分の体について勉強し、筋トレメニューや、練習中・試合前後の栄養補給の方法・タイミングなどを実践していました。4年生からはアタックリーダーとして、チームのモチベーションアップのための目標設定や練習計画の策定、メンバー間のコミュニケーションの円滑化、試合の分析なども行いました。チームワークの重要性、全体を俯瞰して見ることなど、部活動を通して学んだ価値観や創造性は現在でも大切にしています。



身をもって学んだ現場の実情が、  
柔軟な施策に生かされている

### 北海道保健福祉部 健康安全局地域保健課 勤務

宮武 希衣さん  
農食環境学群  
食と健康学類 管理栄養士コース  
2018年3月卒業  
北海道/北海道旭川北高等学校 出身

Interview  
03

食を通して  
健康で笑顔になれる  
楽しみを知ってもらい、  
地域住民の健康増進に貢献



### 北海道日高振興局 保健環境部環境生活課 勤務

久郷 真治さん  
農食環境学群  
環境共生学類 野生動物学コース  
2020年3月卒業  
北海道/市立札幌清田高等学校 出身

Interview  
04

### 今後はさらに北海道のためになる 業務をしていきたい

入学当初は、野生鳥獣の保護・管理について、現地調査に興味を持って講義や研究に臨んでいました。しかし実際に経験するうちに、道や市町村を軸に成り立っていることを知り、行政職に興味を持ちました。自然をコントロールすることはできませんが、人であれば折衝することが可能です。野生鳥獣の保護・管理において、方針や施策を決め、現場との調整役となる行政職は非常に重要なポジションであると考え、道職員への就職を決めました。

現在の業務は農林業被害防止としてのエゾシカ対策が中心で、数を管理する捕獲事業や肉処理施設認証関係のほか、現地調査や関係機関との調整事務などを行っています。本学では生物多様性保全研究室に所属し、研究テーマは人と動物との軋轢、特にシカに関して、今の業務に直結する内容でした。在学中に得た専門的な知識と、身をもって学んだ現場の実情は、行政的

な考えに偏りすぎない施策や方法に生かされています。また本学の先生方だけでなく、当時の研究で関わった研究者やコンサルタントの方々が、道の野生鳥獣関係の会議に出席されています。本学で築いた人間関係が、業務をスムーズに進めるために大いに役立ってくれています。

今後はさらに北海道のためになる業務をしていきたいと思います。国または道の指針および現場の実情をよく理解したうえで、最大限の効果を発揮できるような、それぞれが譲歩できる妥協点を見つけ出し、事業等を実施していきます。本学でお世話になった先生方と仕事で関わり、恩返しもできれば最高ですね。

本学では、普段経験できない特殊な機会に巡り会えるチャンスが多く、知見を広げ専門性を高めたい方にはとてもおすすめです。専門性はその分野でももちろん役立ちますが、多様な役割・職域の方が働く行政職の中ではより強力な武器になります。ぜひ機会があれば、将来の選択肢として道職員も考えてみてください。



#### MY CAMPUS LIFE

#### 多方面から知見を広げ、 成長できた

酪農学園大学では研究を通じて、多くのフィールドに行くことができました。エゾシカの生態や捕獲に関する知識はもちろんのこと、赴いた場所の土地柄や出会った人の人柄などについても、本当に多くの気付きがありました。所属していたクライミングサークルでのボルダリングや岩登りの経験は、現在のフィールドワークで役立っています。在学中に築いた人間関係は、今でも私の人生を豊かにしてくれています。多方面から知見を広げ、成長することができた大学生活だったと思います。



動物と飼い主様、  
両方を救うことができた  
という喜びが私の原動力

奈良動物医療センター  
勤務

井出 雅春 さん  
獣医学群  
獣医学類 獣医解剖学ユニット  
2019年3月卒業  
徳島県/徳島県立城東高等学校 出身

Interview  
05

人や動物と触れ合いながら  
基礎系科目を学ぶことができた

私が勤務する奈良動物医療センターは地域動物医療の中核病院として、高度医療を提供しています。CT、MRI、Cアーム、血液浄化装置、人工呼吸器など多数の高度医療機器をそろえています。患者様を必ず救うという意識・技術の高さ、設備の充実が学生の自分にとって非常に魅力的で、就職を決めました。

総合診療科として勤務する中、特に外科に重きを置いていて、開腹・開胸手術に加え骨折・靭帯断裂や椎間板ヘルニアなどの神経・整形の手術にも取り組んでいます。重症な患者様と向き合うことも多く、飼い主様とはどうしてもシビアな話をきちんとしないといけません。心を痛め涙される方も多くいます。そのなかで、治療した患者様が見違えるように元気になり退院を迎えるときは、大きな感動とやりがいを感じます。動物と飼い主様、両方を救うことができた、という喜びが私の原動力になっています。

酪農学園大学在学中は基礎系と言われる科目が好きで、生理学、生化学、解剖学、組織学などの教科に興味を持って取り組んでいました。臨床という医療的目線で見ると縁遠い分野に感じるかもしれませんが、実はむしろその逆です。病気というものは生理学的、生化学的、解剖学的、組織学的な異常が複雑に絡み合っているものだからです。広大な大地・自然の中で、人や動物と触れ合いながらこれらの学問を学ぶことが酪農学園大学の最大の魅力であり、今の私にとって大きな財産になっています。ぜひ皆さんも本学で、雄大な自然やかわいい動物たちと共に獣医学を学んでほしいと思います。

これからも外科の知識・技術を高めていきたいですが、認定医や専門医などの資格にも挑戦していこうと考えていますし、海外留学にも興味があります。まだまだ人生選択肢だらけで迷うことも多々ありますが、酪農学園大学での貴重な経験を生かして立派な獣医師になる、という目的のために頑張っていきます。



MY CAMPUS LIFE

大学生活で出会った友人は  
一生の財産

酪農学園大学ではさまざまなことに興味を持って活動していました。特に英語系の部活動であるESSに所属し、在学中にアメリカとタイの獣医学部へ留学できたことは貴重な経験でした。留学先では多くの現地獣医学生と交流し、日本とは異なる文化・言語・獣医学を学びました。部活動、サークル、ゼミ、留学先など、幅広い分野に興味を持ちいろいろな活動に参加したことで、たくさんの友人たちと出会うことができました。友人とのつながりは今でも大きな財産で、仕事も生活も豊かにしてくれています。

野生動物の調査や研究が  
飼育員を目指す動機に

私は現在、円山動物園の動物専門員として、主にアジアゾウの飼育業務を担当しています。給餌や掃除はもちろん、ゾウの健康を管理するために必要な削蹄や採血、来園者への解説、解説板の作成、事務仕事など、飼育員の仕事は多岐にわたります。

大学入学までは盲導犬の訓練士か動物看護師になりたいと考えていましたが、所属した研究室で野生動物の調査や動物園での研究に関わる中で、動物の生態や動物が生息する環境について子どもたちに伝える仕事してみたいと思うようになりました。卒業後2年間は野生動物に関わる別の仕事をしていましたが、動物園の採用試験に挑み、2度目の挑戦で突破することができ、円山動物園への就職を決めました。酪農学園大学で学んだことは主に伴侶動物の動物看護の知識でしたが、動物園での飼育においても役立っていると感じることも多くあります。

飼育員として特に嬉しかった出来事は、円山動物園で初めてアジアゾウが出産したことです。北海道でも初のゾウの出産ということで話題にもなりました。ゾウたちがミャンマーから札幌へやってきた時から担当していますが、ゾウの出産の瞬間に立ち会えたことは、とても貴重な体験でした。

動物専門員として働く中で、お客様へ動物について解説をした際に「知らなかった!」「そうなんだ!」と新たな発見に繋がれた時に、仕事のやりがいや喜びを感じます。来園者のみなさんが動物を見て、「かわいい!かっこいい!」と思うだけではなく、解説や展示を通じて、野生動物の現状や生息環境について考えるきっかけになればいいなと思っています。

また、海外では動物園でも動物看護師が専門職として活躍していますが、日本では動物園で働く動物看護師はまだ少ないのが現状です。いつか日本の動物園でも動物看護師が活躍できる時代が来ることを期待しながら、これからも励んでいきます。



MY CAMPUS LIFE

研究室での経験と  
同期と過ごした日々

研究室ではセラピー犬のストレスについて研究していました。実際にセラピー犬が活動している現場に行き、犬の様子を観察と、ストレスによって数値が変化する犬の唾液に含まれるホルモンを分析して、ストレスの感じ方に個体差があるかを調べました。その研究成果を学会で発表できたことはとても貴重な経験だったと思います。また研究室の同期の研究や野生動物の調査を手伝うことも多く、切磋琢磨しながら毎日楽しく過ごしていました。同期たちとは卒業後離れ離れになってしまいましたが、今でも定期的に集まるほどとても仲が良いです。

来園する子どもたちが  
動物のことをもっと知りたくなる  
きっかけをつくっていく



札幌市円山動物園 勤務

鎌田 祐奈 さん  
獣医学群  
獣医保健看護学類  
2016年3月卒業  
北海道/北海道札幌厚別高等学校 出身

Interview  
06



建学の精神

# 酪農学園大学は、 一人の青年の 熱い想いから始まった

酪農学園大学は創立時から変わらない想いを受け継いでいます。それは一人の青年が生涯をかけた使命感から生まれたもの。酪農を通じて人の真の豊かさを追い求めた西蔵の想いは、本学で今も息づいています。三愛主義を建学の精神とした人格の完成を目指し、健土健民の思想の下、高邁な学識と技能を有する知行合一の有能な農業人並びに社会の人材を養成することを本学の目的としています。



創立者  
黒澤 西蔵  
(くろさわ とりそう)

1885(明治18)年茨城県久慈郡世矢村(現常陸太田市)に生まれる。20歳で北海道に渡り、牧夫になる。以後、96歳までの生涯をかけて酪農の振興に尽力し、農民のための会社を立ち上げ、農民のための学校をつくった。その業績から、日本酪農の父と呼ばれる。

黒澤西蔵のあゆみ▶



## 酪農学園大学 4つのキーワード

**Keyword 1**  
本学の人間教育の柱  
**三愛主義**

本学の人間教育は、神を愛し、人を愛し、土を愛す、「三愛主義」に基づきます。この3つの愛が合わさって初めて、健やかな人と大地が生まれます。

**Keyword 2**  
国土がいかに大切な  
**健土健民**

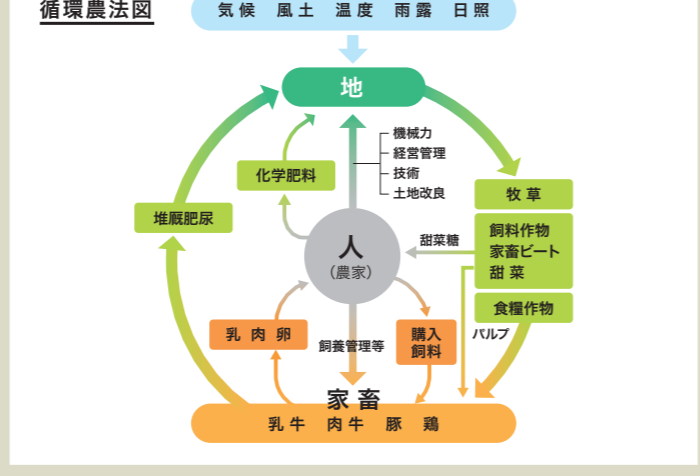
「健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる」という、本学の実学教育の核をなす理念。

**Keyword 3**  
行動を伴う人材を養成  
**知行合一**

知識と実践は一体であることを意味しています。「知行合一」の有能な農業人ならびに社会の人材を養成することを本学の目的としています。

**Keyword 4**  
酪農を軸とした思想  
**循環農法**

人と自然が共生し、物質やエネルギーが循環するシステムをつくる思想。永続性がありバランスの取れた「循環農法」は「健土健民」思想の実践といえます。



学長メッセージ

## 人生を学び続ける意味を、 実践的な学びの中にて 掴み取って欲しい

コロナ禍により、人々のさまざまな関係、距離感は制限され、これまでの社会のあり方は大きく変動してきました。この状況は、コロナが収束しても元の生活に戻ることなく、社会は新しいあり方に向けて大きく変動し続けていく様相を示しています。また、世界は、異常気象ともいえる気候変動や人口増加、ウクライナ紛争など人類共通の問題を抱える一方で、日本においては、円安、少子化など簡単には解決できない課題に直面しています。そのような状況において、皆さんは、「今後の人生をどう生きていこうと思いますか？」

私たち酪農学園大学は、冷害や社会情勢に翻弄され困窮する農民を救済し、国を発展させるため、本学創立者の黒澤西蔵とその同志たちの熱き想いによって、農民への教育を行う教育機関として創立されました。黒澤西蔵は、「日本の酪農の父」や「北海道開発の父」と呼ばれ、現在のSDGsに通じる考え方「健土健民」「循環農法」を教育の基本精神とし酪農教育に心血を注ぎました。本学ではその黒澤西蔵の精神を引き継ぎ、教職員、学生、共に汗をかきながら多くの学びを得て、共に成長して行く教育環境を整え、皆さんをお待ちしております。

さて、冒頭に問いかけて「今後の人生をどう生きていこうと思いますか？」について、私も明快な答えはありません。それは、人生を通じてずっと探し続けるものかもしれません。ただ一つ言えるのは、「いかなる時も学び続けて行くこと」だと思います。人生は多くの困難に突き当たります。それは、ある意味では皆さんの成長のチャンスでもあり、困難な状況にこそ多くの学びと新たな成長があります。本学には、全国から多くの学生が親元を離れ、集います。その多くの仲間と、皆さん各人がこれからどう生きて行くのか、知識だけではなく、人生を学び続ける意味を、実践的な学びの中にて掴み取って欲しいと願っています。

北海道の豊かな自然の、広大なキャンパスにて(東京ドーム28個分)、皆さん自身の人生の新たな一歩を踏み出してみませんか？



酪農学園大学 学長  
岩野 英知

沿革

- 1933(昭和8)年 北海道酪農義塾開設
- 1942(昭和17)年 野幌機農学校開設
- 1948(昭和23)年 学制改革により野幌機農学校を野幌機農高等学校に校名変更  
野幌高等酪農学校(通信教育)開設(1991(平成3)年3月に廃止)
- 1949(昭和24)年 酪農学園大学部(各種学校)を開設(1950(昭和25)年3月に廃止)
- 1950(昭和25)年 酪農学園短期大学酪農科を開設
- 1958(昭和33)年 酪農学園女子高等学校(全日制 普通科)を開設
- 1960(昭和35)年 酪農学園大学酪農学部酪農学科を開設  
酪農学園女子高等学校を三愛女子高等学校に校名変更
- 1962(昭和37)年 酪農学園短期大学製造科を開設(1972(昭和47)年3月に廃止)
- 1963(昭和38)年 酪農学園大学酪農学部農業経済学科を開設

- 1964(昭和39)年 酪農学園大学酪農学部獣医学科を開設  
酪農学園短期大学酪農科を1コース(全日制)、2コース(季節制)  
(1984(昭和59)年3月に廃止)とする  
野幌機農高等学校を酪農学園機農高等学校に校名変更
- 1975(昭和50)年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(修士課程)を開設
- 1978(昭和53)年 酪農学園大学酪農学部獣医学教育修士課程を含む6年制に移行
- 1981(昭和56)年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(博士課程)を開設  
酪農学園大学大学院酪農学研究科酪農学専攻(修士課程)を開設
- 1984(昭和59)年 三愛女子高等学校英語コースを開設  
酪農学園機農高等学校を酪農学園大学附属高等学校に校名変更
- 1985(昭和60)年 酪農学園短期大学を北海道文理科短期大学に校名変更  
北海道文理科短期大学教養学科を開設(1999(平成11)年12月に廃止)
- 1988(昭和63)年 酪農学園大学酪農学部食品科学科を開設  
三愛女子高等学校をとわの森三愛高等学校(共学)に校名変更

- 1990(平成2)年 北海道文理科短期大学経営情報学科を開設  
(1999(平成11)年12月に廃止)
- 1991(平成3)年 酪農学園大学附属高等学校ととわの森三愛高等学校が統合し、(新生)とわの森三愛高等学校(酪農経営科・普通科・英語科)を開設  
酪農学園大学大学院酪農学研究科食生産利用科学専攻(博士課程)を開設
- 1994(平成6)年 酪農学園大学酪農学部食品流通学科を開設
- 1995(平成7)年 酪農学園大学大学院酪農学研究科フードシステム専攻(修士課程)を開設
- 1996(平成8)年 酪農学園大学獣医学部獣医学科を開設(酪農学部獣医学科を改組)
- 1998(平成10)年 酪農学園大学環境システム学部経営環境学科および地域環境学科を開設  
北海道文理科短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更および酪農科を酪農学科に学科名変更
- 2001(平成13)年 酪農学園大学酪農学部食品科学科に食品科学専攻と健康栄養学専攻(管理栄養士)の2専攻を開設
- 2003(平成15)年 酪農学園大学大学院酪農学研究科食品栄養科学専攻(修士課程および博士課程)を開設

- 2011(平成23)年 酪農学園大学農食環境学群循環農学類・食と健康学類・環境共生学類および獣医学群獣医学科類・獣医保健看護学類を開設(酪農学部・獣医学科および環境システム学部を改組)  
酪農学園大学短期大学部募集停止(2012(平成24)年10月に廃止)
- 2015(平成27)年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医保健看護学専攻(修士課程)を開設
- 2016(平成28)年 酪農学園大学酪農学部農業経済学科・食品科学科食品科学専攻・食品科学科健康栄養学専攻・食品流通学科・環境システム学部地域環境学科廃止
- 2017(平成29)年 酪農学園大学酪農学部酪農学、環境システム学部環境マネジメント学科・生命環境学科廃止
- 2019(平成31)年 とわの森三愛高等学校を酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校に校名変更
- 2020(令和2)年 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校通信制課程に農食環境科学科設置認可
- 2021(令和3)年 酪農学園大学 獣医学部獣医学科廃止

# つながる、広がる、深まる 酪農学園大学の学び

酪農学園大学では、人や動物、植物、食、自然、命などを軸に2学群5学類が互いに深く関係しています。  
そのつながりを生かし、ほかの分野の知識を取り入れ、あなたの学びをさらに深めることもできます。  
ひとつの領域にとらわれない視野はこれから生きる力になるはずです。



## 学群・学類インデックス

	1年次 基盤教育	2年次 専門基礎教育	3・4年次 専門・専修教育	
<b>循環農学類</b> 安全な食料を供給する農業について、酪農学・畜産学・農学・農業経済学など多角的に追究する。			酪農学コース 畜産学コース 農学コース 農業経済学コース 教職コース >> p.29	P. 45
<b>食と健康学類</b> 食の生産、加工・製造、流通ならびに健康など、食のシステムに関して幅広く学ぶ。		管理栄養士コース 教職コース >> p.29	食資源開発学コース 食品流通開発学コース	P. 53
<b>環境共生学類</b> 野生動物学・生命環境学を学び、環境と調和・共生する社会の形成に貢献できる力を育成する。	酪農学園導入教育 人文社会科学教育 キャリア教育※1 自然科学教育 保健体育教育 外国語教育 情報教育※2		野生動物学コース 生命環境学コース	P. 61
<b>獣医学類</b> 獣医療をはじめ生命科学における先端的研究を推進する、高度な専門性を有した獣医師を育成する。	p.41-42		4年次⇒6年次まで 生体機能学 感染・病理学 予防獣医学 生産動物医療学 伴侶動物医療学	P. 71
<b>獣医保健看護学類</b> 獣医学と動物看護学を学び、幅広い獣医保健看護領域を担える人材を育成する。			基礎動物看護学 応用動物看護学 臨床動物看護学	P. 77

★農食環境学群(管理栄養士コースを除く)では、「教職コース」に所属しなくても学類の各コースで専門的に学びながら教員免許を取ることもできます。  
※1 獣医学群を除く ※2 管理栄養士コースは2年次開講

酪農学園大学の学び

# 基盤教育 1・2年次

## つながりの大切さを学ぶ 生きる力を付ける

1・2年次に全員が受ける「基盤教育」。本学では、人のつながり、生命の循環、命の尊さを学ぶとともに、学生の自主性を促す教育プログラムを展開し、自ら課題を乗り越える力を身につけます。授業科目には、学群ごとの必修科目と学群共通の必修科目があります。基盤教育で培った力は、2年次以降の専門基礎教育・専門教育はもちろん、その先の人生にも必要となる、柔軟な心を持って何事もあきらめることなく進んでいける「生きる力」につながります。

授業科目区分

酪農学園導入教育	人文社会科学教育	自然科学教育	保健体育教育
情報教育	外国語教育	キャリア教育*	※獣医学群を除く



▲学びの構造

# 人間力 を高める

専門性を身につけるうえで必要な基礎力を固めるため、「建学の精神」をはじめ、さまざまな領域を学びます。さらに環境問題やSDGsについてグローバルな視点で捉えるための国際的なコミュニケーション能力も身につけます。また、グループ発表やスポーツを通じて、他人とのつながりの中で社会性や道徳性も養います。



**外国語教育** [学群共通]  
国際的視点を養ううえで重要な語学も学びます。

**体育実技** [学群共通]

チームワークの大切さを知ることも、人間力の形成につながります。



**教室での講義**[建学原論] [学群共通]

建学の精神を理解し、これからの学生生活において重要な根幹を形成します。

# 知見 を広める

農作業や作物・植物の観察、牛舎での搾乳などを通じて、物質の循環および私たちの食料が動植物の生命に由来して生産されていることを体験的に理解していきます。また、生命に密接な環境問題についてもグローバルな視点で考えるための教養も取り入れています。



**基礎ゼミ農園** [農食環境学群]

キャンパス内にある農場の畑で作物を育て、管理します。

**鶏舎の管理実習** [学群共通]

飼料給与や集卵作業などの管理作業を行う。



**作物の形態観察**

[農食環境学群]

根に共生する根粒を観察。作物生産における一連の流れを体験します。



**搾乳**

[学群共通]

牛舎で実際のミルクングパーラーを使用。

**牛追い** [学群共通]

放牧されている牛を実際にハンドリングします。



# 命を 体感する

動物のハンドリングや聴診など実際の動物に触れる機会を多く取り入れるほか、獣医学・獣医保健看護学の基礎となる初歩的な技術の実際を体感することで、命の尊さを理解します。

**動物の救命処置体験**

[獣医学群]

犬のモデルを用いて救命処置の流れと技法を体験。



**羊の毛刈り**

[学群共通]

羊の保定方法、毛刈りを実践し、細部の身体的特徴を観察します。

**子豚の聴診** [獣医学群]

肉牛や鶏も実際の飼育施設に行って聴診します。





# 農食環境学群

College of Agriculture, Food and Environment Sciences

■ 循環農学類 ■ 食と健康学類 ■ 環境共生学類



教育基本方針  
全文

## 教育基本方針（一部抜粋）

### 学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー）

建学の精神である「三愛主義」「健土健民」のもと、「農・食・環境・生命」の各分野における豊富な知識や高い実践力を備え、視野の広い専門家として地域と世界の継続的な発展に貢献できる学生に「学士」の学位を授与します。

#### 農食環境学群

建学の精神である健土健民および循環思想のもとで、土・植物・動物の重要性を体系的に理解するとともに、諸問題の解決策を示すための論理的な思考力と問題解決能力を備え、「農・食・環境」各々の社会に貢献できる資質を身に付けた学生に「学士」の学位を授与します。

#### 循環農学類

1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で循環型社会の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、酪農学、畜産学、農学、農業経済学の4コースに各々所属し、各コースの到達目標に向けて学びを深めます。

#### 食と健康学類

1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で食資源の特性や栄養学の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、食資源開発、食品流通開発あるいは管理栄養士のいずれかに所属し、各コースの到達目標に向けて学びを進めます。

#### 環境共生学類

1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で環境問題の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、野生動物学と生命環境学の2コースいずれかに所属し、各コースの到達目標に向けて学びを深めます。

### 教育課程編成・実施の方針 （カリキュラム・ポリシー）

本学の教育課程では、「農・食・環境・生命」に関する知識並びに実践力を段階的に身に付けることができるよう、基盤教育科目から専門基礎教育科目へ、そして専門教育科目・専修教育科目へと体系的な学修を取り進めていきます。

#### 農食環境学群

社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、「農・食・環境」に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう基盤教育科目から専門基礎教育科目へ、そして専門教育科目へと体系的に学修するカリキュラムとなっています。

#### 循環農学類

循環型社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、酪農・畜産、作物、農業経済に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう基盤教育科目、専門基礎教育科目から専門教育科目へと体系的に学修するカリキュラムとなっています。

#### 食と健康学類

社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、食資源、食品加工、食品流通に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう、基盤教育科目、専門基礎教育科目そして専門科目への体系的に学修するカリキュラムとなっています。

#### 環境共生学類

環境との共生および環境問題の解決に資する豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、野生生物、生命環境に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう、年次を追って体系的に学修するカリキュラムとなっています。1年次には主に基盤教育科目によって幅広い教養と社会人基礎力を身に付け、2年次には主に専門基礎教育科目によって専門性の礎を築きます。3～4年次には主に専門教育科目を履修し、より専門性を深め、様々なスキルを会得するとともに、社会に貢献できる力の獲得を目指します。

### 入学者受け入れの方針 （アドミッション・ポリシー）

農業を基幹産業とする自然豊かな北海道の大地で学ぶことを望み、「農・食・環境・生命」に関する専門的知識と技能を習得し、地域と世界の持続的な発展に貢献する意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

#### 農食環境学群

持続可能な食料生産分野、人の健康を支える食品科学分野あるいは生命を育む環境分野に興味を持ち、「農・食・環境」の各々の専門家として、社会の発展に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

#### 循環農学類

持続可能な食料生産分野の発展に興味を持ち、循環型社会を築く農業技術開発、研究および技術支援等を行う農業科学の専門家として、社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

#### 食と健康学類

■食資源開発学コース・食品流通開発学コース  
人の健康を支える食品関連分野に興味を持ち、食資源ならびに食品の開発、および食品流通の技術開発、研究等を行う食品科学の専門家として、食を通して人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

#### ■管理栄養士コース

人の心とからだの健康を支える栄養学分野に興味を持ち、人々の健康増進、生活の質を向上させる栄養管理、栄養指導等を行う専門家として、人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

#### 環境共生学類

生命を育む環境全般に興味を持ち、発展を続ける人間社会と地球を構成する自然界の生命および環境との調和と共生のための学びを深める環境学の専門家として、持続可能な社会の発展に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

# 循環農学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Sustainable Agriculture

### 取得可能資格

- 中学校教諭1種(理科・社会)
- 高等学校教諭1種(理科・農業・公民)  
※教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。
- 准学校心理士
- 家畜(牛)人工授精師  
※講習会受講・最終試験合格の場合
- 家畜体内(外)受精卵移植師  
※講習会受講・最終試験合格の場合

### 任用資格

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者

### 受験資格

- ペット栄養管理士

### 学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級
- 経済学検定(ERE)
- 食生活アドバイザー3級
- 北海道フードマイスター
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
- 食品衛生責任者
- 学芸員

### 目指す業界・職業

- 食品関連産業(乳業・食品、小売店など)
- 農業関連産業(肥料・飼料、動物医薬品など)
- 試験研究機関、動物飼育員
- 農業協同組合、家畜人工授精師
- 中学・高校教員、公務員(行政職など)
- 酪農・農業経営、農業法人 など

生命科学としての  
農学を学ぶ



## 学びのポイント

### Point 1 「生命科学」としての農学を学ぶ

私たちの生存に必要な食料の生産を、理論と技術の両面から支える、それが農学の役割です。循環農学類では、フィールドに関連する問題を発見し、生命科学のメスで切り込むことを通じて、本質を見極めて能動的に行動する力を養います。

### Point 2 多彩な分野、多彩な仲間

循環農学類には約50の研究室があり、自然科学から社会科学、さらには人文科学にわたる、広範な学問範囲を扱っています。全国47都道府県から集まってくる多様な仲間と切磋琢磨しながら、取り組めるテーマの広さは無限大です。

### Point 3 持続可能な社会の担い手を目指す

本学の創立者・黒澤西蔵が80年以上前に唱えた「循環農法」の精神は、循環農学類に受け継がれています。SDGsに注目が集まるなか、環境にやさしく持続可能な農業、未利用資源の活用、気候変動対策といった、現代社会の課題の解決に取り組んでいます。

### Point 4 北海道まるごと全部が私たちのフィールド

フィールドとの距離が近いことも循環農学類の強みです。3つの生産ステーションはもちろん、日本の食料基地・北海道も私たちのフィールド。現場のリアルな問題に向き合うことが実践的な学びにつながり、新しい知識への好奇心をかきたてます。



## 3・4年次 専門教育 コース紹介

### 酪農学コース

乳を生産する家畜の飼養管理、家畜育種をはじめ、飼料生産、衛生管理、家畜行動、生産物利用に関わる科学を修学するとともに、酪農場における物質循環について学びます。サブコースとして農家実習を通じて酪農現場をより深く理解する実践酪農学コースがあります。

#### コースTOPICS /

- ✓酪農の本場・北海道で本物の酪農学を学ぶ
- ✓充実した施設で多様な畜種(乳牛、肉牛、豚、鶏、羊など)の生産技術を実践的に習得
- ✓学内の酪農生産ステーションには約170頭の乳牛
- ✓広い業界ネットワーク
- ✓いろいろな動物を対象にした、動物行動学やアニマルウェルフェアについて学べる



3年次から4つのコースに別れて、専門的な学びを深めます。

### 農学コース

循環型農業を基盤として、水稲、畑作、野菜、花きなどの農業生産技術とそれに伴う理論を学びます。本コースには作物の生産と、その関連分野(作物の栄養、生理、遺伝、雑草病害虫防除、土壌と生産の関連性)について学修する科目と実習があります。

#### コースTOPICS /

- ✓ガラス温室や圃場を使った充実の実習
- ✓環境制御可能な最新設備を有したガラス温室が通年利用可能
- ✓水稲、畑作、野菜、花きなど、多様な現場ニーズに対応した実験実習科目
- ✓栽培技術分野の科目と教育的に連動して配置された、土壌、作物栄養、植物の生理・病理・遺伝・育種、作物害虫や雑草に関する専門分野の科目群が充実

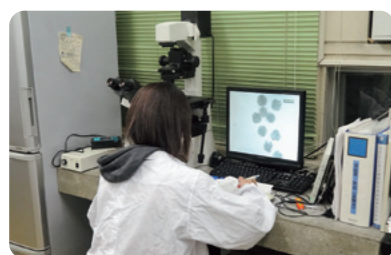


### 畜産学コース

肉牛を中心に豚、鶏、羊、馬など食肉生産を目的とした家畜の飼養、生体機能、生殖生理およびその生産物の利用について学びます。本コースにはこれらの家畜の飼養管理体系を学修する科目と実習があります。

#### コースTOPICS /

- ✓元野幌にある肉畜生産ステーションは総面積約100ha
- ✓それぞれの動物種について2品種以上の家畜を飼養している
- ✓肉用牛約80頭、豚約100頭、羊約20頭、採卵鶏約400羽を飼養
- ✓採草用圃場が58.6ha
- ✓エコフィードを積極的に利用した資源循環型の肉畜生産体系を学ぶことができる
- ✓講師陣は学内から臨床獣医師、家畜人工授精師、管理栄養士など。また、外部講師として体型審査員や削蹄師など充実
- ✓肉牛については受精卵の生産から肉の加工まで、牛肉生産に関する全ての工程を学ぶ



### 農業経済学コース

食料生産と地域産業、市場と流通の現場から、経営・経済・政策を総合的に学びます。本コースには、農業経営、流通と消費、経済事情、循環型社会の形成と発展を支える仕組みについて学修する科目と実習があります。

#### コースTOPICS /

- ✓農業・食料・経済の現場で最先端の経営や技術、流通を学ぶ
- ✓農畜産物や食料の販売に携わることを考えている方は、食料の流通の仕組みを学ぶ
- ✓公務員や地元企業を目指し、地域を活性化したいと思っている方は、地域おこしに必要な経済や政策について学ぶ
- ✓将来、農業・酪農の経営者になる方は、農場の経営に必要な知識を学ぶ
- ✓高度な統計分析手法を習得して、さまざまなデータから有用な情報を読み取る方法を学ぶ
- ✓教室での勉強だけでなく、調査や演習、実習を通して力を培う



# 学びの流れ／カリキュラム

☆1 教職コースは2年次開講 ☆2 教職コースは3年次開講 ☆3 外国人留学生のみ ※この内容は2023年4月1日現在のもので今後変更もあります。

## 1年次

### 基盤教育

- 基礎演習
- 建学原論
- キリスト教Ⅰ
- キリスト教Ⅱ
- 健康入門実習
- 農食環境学概論
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 英語Ⅲ
- 英語Ⅳ
- 日本語Ⅰ ☆3
- 日本語Ⅱ ☆3
- キャリア実習

### 専門基礎教育

- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

### 専門教育

- 【実践酪農学・実践農学】
- 実践酪農学
- 実践酪農学演習
- 実践農学

### 教職課程教育

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

## 2年次

### 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- 物理学実験
- 地学実験
- 外国語演習Ⅰ
- 外国語演習Ⅱ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- ハンガールⅠ
- ハンガールⅡ
- キャリアベーシック

### 専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学
- 微生物学
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 経済学
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 経営学概論
- 日本経済論
- 家畜解剖学
- 家畜生理学
- 畜産学概論
- 農業機械学
- 草地・飼料作物学
- 作物栽培学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 家畜行動学
- 食料農業の法と制度
- 家畜生理・解剖学実験
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 作物生態生理学実験
- 学外農場実習
- 食品化学
- 乳科学
- 食肉科学
- 応用生化学
- 生物分類学
- 情報処理演習
- 簿記・会計学概論
- 農業協同組合論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- 国際経済論
- 国際法
- 食品産業論
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 生物地球化学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 自然環境学実験・実習
- 動物形態機能学
- アジア環境学
- 環境法
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 海外自然環境実習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- マーケティング論
- 国際関係論
- 国際理解

### 専門教育

- 【教職コース】
- 教職インターンシップ
- 教職応用演習Ⅰ
- 教職応用演習Ⅱ

- 【実践酪農学・実践農学】
- 実践酪農学実習Ⅰ
- 実践農学実習Ⅰ
- 実践農学実習Ⅱ

### 教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論
- 地誌

## 3年次

### 基盤教育

- 外国語演習Ⅰ
- 外国語演習Ⅱ
- キャリアデザインⅠ
- キャリアデザインⅡ

### 専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 農業施設学
- 雑草学
- 農業施設・機械学実習
- 栄養生理学
- 食品衛生学
- 公衆衛生学
- 食品物理解学
- 食品流通論
- 食品資源学
- 食料経済論
- 保全生物学
- サステイナビリティ学
- 資源管理論
- 博物館実習

### 専門教育

- 専門ゼミナールⅠ
- 専門ゼミナールⅡ
- 【酪農学コース】
- 家畜育種学
- 家畜繁殖学
- 家畜育種・繁殖学実験
- 家畜管理学
- 家畜栄養学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学
- 乳用家畜飼養学
- 酪農・畜産経営論
- 泌乳生理学
- 乳用家畜飼養学実習
- 【園芸学コース】
- 家畜育種学
- 家畜繁殖学
- 家畜育種・繁殖学実験
- 家畜管理学
- 家畜栄養学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学
- 酪農・畜産経営論
- 肉用家畜飼養学
- 肉用中小家畜飼養学
- 肉用家畜飼養学実習
- 【農学コース】
- 水稲栽培学
- 畑作物栽培学
- 作物栽培学実習
- 野菜園芸学
- 花き園芸学
- 園芸学実習
- 作物育種学
- 作物育種学実験
- 作物栄養学
- 土壌・作物栄養学実験
- 植物病理学
- 応用昆虫学
- 作物保護学実験Ⅰ
- 作物保護学実験Ⅱ

### 専門教育

- 【酪農学コース】
- 家畜育種学
- 家畜繁殖学
- 家畜育種・繁殖学実験
- 家畜管理学
- 家畜栄養学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学
- 酪農・畜産経営論
- 肉用家畜飼養学
- 肉用中小家畜飼養学
- 肉用家畜飼養学実習
- 【園芸学コース】
- 家畜育種学
- 家畜繁殖学
- 家畜育種・繁殖学実験
- 家畜管理学
- 家畜栄養学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学
- 酪農・畜産経営論
- 肉用家畜飼養学
- 肉用中小家畜飼養学
- 肉用家畜飼養学実習
- 【農学コース】
- 水稲栽培学
- 畑作物栽培学

### 専門教育

- 【実践酪農学・実践農学】
- 実践酪農学実習Ⅱ
- 実践農学実習Ⅱ

### 教職課程教育

- 農業科教育法Ⅰ ☆1
- 農業科教育法Ⅱ ☆1
- 職業指導Ⅰ(農業)
- 職業指導Ⅱ(農業)
- 理科教育法Ⅰ ☆1
- 理科教育法Ⅱ ☆1
- 社会科・公民科教育法Ⅰ ☆1
- 社会科・公民科教育法Ⅱ ☆1
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ ☆1
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅱ ☆1
- 道徳教育指導論

### CHECK!

#### カリキュラムマップ



## Pick up!

### ピックアップカリキュラム1

### 専門ゼミナール



1 ジン製造工程についてレクチャーを受ける 2 使用するボタニカルの香りを確認 3 調査結果をゼミで考察

### 地域づくりの当事者から 直接話を聞き、ノウハウを学ぶ

市町村の農業振興策に焦点を当てる実習で、年に数回、地域振興の成功例を現地で学ぶ訪問調査を行っています。積丹町の株式会社積丹スピリットでは、地元のボタニカルを使用したクラフトジンの蒸留所を訪問。町の人口減少や産業衰退に対する突破口として始められたプロジェクトで、今では町全体に大きな経済波及効果をもたらしていることを、学生自身が確認しました。フィールドワークを重視していることが、本実習の魅力。北海道にある大学ということで、稲作、畑作、酪農、肉牛生産、軽種馬生産、施設園芸など、多様な農業分野のフィールドワークが可能です。どんな課題を抱え、どう解決していったのか、当事者に直接会って話を聞くことで地域づくりのノウハウが蓄積し、学びが深まっていきます。地域のリーダー層と接することで本人の意識も高まり、卒業後の就職先でも生かされるはずですよ。



井上 誠司 教授  
農業政策学研究室

### ピックアップカリキュラム2

### 園芸学実習



1 アスパラガスの圃場に設置したフィールドサーバーの観察(ビニールハウス) 2 トマトの生理障害の観察(ガラス温室) 3 タマネギの病害虫調査(露地圃場)

### 園芸作物の生理生態を深く理解し、栽培における知識と技術を習得する

本実習は「園芸学」、「野菜園芸学」および「花き園芸学」の講義と運動しており、園芸作物の生理生態を踏まえた実学としての栽培技術の習得ができることが魅力です。播種と育苗から、簡易土壌分析、栽培管理、生育調査、収穫調査および出荷調整など、栽培における工程を幅広く行います。播種育苗時には想像ができなかったタマネギやコーララビ、トマト、アスパラガスなどの生育が観察でき、それらを収穫し味わうことで、農業技術の深さや魅力を知ることが出来ます。また、スマート農業技術についても取り組んでおり、ビニールハウス内のリアルタイムのモニタリングシステムだけでなく、外部講師によるドローンの飛行デモンストレーション等も組み入れて学生の興味喚起を促しています。生産に関わる基本的な作業だけでなく、専門的な技術も取り入れて「知識」が「知恵」となるよう工夫しています。



園田 高広 教授  
農場生態学研究室

# 研究室紹介



研究室	教員	職名	テーマ
農畜産物市場論	相原 晴伴	教授	農畜産物・食料の流通の仕組み、需給や価格の動向を研究
家畜遺伝学	天野 朋子	教授	遺伝情報を活用し、より能力の高い家畜を作出する
農業施設学	石川 志保	准教授	家畜にヒトに地球に優しい新たな畜産経営システムを構築する
ルミノロジー	泉 賢一	教授	ウシの第一胃の秘密を探る
協同組合学	糸山 健介	准教授	協同組合とは何か?新しい協同の形を考察する
農業政策学	井上 誠司	教授	農村にとって有効な農業政策について考察する
動物生殖工学	今井 敬	教授	バイオで牛をつくり育てる - 120 $\mu$ m <sup>2</sup> の卵子から900kgの肥育牛まで- ※ $\mu$ m=マイクロメートル
植物育種学	岡本 吉弘	准教授	植物組織培養技術や遺伝子情報に基づいた作物の遺伝育種学研究
天然物化学	小澤 修二	教授	植物の化学成分の構造を明らかにし、その生理活性を調べる
理科教育	金本 吉泰	教授	理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究
畜産衛生学	菊 佳男	教授	家畜の健康を守り、生産者と消費者を守る考え方を学ぶ
国際経済学	小糸 健太郎	教授	国際的な視野で食料・農業・地域の問題を学ぶ
作物栄養学	小八重 善裕	教授	作物の栄養と健康を見つめ、豊かな食料生産に貢献する
キリスト教応用倫理学	小林 昭博	教授	現代世界の多様なテーマを聖書やキリスト教思想を通して読み解く
農業機械システム学	小宮 道士	教授	機械利用による安全かつ能率的、合理的な農作業を考える
植物病理学	薦田 優香	教授	植物の病気を遺伝子レベルで解明し、農業被害を防ぐ技術につなげる
草地・飼料生産学	三枝 俊哉	教授	草地・飼料作物の効率的な生産による持続的な土地利用技術の研究
土壌環境学	澤本 卓治	教授	土壌を中心とした物質動態とその環境との関わりを研究
農業科教育課程	志賀 聡	教授	教科「農業」における理論と実践が融合する指導法や教育課程の研究
農場生態学	園田 高広	教授	野菜と病害の生理生態を踏まえた栽培法や病害防除法の開発
家畜飼料学	土井 和也	講師	輸入飼料に依存しない家畜生産を目指して
家畜繁殖学	堂地 修	教授	牛の人工授精、胚移植、体外受精、繁殖管理、肉牛の飼養管理に関する研究
農業科教育	飛谷 淳一	准教授	実践的・体験的な学習活動を通じた農業教育に関する研究
家畜栄養学	中辻 浩喜	教授	草食家畜の栄養生理学を基本に土地利用型乳肉生産を実現する
農業昆虫学	中平 賢吾	准教授	天敵利用などの農業昆虫に関する研究
家畜生産改良学	西寒水 将	准教授	経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計
実践農学	猫本 健司	准教授	畜産環境や循環利用ならびに営農や就農に関する現況や課題の整理
栽培学研究室	林 怜史	准教授	栽培管理に対する作物の反応を知ることで、持続可能な栽培技術を作る
酪農・畜産経営論	日向 貴久	教授	自然環境や社会環境の持続性に配慮した経営管理とは?
農業科環境教育	廣瀬 之彦	教授	SDGsの視点による探究活動を通し、農業教育の在り方を研究する
英語圏文化	藤田 佳也	教授	「言語」「文化」「表現」を読み解く方法について学ぶ
農食法制度論	正木 卓	准教授	農業・農村・食料を支える法制度のあり方を考える
家畜育種学	増田 豊	准教授	データに基づく確実な選抜で家畜の性質を遺伝的に改善する
食物利用学	宮崎 早花	講師	おいしい食べ物とは何かさまざまな視点から考える
統計学	毛利 泰大	講師	農村・農業・食料における社会現象に対する統計学を応用した実証分析
園芸学	森 志郎	教授	花きを中心とした新規園芸植物の作出と高品質栽培技術の確立
家畜管理・行動学	森田 茂	教授	「家畜に配慮」した人・牛に優しい管理システムを動物行動から構築する
人と動物の関係学	山田 弘司	教授	人と動物の相互理解とより良い関係を目指して
中小家畜飼養学	山田 未知	教授	豚および鶏の効率的な飼養管理技術を探求する
農業経営学	吉岡 徹	教授	経営調査を通して農業経営が成り立つ条件や方法を考える
農村計画論	吉野 宣彦	教授	農村人口を減らさないために、農業のコスト低下や、付加価値生産、経営の多角化を考え、支える
作物学	義平 大樹	教授	人類生存に不可欠な穀物類の良質多収栽培法の研究
資源植物学	我妻 尚広	教授	植物群落の保全や緑化を目的とした植物の生態遺伝学的研究

**動画で詳しくCHECK!**

**Pickup 01 酪農・畜産経営論研究室**  
 自然環境や社会環境の持続性に配慮した経営管理とは?



**Pickup 02 家畜生産改良学研究室**  
 経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計



# OB・OG インタビュー

※勤務先は2023年4月時点

就職実績 > P.87



**株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部**  
 (農業活性営業部 総合企画営業1課)

## 就農を目指す人と農家さんをつなぐ架け橋に

台 正宏さん  
 循環農学類 酪農学コース 2018年3月卒業  
 東京都/東京都立瑞穂農芸高等学校 出身

本学の一番の魅力は、農業を身近に学べることです。知識や技術はもちろん、農家の友人から最近のトレンドや経営の考え方などを学ぶこともできます。

現在の農業課題として、人材不足や離農した事例などをよく耳にし、“人”の部分で

貢献したいという思いから、現在はマイナビの地域活性CSV事業部で働いています。仕事内容は、人材採用の提案や求人サイトの運営、就農イベント、セミナーの開催など、農業界に興味を持つ方と現場をつなぐ役割全般を担っています。

自分が携わった農家さんで初めて採用が成功し、「今後も生産を落とさずに経営が続けられる」と感謝された時、採用のお手伝いをすることは、経営の一部を任せられている事だと実感しました。これからも本学での学びを生かし、農業の魅力を伝えていきます。



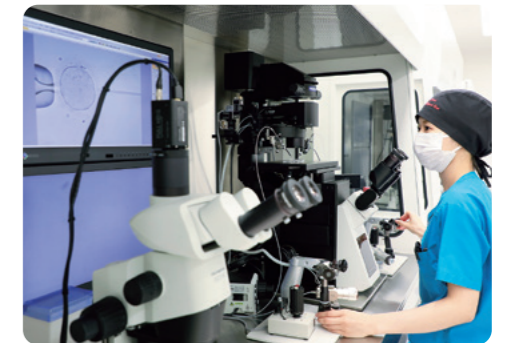
## つくば木場公園クリニック

## 大学での学びを生かし患者を笑顔にする胚培養士に

谷谷 萌さん  
 酪農学類 酪農学(現・循環農学類) 2014年3月卒業  
 岡山県/岡山県立高松農芸高等学校 出身

私の祖父が家畜人工授精師であり、私自身も牛に接する機会が多かった中で、特に繁殖に関わる部分に興味がありました。本学の「受精卵移植論」という講義の中で、不妊治療に携わる胚培養士(エンブリオロジスト)という存在を知り、命の誕生に関わる

仕事に強く関心を持ちました。卒業後は不妊治療の専門クリニックで胚培養士として勤務しています。不妊に悩むご夫婦から配偶子(卵子と精子)を預かり、受精操作や受精卵(胚)の培養、凍結融解操作などを主にを行います。所属した応用家畜繁殖学研究室で培った知識や技術、牛の出産日に牛舎に泊まり込んで観察した現場でのハードな経験は、今の仕事でも生かされています。現在は一人でも多くの患者さんが笑顔で卒業できるよう、技術の向上や知見の収集に励んでいます。



**株式会社明治**  
 (恵庭工場)

## 夢を実現した乳業の仕事で業界の発展に貢献していく

小川 啓示さん  
 酪農学類 酪農学(現・循環農学類) 2010年3月卒業  
 北海道/武修館高等学校 出身

実家が酪農家だった私は、小さい頃から食べることも動物が好きで、高校生の時には食品や動物に関わる仕事がしたいと思っていました。その両分野が学べる理想を叶えたのが酪農学園大学でした。酪農や食に関する座学だけでなく、学内農場で牛

の胃の中に手を入れて内容物の調査、学外実習では酪農家のところで牛の世話をするなど、難しい内容も楽しんで学習できました。現在は株式会社明治の恵庭工場に勤務し、市乳製造に加え、サステナビリティへの取り組みも強化しています。乳業は食品、動物(牛)の双方に携わるため、夢だった「食品や動物に関わる仕事」を実現することができました。食品を扱う責任ある仕事に、とてもやりがいを感じます。今後も、酪農家と乳業メーカーのさらなる発展への架け橋になれるよう日々努めています。



# 食と健康学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Food Science and Human Wellness

### 取得可能資格

- 中学校教諭1種(理科・社会)
- 高等学校教諭1種(理科・農業・公民)  
※教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。  
※管理栄養士コースを除く。
- 准学校心理士  
※管理栄養士コースを除く。
- 栄養士  
※管理栄養士コースのみ。

### 任用資格

- 食品衛生監視員 ● 食品衛生管理者

### 受験資格

- 管理栄養士国家試験  
※管理栄養士コースのみ。
- 専門フードスペシャリスト(食品開発)  
※管理栄養士コースのみ。
- 専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)  
※管理栄養士コースのみ。

### 学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級 ● 食品衛生責任者
- 販売士2級・3級 ● 学芸員
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)  
※管理栄養士コースを除く。

### 目指す業界・職業

- 食品製造業
- 食品卸売・小売業
- 宿泊・飲食サービス業
- 農業協同組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 公務員 など

### 管理栄養士コース

- 医療・福祉施設
- 食品製造業
- 給食委託業
- 宿泊・飲食サービス業
- 公務員 など



「食べる」は生きる  
食を通じて人々を笑顔に



## 学びのポイント

**Point 1** 1年次には作物栽培や家畜に触れる農場実習で生産現場を体験

食品全般を理解するため、土から育てた作物が人の体の中で変化するまで、一連の流れを体験しながら学べます。1年次には畑に種をまいて育てた野菜の収穫を行い、また、牛や羊、鶏、豚など家畜に触れて食品のもととなる生産現場を体験します。

**Point 2** 学内にある乳製品や肉製品の製造実習工場体験を通じて食を学ぶ

ハムやベーコン、ソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやバター、アイスクリームをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。

**Point 3** 安全・安心な「食品」の製造・加工・流通から健康・医療分野までをカバー

食の分野は、安全性やアレルギーの問題、食料自給率の低下、高齢者向けの食品開発の必要性などさまざまな課題を持ち、食品にとどまらず健康・医療まで密接な関わりがあります。これらを体系的に学び、それぞれの専門性を深めていきます。

**Point 4** 管理栄養士国家試験合格を目指す専門コースを設置

国家資格である管理栄養士はあらゆるライフステージで食事や栄養についてアドバイスを行うなど、食と栄養の専門職として社会的に需要が高く、取得すると活躍の場が広がります。管理栄養士コースでは、国家試験合格を目指し高度で効率的な学習を行っています。

## 3・4年次 専門教育 コース紹介

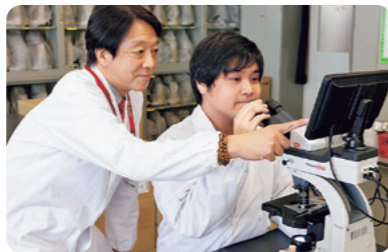
### 食資源 開発学コース

#### 食とモノの関わりを学ぶ!

食品科学の知識を基に、食資源である生物素材の特性と機能の分析・解析技術を習得し、食品の分析業務、製造・品質管理現場ならびに新規食品事業開拓に役立つ人材を養成します。

#### コースTOPICS /

- ✓農畜水産物の持つ栄養、機能性、道産素材の付加価値向上などに関する最新の研究ができる
- ✓食品の科学に関わる諸問題の解決策を示すための論理的な思考力と問題解決力が身につく
- ✓HACCPシステム実務者養成科目を含め、食品衛生管理・生産管理業務に役立つ知識と技術が身につく
- ✓オリジナルレベルのワイン製造は8年目に突入
- ✓食品メーカーや機器メーカーとさまざまな食材や加工装置を用いた新商品や新技術を開発中
- ✓おいさを物理学的視点で捉える研究を展開中
- ✓電子顕微鏡と原子間力顕微鏡による充実した食品微細構造の研究が可能
- ✓研究開発・生産管理職などの開発職、技術職を目指す



## 3年次から2つのコースに別れて、専門的な学びを深めます。\*

\*管理栄養士コースは1年次よりコースに所属。

### 管理栄養士コース

土から作物、そして「食と健康」という建学の精神を基本とした教育により、栄養管理のプロフェッショナルとして最前線に立つ管理栄養士を育成します。

#### コースTOPICS /

- ✓1学年40人の少人数クラスで、きめ細かな教育と国家試験対策が可能
- ✓全国トップクラスの管理栄養士国家試験合格率(2018-22年度の5年間の平均合格率92.1%)
- ✓酪農学園大学ならではの本格的な設備で、食品の加工技術を学ぶことができる
- ✓食品系企業と学生のコラボによるメニュー考案や商品企画・開発を実施
- ✓毎年、各種レシコンテストでの入賞実績がある
- ✓抗酸化機能分析教育研究センターを開設し、食品の機能性研究が充実
- ✓スポーツ栄養学を学べる研究室がある
- ✓HACCPシステム実務者養成科目を授業として展開中



### 食品流通 開発学コース

#### 食とヒトの関わりを学ぶ!

広く食品科学の知識を習得し、それを基に食品の物流ならびにマーケット調査を基にした商品としての食品開発とその市場価値創生に貢献できる人材を養成します。

#### コースTOPICS /

- ✓日本の食糧基地である北海道は食品流通の勉強にも最適
- ✓食品流通、食品企画開発、市場調査などを学べる
- ✓学内外の販売実習、企業との共同研究やフィールドワークにより、企画開発、食品製造、品質管理、流通技術などに関する実践的な研究ができる
- ✓地域資源を活用した商品開発、マーケティング調査、販売実習を企業や自治体とコラボ展開中
- ✓食品を開発するために食資源の加工特性、保存性などの基本的な知識や適切な手段を身につける
- ✓食産業に従事する者としての社会的な役割と責任を理解し、食品関連産業の発展に貢献する力を養成する
- ✓HACCPシステム実務者養成科目を授業として展開中
- ✓将来は、商社などの総合職や商品企画職を目指す

## TOPICS

#### 服部醸造の新商品

#### 「雲丹ソース」を共同開発 ソースを使ったレシピ考案

八雲町にある服部醸造の「雲丹ソース」の共同開発とレシピ考案をしました。「雲丹ソース」は公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)の地域産業クラスターものづくり支援事業として、1年間で服部醸造が商品開発に取り組み、財団が本学による新製品開発サポートをコーディネートしました。阿部茂教授のゼミ生が生ウニの衛生面や賞味期限の設定、ワインを入れる効果の科学的検証、他社商品との差別化などの研究・検証に取り組みました。また、小林道准教授のゼミ生らがソースの「おいしい使い方」を提案するレシピを作り、7種類のメニューの試食会を実施しました。



#### 酪農学園大生 学生チャレンジプロジェクト

#### 「RAKUNO ATHLETE MESHI プロジェクト」を実施

酪農学研究科大学院修士課程1年\*の池永和奏さんが企画した、アスリートに適した朝食を提供する「RAKUNO ATHLETE MESHI プロジェクト」(RAMプロ)が2022年12月に行われ、おにぎり2種(チーズおかか、鮭枝豆)と豚汁、ヨーグルトセット100食を無料で提供しました。朝食に必要なたんぱく質と糖質を満ち、忙しい朝でも簡単に作れて美味しく食べられる献立を考えました。朝食提供のほか、QRコード記載のリーフレットを配布し、オスメの朝食レシピをWEBサイトで広く周知し、大学生の朝食欠食問題の解決に大きく貢献しました。



\*当時は健康・スポーツ科学研究室4年

#### 本学学生が日本食品科学工学会 北海道支部大会で最優秀講演賞を受賞

2023年度(公社)日本食品科学工学会 北海道支部大会において、酪農学研究科大学院修士課程2年\*の兼子さらさんが最優秀講演賞を受賞しました。植物プロテアーゼを利用してチーズを製造するという応用研究で食資源開発学コース4年時の卒業研究を大学院で更に発展させた研究成果です。チーズ製造に使われる凝乳酵素レンネットの供給量減少や価格高騰により、代替酵素として植物プロテアーゼを用いたチーズ製造が注目されています。兼子さんは、北海道の野山で採取されるサルナシ(コクワ)の果汁や入手が容易な『クワイ』(サルナシの近縁種)などのプロテアーゼの凝乳活性の評価や、実際に調製したチーズの力学物性(硬さ測定)や構造観察を行ってきました。最近ではクワイ果汁を用いた熟成型チーズの製造にも成功し、これまでにない食感・風味の熟成型チーズの製造、製品化に向けて研究が進められています。

\*受賞時は1年



その他のTOPICS



# 学びの流れ / カリキュラム

## 1 年次

### 基盤教育

- 基礎演習
- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 健士健民入門実習
- 農食環境学概論
- 哲学 ☆1
- 心理学 ☆1
- 文学 ☆1
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学 ☆1
- 日本国憲法 ☆1
- 経済学 ☆1
- 数学I
- 数学II
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学 ☆1
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎 ☆1
- 情報処理基礎演習 ☆1
- 英語I
- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆5
- 日本語II ☆5
- キャリア実習

### 専門基礎教育

- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

### 【管理栄養士コース】

- 医学概論
- 解剖生理学I
- 解剖生理学II
- 生化学I
- 生化学II
- 生化学実験・実習I
- 生化学実験・実習II
- 食品学
- 調理学
- 食品学実験・実習I
- 調理学実験・実習I

### 専門教育

#### 【管理栄養士コース】

- 基礎栄養学

### 教職課程教育 ☆2

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

## 2 年次

### 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理実験
- 地学実験
- 外国語演習I
- 外国語演習II
- 中国語I
- 中国語II
- ハンブルI
- ハンブルII
- キャリアベースック ☆2

### 専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学 ☆2
- 微生物学 ☆2
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 植物生態学
- 動物生態学
- 生物地球化学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 自然環境学実験・実習
- 動物形態機能学
- アジア環境学
- 環境法
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 海外自然環境実習
- 日本経済論
- GIS 応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 簿記・会計学概論
- 農業協同組合論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- 国際関係論
- 国際理解

### 【管理栄養士コース】

- 公衆衛生学
- 社会福祉概論
- 運動生理学
- 微生物学
- 解剖生理学実験・実習I
- 解剖生理学実験・実習II
- 食品加工学
- 食品学実験・実習II
- 調理学実験・実習II

### 専門教育

- 食品総合実験

### 【管理栄養士コース】

- 栄養学実験・実習I
- 応用栄養学I
- 応用栄養学II
- 栄養指導概論
- 臨床栄養学I
- 臨床栄養学実験・実習I
- 公衆栄養学I
- 給食経営管理論I

### 【教職コース】 ☆2

- 教職インターンシップ
- 教職応用演習I
- 教職応用演習II

### 教職課程教育 ☆2

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論
- 地誌

## 3 年次

### 基盤教育

- 外国語演習I
- 外国語演習II
- キャリアデザインI ☆2
- キャリアデザインII ☆2

### 専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 食品物理化学
- 栄養生理学
- 食品流通論
- 食品資源学
- 食品衛生学 ☆2
- 公衆衛生学 ☆2
- 食料経済論
- 農業施設学
- 雑草学
- 農業施設・機械学実習
- 保全生物学
- サステナビリティ学
- 資源管理論
- 博物館実習

### 専門教育

- 専門ゼミナールI ☆2
- 専門ゼミナールII ☆2
- 食品品質管理論
- 食品流通情報システム論
- 農産資源利用学
- 食品品質特性学実験
- 食品企画開発実習
- 乳肉製造学実験実習
- 食品微生物学
- 乳製品製造学
- 肉製品製造学
- 食品物性学

### 【食資源開発学コース】 ☆2

- 食品栄養学
- タンパク質化学
- 食品工学
- 食品栄養化学実験
- 生化学実験
- 食品微生物学実験
- 食品品質特性学実験
- 乳肉製造学実験実習
- 食品微生物学
- 乳製品製造学
- 肉製品製造学
- 食品物性学

### 【食品流通開発学コース】 ☆2

- 食品マーケティング戦略論
- 食品物流管理論
- アグリビジネス論
- 食品栄養学
- 食品企画開発論
- 公衆栄養学II
- 公衆栄養学III
- 栄養学実験・実習II
- 栄養教育論
- 栄養カウンセリング論
- 栄養指導論実習I
- 栄養指導論実習II
- 臨床栄養学II
- 臨床栄養管理論
- 高齢者臨床栄養学
- 臨床栄養学実験・実習III
- 公衆栄養学II
- 公衆栄養学III
- 給食経営管理論II
- 給食管理実習I

### 教職課程教育 ☆2

- 農業科教育法I ☆3
- 農業科教育法II ☆3
- 職業指導I(農業)
- 職業指導II(農業)
- 理科教育法I ☆3
- 理科教育法II ☆3
- 社会科・公民科教育法I ☆3
- 社会科・公民科教育法II ☆3
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 社会科・地理歴史科教育法I ☆3
- 社会科・地理歴史科教育法II ☆3
- 道徳教育指導論

## 4 年次

### 専門教育

- 卒業研究I ☆2
- 卒業研究II ☆2
- 研究発表
- ワードコーディネート論

### 【管理栄養士コース】

- 総合演習II
- 給食管理実習II
- 臨床栄養学実習I
- 臨床栄養学実習II
- 公衆栄養学実習II
- 健康栄養学演習I
- 健康栄養学演習II

### 【教職コース】 ☆2

- 教職応用演習IV

### 教職課程教育 ☆2

- 教職実践演習(中・高1免)
- 理科教育法III ☆4
- 理科教育法IV ☆4
- 教育実習(中・高1免) ☆4
- 教育実習(高1免) ☆4

### CHECK!

#### カリキュラムマップ



### Pick up!

#### ピックアップカリキュラム1

### 食品企画開発実習



1 カレースパイスの計量 2 カレールウをレトルトパウチに充填 3 カレールウを加熱混合

### 社会における企画立案から試作開発、マーケティングの流れを学ぶ

普段何気なく買って食べている食品がどのようなプロセスで商品化していくかについて、実際にオリジナルレトルトカレーを企画立案し、試作して製品を完成させる珍しい実習です。包装された食品を高温高圧の蒸気で加熱殺菌する小型レトルト処理装置を用います。食品企業が新製品開発を行うためには自社の技術的な強みに加えて消費者ニーズをとらえた新規性のあるアイデアが必要です。ディスカッションを重ねながら、テーマの策定およびそのアイデアを具体化してパッケージデザインや包装形態を検討します。コンセプトに基づいた試作を繰り返して製品を完成させ、試食アンケートで消費者ニーズを把握し、これらをまとめてプレゼンテーションを行います。食品会社における企画立案から試作開発、マーケティング、プレゼンテーションまでの流れを会得することができる実習です。



阿部 茂 教授  
農産資源科学研究室

#### ピックアップカリキュラム2

### 給食管理実習



1 多種の調味料の準備と加熱調理 2 材料の下処理は、調理室とは別室で行う 3 中心温度計で加熱状態のチェック

### 生産・衛生管理を体系的に学び、どの給食施設でも即戦力に

給食施設の衛生管理基準をクリアする機材をそろえた、集団給食実習室で行う実習です。給食経営管理論I・IIで学んだ献立作成をもとに材料費計算から給食の生産、喫食までの過程をグループ学習します。毎回の実習で栄養士班・調理班・下処理班など役割を変え、それぞれの班同士でも議論しつつ、約100食の献立計画から提供までを切れ目なく行います。給食は、他学年の学生や教員に喫食してもらいます。給食経営管理の一連の流れを経験し、実際の現場で即戦力になれるような知識と実践力を身につけます。基本的な給食の生産管理や衛生管理などの方法を体系的に学ぶことで、病院や高齢者施設、学校など、どの給食施設でも業務への対応が可能になります。学生相互で主体的に学ぶグループ学習で身につけられるコミュニケーション能力は、どの職場においても役に立ちます。



小林 道 准教授  
給食栄養管理研究室

# 研究室紹介



研究室	教員	職名	テーマ
農産資源科学	阿部 茂	教授	食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や新商品の開発を行う
	小泉 次郎	講師	
食肉科学	岩崎 智仁	教授	筋肉から食肉までの生化学、衛生学および組織細胞学：マウスからジビエまで
	前田 尚之	准教授	
	長谷川 靖洋	講師	
流通マーケティング	尾崎 亨	教授	農と食を軸により良い社会を作るマーケティングのあり方を考える
	増田 祥世	准教授	
食品化学	小野寺 秀一	教授	食資源を有効活用し、新しい機能性食品素材を開発する
	上野 敬司	教授	
食品物理学	金田 勇	教授	分子ガストロノミーを志向した食品の物理学
	川端 庸平	准教授	
乳科学	栃原 孝志	准教授	発酵乳製品の微生物叢および乳酸菌の機能解析と利用に関する研究
	平山 洋佑	講師	
発酵科学	船津 保浩	教授	発酵技術を用いた低利用資源の有効活用と安全・安心な食品素材の開発
	村松 圭	准教授	
数学	上野 岳史	教授	自然演繹における部分構造論理の正規化可能条件についての研究
英文学	金井 彩香	准教授	19世紀から20世紀の英米小説を読む
教育発達心理学	須賀 朋子	教授	学校現場で必要な教育心理学、特別支援教育を追求する

## ■管理栄養士コース

研究室	教員	職名	テーマ
臨床栄養学	大谷 克城	教授	抗酸化機能に着目した食素材研究と新たな機能性食品の開発
臨床栄養管理学	小川 美弥子	講師	問題構造化の手法を用いた栄養士業務に関する研究 心身の健康問題と食事の質に関する研究
公衆栄養学	木村 宣哉	講師	地域・集団・個人における健康についての研究
給食栄養管理	小林 道	准教授	栄養および食習慣が人々の健康に与える影響を科学的に明らかにする
栄養教育学	杉村 留美子	准教授	行動科学理論に基づく栄養教育、食行動変容の促しに関する研究
食品学	船津 保浩	教授	食品ロスのリサイクル技術と道産食材を活用した低GI食品の開発
食品衛生学	村松 圭	准教授	食材の機能性や共生菌に着目した食の安全と健康を科学する研究
食・健康スポーツ科学	山口 太一	教授	スポーツパフォーマンスを高めるためのより良いコンディショニング法の探求
	柴田 啓介	講師	
医学・生理学	山田 雅文	教授	さまざまな疾患と栄養との関わりについて、その病態とともに学ぶ

動画で詳しくCHECK!  
Pick up 01 **食品物理学研究室**  
分子ガストロノミーを志向した食品の物理学  
YouTube

Pick up 02 **農産資源科学研究室**  
食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や新商品の開発を行う  
YouTube

Pick up 03 **食・健康スポーツ科学研究室**  
スポーツパフォーマンスを高めるためのより良いコンディショニング法の探求  
YouTube



# OB・OG インタビュー

※勤務先は2023年4月時点

就職実績 > P.87



**北海道ワイン株式会社**  
(製造企画部 品質管理課)

## ワインサークルへの参加が自身の夢を決めるきっかけに

鹿野 皓己さん  
食と健康学類 食品機能科学コース(現・食資源開発学コース)  
2018年3月卒業 北海道/北海道札幌北陵高等学校 出身

私は現在、北海道ワイン株式会社の品質管理課に所属し、ワインの成分分析や発酵管理、貯酒管理などを担当しています。ぶどうの受け入れから、醸造、貯蔵、瓶詰めに至るまでの各種製造工程で、香りや味はもちろん、日々の分析結果から異常を早期に気付けるよう心がけています。高校生の頃はコーヒー飲料を製造する仕事がしたいと思っていましたが、在学中にオリジナルワインプロジェクトを行うサークル「ROWP」に参加したことが、ワインに興味を持つきっかけになりました。ぶどうの栽培から、収穫したぶどうがワインになる工程に触れて、ワイン造りに魅了されました。また、食品機能科学総合実験概要での講義や実習を通じて、ワインの香り成分のこと、器具の使用方法などを学んだ経験は、ワインの製造に携わるうえで大いに生かされています。

**市立札幌病院**  
(栄養科)

## 医療者の一員として命を救う病院の管理栄養士に

小鹿 真由さん  
食と健康学類 管理栄養士コース 2016年3月卒業  
青森県/青森県立八戸南高等学校 出身

管理栄養士を目指し、国家試験の合格率が高い本学に入学しました。そして大学の授業や実習での経験から、行政栄養士を目指すようになりました。現在は札幌市公務員として市立札幌病院に勤務しています。業務内容は、食事や栄養補助食品の調整、管から栄養を投与する経腸栄養の調整などの栄養管理および患者の病態や理解度に合わせた栄養指導などです。以前、全身に重度の火傷を負った患者さんに対し、最初は胃に直接チューブで流す栄養の内容調整をしましたが、最終的に食事を全量食べられるようになり、歩行できるまでに回復したことは印象深かったです。そんな命を救う現場で、医療者の一員として働ける病院の管理栄養士という仕事にとってもやりがいを感じています。



循環農学類  
食と健康学類  
環境共生学類  
獣医学類  
獣医保健看護学類

# 環境共生学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Environmental Sciences

### 取得可能資格

- 中学校教諭1種(理科)
- 高等学校教諭1種(理科)
- 准学校心理士

### 受験資格

- 鳥獣管理士 準1級(野生動物学コース卒業必須)、2級、3級
- シカ捕獲認証(レベル1)

### 学類でサポートする資格

- 気象予報士
- 生物分類技能検定(2級・3級)
- 猟銃所持許可
- 狩猟免許(猟銃・わな・網)
- ピオトップ管理士
- 公害防止管理者
- 環境測定分析士
- 技術士補
- 食品衛生責任者
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
- 学芸員
- 環境再生医

### 目指す業界・職業

- 環境・建設コンサルタント業
- 環境NPO・NGO法人
- 衛生サービス業
- 情報通信業
- 農業協同組合・森林組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 都道府県・市町村公務員
- 狩猟者・認定鳥獣捕獲事業者 など



世界の自然環境・生態系をどう守る？  
その答えを北海道から探す



## 学びのポイント

**Point 1** 地球環境、生態系の仕組みやつながりを科学的に解明し問題解決の方法を探る

環境とは人や生物を取り巻く総体で、守るのも壊すのも人の考え次第です。野生の動植物に対して好き嫌いだけでなく、一つの生命として向き合い、全ての自然のつながりを理解する学びを行います。

**Point 2** GIS(地理情報システム)、RS(リモートセンシング)を用いた情報解析を実践的に学ぶ

地域の諸問題の解決には人工衛星やドローンから得られる空からの目「RS」、さらに、その画像をほかの情報と合わせて解析する「GIS」が不可欠です。これらの技術を講義だけでなく実習等も通じて実践的に学びます。

**Point 3** 自然と人が調和・共生する社会の実現に貢献できる人材を育成

本学類には環境に関する多種多様な分野を専門とする教員が在籍しています。広大なフィールドで、自然と共生する社会に貢献するための活きた力が養われます。

**Point 4** 北海道から世界のフィールドで実学教育を実践

4年間を通してたくさんのフィールドワークの機会があり、複雑な生態系を肌で感じながら学ぶことができます。学生の4人に1人が実習・調査・留学で、アジアやオセアニア、欧米、アフリカなどの海外経験をしていることも本学類の特徴です。



## 3・4年次 専門教育 コース紹介

3年次から2つのコースに別れて、専門的な学びを深めます。

### 野生動物学コース

野生動物の保全と管理について、北海道の広大なフィールドを舞台に生態学と地域社会との関わりを基礎とした幅広い理論と技術を学びます。

#### コースTOPICS /

- 国内唯一の野生動物に関わる地域の問題を解決できる専門家(Wildlifer)養成を目指すコース
- 野生動物の生態や行動、保全や管理、狩猟や有効活用、鳥獣行政、人や地域と野生動物などを専門とする多彩な研究室



### 生命環境学コース

北海道の森・川・湖・海といった優れた自然資源の保全と利用を題材に、生命圏の物質的・エネルギー的環境に関する理論と技術を学びます。

#### コースTOPICS /

- 地域から地球規模まで幅広い環境問題に対応できる人材(Nature Specialist)を育成するコース
- 気候や気象、環境変動・変化、湖沼・河川流域環境、海洋環境、水環境、土壌や植生、植物などを専門とする多彩な研究室



### 野生動物分野

- DNA
- 生物多様性
- 鳥獣被害対策
- 希少種保全
- 外来種対策
- 野生動物管理
- 生態系
- 景観生態
- 自然資源利用



ニホンシカの生態調査：道路に出没



ヒグマの生態調査：ヘアトラップ調査で撮影されたヒグマ

### 生命環境分野

- 物質循環
- 気象・気候
- 森・海・川・湖・空・土
- フィールド科学
- 環境汚染
- 地球温暖化
- 環境変動・変化
- 環境要素
- 環境観測・計測



洞爺湖でのプランクトンの採取



サロマ湖における海水実習

### 人間環境分野

- 国際理解
- 持続可能な開発目標(SDGs)
- 人の健康
- 循環型経済
- 環境政策
- 環境法
- 地域社会
- 社会的合意形成



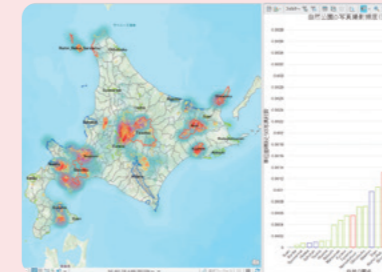
海外の専門家を交えたディスカッション



実習先(知床)での、自然回復への取り組みについての講義

### 環境情報分野

- 生息地モニタリング
- 数値統計と空間統計
- リモートセンシング
- 地理情報システム(GIS)
- 空間情報
- 遊牧と定住
- 高分解能衛星画像
- ディープ・ラーニング
- ドローン



GISを用いて北海道の景観の価値を評価



ドローンを活用した高度な環境情報分析

#### コース共通TOPICS /

- マレーシアやモンゴルなどアジアを中心とした海外実習やフィールドワークも充実
- 人工衛星やドローン、ICTを活用した高度な環境情報解析
- 全国各地の野生動物や環境の問題に、最前線で活躍する人材を輩出中
- 資格取得に繋がる専門科目を多数配置
- 地球規模の(Globalな)視点で環境問題を捉え、地域の(Localな)視点で問題解決のために行動できる人材を育成
- 自然環境や野生動物、人々の暮らしを地域の資源として地域活性化にも貢献
- 北海道の大自然、森・里・川・海全てがフィールド。全道各地で豊富なフィールドワーク
- 地域の課題も地球環境の危機も、市民公園の池から南極まで、広範な教育研究テーマ

どの分野で学びを深めるかはあなた次第!

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

獣医学類

獣医保健看護学類

# 学びの流れ／カリキュラム

☆1 外国人留学生のみ  
※この内容は2023年4月1日現在のものです。今後変更もあります。

## 1年次

### 基盤教育

- 基礎演習
- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 健土健民入門実習
- 農食環境学概論
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学I
- 数学II
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I
- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1
- キャリア実習

### 専門基礎教育

- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

### 教職課程教育

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

## 2年次

### 基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 外国語演習I
- 外国語演習II
- 中国語I
- 中国語II
- ハングルI
- ハングルII
- キャリアベーシック

### 専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学
- 微生物学
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 民法・商法
- 行政学概論
- 経済原論
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 経営学総論
- 日本経済論
- 生物分類学
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 生物地球化学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 自然環境学実験・実習
- 動物形態機能学
- アジア環境学
- 環境法
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 海外自然環境実習
- 情報処理演習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 国際関係論
- 国際理解
- 国際法
- 家畜解剖学
- 家畜生理学
- 畜産学総論
- 農業機械学
- 草地・飼料作物学
- 作物栽培学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 家畜行動学
- 食料農業の法と制度
- 家畜生理・解剖学実験
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 作物生態生理学実験
- 学外農場実習
- 食品化学
- 乳科学
- 食肉科学
- 応用生化学
- 食品産業論
- 簿記・会計学概論
- 農業協同組合論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- マーケティング論
- 国際経済論

### 教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論

## 3年次

### 基盤教育

- 外国語演習I
- 外国語演習II
- キャリアデザインI
- キャリアデザインII

### 専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 保全生物学
- サステイナビリティ学
- 資源管理論
- 農業施設学
- 雑草学
- 農業施設・機械学実習
- 食品物理化学
- 栄養生理学
- 食品流通論
- 食品資源学
- 食品衛生学
- 公衆衛生学
- 食料経済論
- 博物館実習

### 専門教育

- 専門ゼミナールI
- 専門ゼミナールII
- 環境変動のリモートセンシング
- 環境情報の解析
- 地域資源学
- 生息地保全管理論
- 環境アセスメント・ビオトープ論

### 【野生動物学コース】

- 野生動物保全技術実習I
- 野生動物保全技術実習II
- 野生動物観察同定実習
- 野生動物保全行政論
- 野生動物保全と人間事象
- 狩猟管理技術論
- 野生動物生態学
- 野生鳥獣管理学
- 環境共生演習I
- 環境共生演習II
- 実践野生動物学実習
- 野生動物学

### 【生命環境学コース】

- 森林環境学
- 水圏環境化学
- 自然環境保全と地球温暖化
- 気象・気候学
- 水圏・地圏総合実習
- 生命環境学実験実習I
- 生命環境学実験実習II
- 野生動物学
- 環境共生演習I
- 環境共生演習II
- 実践生命環境学実習
- 火山・鉱物学

### 教職課程教育

- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 道徳教育指導論

## 4年次

### 専門教育

- 卒業研究I
- 卒業研究II
- 研究発表
- 環境教育論
- 動物園・水族館学
- 自然再生エネルギー論

### 教職課程教育

- 教職実践演習(中・高1免)
- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)

CHECK!

カリキュラム  
マップ



Pick up!

## ピックアップカリキュラム1

## 生命環境学実験実習I

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 地層の剥ぎ取り標本の作成 2 篩分け法による津波堆積物の粒度分析 3 地層観察に基づく津波堆積物の特徴の抽出と共有

## 自然災害の痕跡から観察・分析し、地質学的調査の基本を体得する

「地層観察の基礎」の回は、北海道東部太平洋沿岸域において過去約400年間で形成された地層を対象とし、先行研究により認定されている過去の津波の痕跡(千島海溝起源の17世紀地震に伴う津波堆積物)に触れ、地質学的特徴の調べ方を学びます。津波堆積物が明瞭な状態で地層中に保存されているのが北海道東部沿岸域の特徴であり、それを直接用いることができるのが本実習の強みです。本実習ではジオスライサーという器具で採取された地層を観察し、津波堆積物に含まれる粒子の分析などから、堆積物の運搬・形成過程や保存過程を理解していきます。さらに地層剥ぎ取り標本の作成法も学びます。自然災害の痕跡を理解することは、災害の発生間隔や規模の理解にも繋がるため、災害についてのリテラシーを高めるだけでなく、痕跡が保存され得る自然環境の保全意識形成にも役立つと考えています。



千葉 崇 講師  
自然再生学研究室

## ピックアップカリキュラム2

## 野生動物観察同定実習

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 捕獲した昆虫の顕微鏡下でのソーティング 2 グループ分けした昆虫はラベルを付けて保管 3 甲虫の一部は乾燥標本にする

## 野生動物を用いた研究調査の手法を学ぶ

本実習は、哺乳類から鳥類、無脊椎動物などさまざまなグループを専門とする教員から実際のフィールド活動を通して、それぞれのグループにおける一連の研究調査を学ぶものです。例示する昆虫実習では、大学の敷地内にある原生林をフィールドとしてトラップ採集と見つけ採りを行い、そのサンプルを顕微鏡下で観察しグループ分けするソーティングを実施します。昆虫は種数が多く環境ごとに特殊化したものが生息しているため、重要な環境指標となっていますが、この実習で学ぶ手法は実際に環境アセスメントの現場で行われているものに近く、環境調査において必須の技術です。また顕微鏡で多様な昆虫をつぶさに観察することで、グループごとの特徴や類似性、相違が徐々に分かるようになります。豊かな自然に囲まれたキャンパスだからこそできる実践的な実習であり、昆虫の多様性調査の基礎になります。



松林 圭 講師  
昆虫生態学研究室

# 研究室紹介



研究室	教員	職名	テーマ
狩猟管理学	伊吾田 宏正	准教授	持続的な狩猟の発展および狩猟鳥獣の生態と管理
野生鳥獣管理学	伊藤 哲治	講師	野生動物を知り、人と共存する方法を探索する
環境空間情報学	小川 健太	准教授	GIS・RS技術の応用
野生動物生態学	佐藤 喜和	教授	フィールドワークを通じて野生動物の生態を探索
データサイエンス	菅原 隆介	助教	群論を用いて身近な自然現象を分析する
保全生物学	鈴木 透	准教授	野生動物と自然環境の相互関係を科学する
情報工学	高取 則彦	教授	生物進化のシミュレーションと進化的計算法
生物多様性保全	立木 靖之	准教授	持続可能な地域社会と生物多様性の保全についての研究
自然再生学	千葉 崇	講師	地質記録等から過去の環境変化を読み取り古地震等の現象を明らかにする
環境法	遠井 朗子	教授	地球環境条約の履行確保と国内実施方法の検討
水質化学	中谷 暢丈	教授	水や水生生物を介した物質の循環過程や人為的な環境汚染を研究
気象・気候学	馬場 賢治	教授	大気や海洋の見地から社会や動植物に与える影響を研究
動物行動学	原村 隆司	准教授	動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究
環境リモートセンシング	星野 弘方	教授	「頂点捕食者が存在する生態系と存在しない生態系」はどう違うか？
生態系物質循環	保原 達	教授	陸上生態系の生物と環境のつながりを解明する研究
昆虫生態学	松林 圭	講師	昆虫の多様性がどのように生じるかを生態と遺伝子の両面から調査する
昆虫生理生態学	松本 圭司	助教	昆虫の環境適応に関する生理学的・生態学的研究
環境植物学	松山 周平	准教授	DNA分析や操作実験を用いて植物と環境の関係を研究する
フィールド情報学	森 夏節	教授	フィールドから得られたデータを分析・解析し、明らかとなった諸問題を情報技術を用いて解決する
環境動物学	森 さやか	准教授	主に鳥類を対象に野生動物の生態と保全に関わる研究に取り組む
環境地球化学	吉田 磨	教授	地域や地球の生命や環境を守るために、多様なフィールドで観測研究
国際理解学	吉中 厚裕	教授	持続可能な社会実現のための「地球」と「地域」両視点の尊重と統合
実践GIS	吉村 暢彦	講師	GIS等の技術を用いた海外・国内の地域課題の発見と対応の検討

**動画で詳しくCHECK!**

**Pick up 01 野生鳥獣管理学研究室**

野生動物を知り、人と共存する方法を探索する

YouTube

**Pick up 02 動物行動学研究室**

動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究

YouTube

**Pick up 03 水質化学研究室**

水や水生生物を介した物質の循環過程や人為的な環境汚染を研究

YouTube



# OB・OG インタビュー

※勤務先は2023年4月時点

就職実績 > P.88

## 東北野生動物保護管理センター

### 人と野生動物が共生できる地域づくりに貢献したい

大室 智暉さん  
環境共生学類 野生動物学コース 2018年3月卒業  
山形県/山形県立楯岡高等学校 出身

野生動物の保護管理に興味があり、専門学校から本学へ編入し、現在は宮城県にある東北野生動物保護管理センターに勤めています。東北地方を中心とした野生動物の調査・研究および獣害対策に関わる業務を行っており、対象となる動物はニホンザルやツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカなど幅広いです。GPS首輪を使用してニホンジカの追跡調査を行った際には、季節により変化する生息域を特定でき、獣害対策に有用な情報を得ることができました。自身の仕事が地域の役に立てたことにやりがいを感じたとともに、所属研究室で行っていたフィールドワークや動物のモニタリング調査の知識や経験を生かすことができ嬉しかったです。大学生活では日々の授業をはじめ「大学で得たものを、将来どう活用できるか」を考えながら過ごすことが大切だと思います。



## 浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館 浜頓別町役場

### 研究室の活動をきっかけに環境教育の仕事へ

千田 幹太さん  
環境共生学類 生命環境学コース 2015年3月卒業  
岩手県/岩手県立黒沢尻北高等学校 出身

ラムサール条約登録湿地の拠点である浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館に勤務し、来館者の案内や近隣学校での授業をはじめ、野鳥の標識調査・飛来数調査・発信器調査、外部機関の調査協力、湖水まつりの開催まで、幅広い業務に携わっています。浜頓別町には大学時代に環境地球化学研究室の活動で頻りに足を運び、その中のひとつに「環境キャンプ」がありました。環境教育のプログラムを考え、子どもたちと一緒に活動した経験から、社会人になっても子どもたちに関わりたと思うようになり、今の仕事につながっています。在学中、実習や卒業論文に取り組む際はさまざまな分析機器や調査道具を使いますが、酪農学園大学では高度な機器の使用方法も学ぶことができ、身につけた技術は就職後も役に立っていると感じています。





# 獣医学群

School of Veterinary Medicine

■ 獣医学類 ■ 獣医保健看護学類

教育基本方針  
全文



## 教育基本方針（一部抜粋）

### 学位授与の方針

（ディプロマ・ポリシー）

建学の精神である「三愛主義」「健土健民」のもと、「農・食・環境・生命」の各分野における豊富な知識や高い実践力を備え、視野の広い専門家として地域と世界の継続的な発展に貢献できる学生に「学士」の学位を授与します。

### 獣医学群

建学の精神のもとで、獣医学と獣医保健看護学及びその関連科学分野の教育をとおして生命を尊ぶ豊かな人間性を育み、国際的な視野に立って人と動物の健康保持、環境保全ならびに食料の安定供給に寄与して「One Health」に貢献できる学生に「学士」の学位を授与します。

### 獣医学類

1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」および「専門教育」で、動物の体の構造や機能、動物に関する倫理や福祉、また、実践的な英語や統計学を学び、3～4年次では、伴侶・産業動物の臨床や食の安全等を学習します。4年次からは「専修教育」にて研究室に所属して専門的研究を行い、5年次には少人数での参加型実習を行い、最終学年において、研究発表並びに最終的には獣医師国家試験受験に臨みます。

### 獣医保健看護学類

1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で基礎学力および獣医学における基礎知識を学び、3年次から始まる「専門教育」では、動物看護師として必要な専門知識と技術を学内外の実習等で身に付けます。学類の到達目標に向けて学びを深め、最終学年において、研究発表並びに愛玩動物看護師国家試験に臨みます。

### 教育課程編成・実施の方針

（カリキュラム・ポリシー）

本学の教育課程では、「農・食・環境・生命」に関する知識並びに実践力を段階的に身に付けることができるよう、基盤教育科目から専門基礎教育科目へ、そして専門教育科目・専修教育科目へと体系的な学修を取り進めていきます。

### 獣医学群

幅広い知識や高い実践能力を身に付け、社会で即戦力となる人材となるために、「獣医学」「獣医保健看護学」に関する知識並びに学内外での実習科目における経験を段階的に身に付けることができるよう基盤教育科目、専門基礎教育科目から専門教育科目へと体系的に学修するプログラムとなっています。専修教育科目では、研究や討論を実践的に積み上げる学生参加型の講義・実習が展開されます。

### 獣医学類

獣医師として必要な専門科目の講義や実習を1年次から段階的に学習することにより、幅広い知識や技術を効率よく学ぶことができます。4年次には全国の獣医学大学共通の獣医学共用試験を受験し、5年次には実際の患者動物を対象とした参加型臨床実習を行います。6年次には研究発表を行うとともに、獣医師国家試験合格に向けた6年間の学習内容の総まとめを行います。本学類の学士課程は大学基準協会の獣医学教育に関する基準に適合したものであり、また、カリキュラムは欧州獣医学教育国際認証（EAEVE）に適用カリキュラムとなっています。

### 獣医保健看護学類

ディプロマ・ポリシーに示す知識、技術、思考などの能力を身に付けるため、基盤教育、専門基礎教育、専門教育および専修教育からなるカリキュラムを編成しています。愛玩動物看護師国家資格取得のための専門科目を設けると共に、動物看護師として、高度な知識と高い実践能力を身に付けることを目標とし、社会で即戦力となる人材を育成できるカリキュラムを展開します。

### 入学者受け入れの方針

（アドミッション・ポリシー）

農業を基幹産業とする自然豊かな北海道の大地で学ぶことを望み、「農・食・環境・生命」に関する専門的知識と技能を習得し、地域と世界の持続的な発展に貢献する意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

### 獣医学群

社会に対する幅広い視野を持ち、地域さらには世界における人と動物との調和に対し深い関心を示し、日々進歩する最新知識を吸収できる基礎学力を有し、常に自ら積極的に学ぶ意欲を持ち、人間社会に貢献したいという意欲にあふれた人を求めています。

### 獣医学類

動物と人との調和に関する様々な事柄に興味を持ち、獣医療を通じた動物と人の健康保持、食料の安全確保と安定供給、および環境保全や感染症制御などの公衆衛生の専門家または研究者として人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性と広い視野を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

### 獣医保健看護学類

動物と人との関係に関する様々な事柄に興味を持ち、動物の福祉と健康向上、および動物と環境との調和を図る動物看護師として、人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

## 学びの分野と活躍するフィールド

### 生体機能学分野

動物の構造や機能を学ぶ、いわば獣医学の土台。研究から臨床まで幅広く応用できます。

目指す職業 公務員／検査機関／野生動物保護機関／研究員／伴侶動物臨床獣医師

### 感染・病理学分野

動物の病気の原因を調べ、予防法を考える基礎研究。比較的、研究員や公務員に向いています。

目指す職業 研究員／公務員／生産動物臨床獣医師／伴侶動物臨床獣医師

### 生産動物医療学分野

牛・馬・豚などの生産動物に関する疾病を学習。畜産物を守り、食の安全に貢献できます。

目指す職業 生産動物臨床獣医師／研究員／公務員

### 予防獣医学分野

病気の予防を主な目的に家畜衛生と公衆衛生を総合的に修得。国際的にも活躍の場があります。

目指す職業 公務員／検査機関／JICA等国際関係機関／研究員／生産動物臨床獣医師

### 伴侶動物医療学分野

犬や猫など伴侶動物の健康を実現。獣医療の高度化が進み、眼科などの専門医も求められます。

目指す職業 研究員／専門医／伴侶動物臨床獣医師

### 獣医保健看護分野

伴侶、展示、生産動物など幅広い分野の動物の命を救い、人と動物を繋ぐ役割を担います。

目指す職業 生産動物看護師／愛玩動物看護師／公務員

獣医学群

# 獣医学類

School of Veterinary Medicine / Department of Veterinary Medicine

動物にも人間にも  
信頼される獣医師になる

### 取得可能資格

- 食品衛生責任者

### 受験資格

- 獣医師国家試験

### 任用資格

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者
- 環境衛生監視員
- 家畜人工授精師 ※獣医師免許取得者は資格を有する
- 狂犬病予防員 ※獣医師免許取得者は資格を有する
- と畜検査員 ※獣医師免許取得者は資格を有する
- 薬事監視員

### 学類でサポートする資格

- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
- 学芸員

### 目指す職業

- 伴侶動物病院獣医師
- 農業共済組合家畜診療所獣医師
- 公務員(農林水産省、厚生労働省、環境省、地方公務員)
- 研究員(動物医薬品製造業、研究開発、安全性試験)
- 動物園・水族館等の獣医師 など



## 学びのポイント

**Point 1** 6年一貫教育で  
獣医師として将来活躍する分野を  
見据えた高度な専門性を養う

「動物のお医者さん」だけではなく、獣医師の仕事は多岐にわたり、グローバルに活躍できます。本学類では実践的な学びを通して多様なニーズに応えます。

**Point 2** 最新の施設・設備を備えた  
附属動物医療センターで  
実践的な教育を実施

附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、実際の症例を学ぶ機会が格段に多くあります。また臨床実習に出る前にスキルラボで実技や医療面接のトレーニングを積み、将来の方向性に応じて高度な実験や実習に取り組める体制と設備を整えています。

**Point 3** 5つの専修教育コースで  
専門的に学ぶ

専修教育コースは、生体機能学、感染・病理学、予防獣医学、生産動物医学、伴侶動物医学の5つに区分。人の健康を支える公衆衛生、動物を使った新薬開発の研究、家畜の健康と食の安全を守ることなどさまざまな獣医師の役割を専門的に学びます。

**Point 4** 学生3人に担当教員が1人。  
しっかりと基礎から  
実践力を磨く体制

学習の進み具合から専門への方向性までアドバイザー制とユニット制を連携させ、担当教員が学生一人ひとりに応じて国家試験に合格するまで指導していきます。

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

獣医学類

獣医保健看護学類

# 学びの流れ／カリキュラム

☆1 外国人留学生のみ  
※この内容は2023年4月1日現在のもので今後変更もあります。

## 1年次

### 基盤教育

- 建学原論
- キリスト教学
- 健土健民・獣医学入門実習
- 獣医療概論
- 心理学
- 社会学
- 生物学
- 化学
- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I
- 英語II
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1

### 専門基礎教育

- 獣医組織学A
- 獣医生化学
- 獣医生理学総論
- 感染と免疫
- 動物倫理・動物福祉学
- 動物ハンドリング実習
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

### 専門教育

- 獣医解剖学A
- 獣医解剖学B
- 獣医組織学B
- 獣医生理学各論A

## 2年次

### 基盤教育

- 統計学I
- 統計学II
- Veterinary Topic English (Standard)
- Veterinary Topic English (Advanced)
- English for Veterinary Skills

### 専門基礎教育

- 獣医薬理学A
- 獣医寄生虫学
- 獣医病理学総論
- 実験動物学
- 動物栄養管理学

### 専門教育

- 獣医解剖学実習
- 獣医組織学実習
- 分子遺伝学
- 獣医生化学実習
- 獣医生理学各論B
- 獣医生理学実習
- 獣医薬理学B
- 実験動物学実習
- 獣医微生物学
- 動物感染症学A
- 動物感染症学B
- 微生物学実習
- 医療物理学

### 畜産関連科目

- 学外農場実習
- 畜産学総論

## 3年次

### 専門基礎教育

- 動物行動学
- 臨床薬理学
- 臨床繁殖学A
- 獣医麻酔疼痛管理学
- 公衆衛生学総論
- 博物館実習

### 専門教育

- 毒性学
- 獣医薬理学実習
- 動物感染症学C
- 獣医寄生虫病学
- 獣医寄生虫病学実習
- 魚病学・原虫病学
- 獣医病理学各論
- 獣医病理学実習
- 食品衛生学
- 畜産動物臨床学A
- 伴侶動物臨床学総論
- 臨床病理学
- 伴侶動物内科学各論A
- 手術学総論
- 伴侶動物外科学各論A
- 画像診断学
- 伴侶動物臨床学実習A

## 4年次

### 専門基礎教育

- 野生動物学

### 専門教育

- 人獣共通感染症学
- 獣医疫学
- 獣医衛生学
- ハードヘルス学
- 総合衛生学実習I (獣医衛生)
- 総合衛生学実習II (公衆衛生)
- 総合衛生学実習III (食品衛生)
- 畜産物利用学実習
- 産業動物臨床学B
- 産業動物臨床学C
- 産業動物臨床学実習A
- 産業動物臨床学実習B
- 臨床繁殖学B
- 伴侶動物内科学各論B
- 伴侶動物内科学各論C
- 馬臨床医学
- 伴侶動物外科学各論B
- 獣医臨床腫瘍学
- 獣医臨床検査学実習
- 伴侶動物臨床学実習B
- 獣医臨床基礎実習

### 専修教育

- 獣医畜産法規
- 研究発表
- 学外実習A (伴侶動物)
- 学外実習B (生産動物)
- 学外実習C (展示・野生動物)
- 学外実習D (食品衛生)
- 生体機能学演習I
- 生体機能学演習II
- 感染病理学演習I
- 感染病理学演習II
- 予防獣医学演習I
- 予防獣医学演習II
- 生産動物医療学演習I
- 生産動物医療学演習II
- 伴侶動物医療学演習I
- 伴侶動物医療学演習II

### 畜産関連科目

- 畜産物利用学

## 5年次

### 専門教育

- 食肉衛生検査学実習(学外)
- 総合病理診断学実習
- 食鳥検査学実習
- 参加型伴侶動物臨床実習A(内科)
- 参加型伴侶動物臨床実習B(外科)
- 参加型伴侶動物臨床実習C(麻酔・画像診断)
- 参加型伴侶動物臨床実習D(検査・馬診療)
- 参加型伴侶動物臨床実習E(学外臨床実習・Shelter)
- 参加型産業動物臨床実習(学内・学外)

### 専修教育

- 研究発表
- 学外実習A(伴侶動物)
- 学外実習B(生産動物)
- 学外実習C(展示・野生動物)
- 学外実習D(食品衛生)
- 生体機能学演習III
- 生体機能学演習IV
- 感染病理学演習III
- 感染病理学演習IV
- 予防獣医学演習III
- 予防獣医学演習IV
- 生産動物医療学演習III
- 生産動物医療学演習IV
- 伴侶動物医療学演習III
- 伴侶動物医療学演習IV

## 6年次

### 専修教育

- 統合獣医学
- 中獣医学
- 動物理学療法
- 研究発表
- 学外実習A(伴侶動物)
- 学外実習B(生産動物)
- 学外実習C(展示・野生動物)
- 学外実習D(食品衛生)
- 生体機能学アドバンスコース
- 感染病理学アドバンスコース
- 予防獣医学アドバンスコース
- 生産動物医療学アドバンスコース
- 伴侶動物医療学アドバンスコース

CHECK!

カリキュラム  
マップ

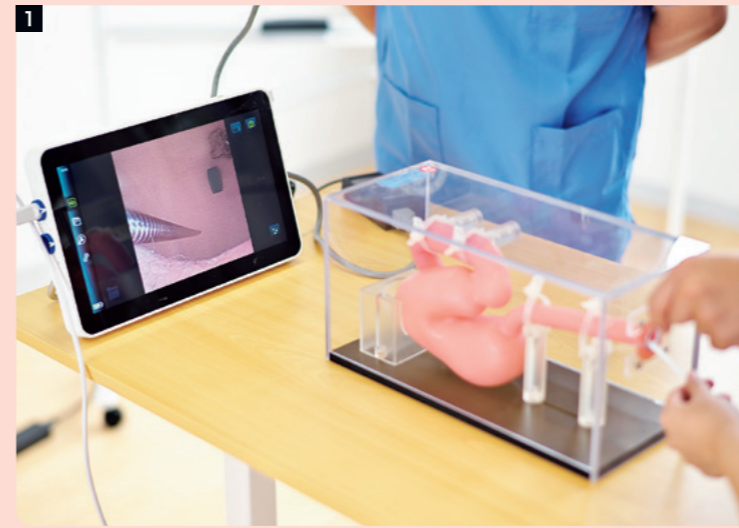


Pick up!

## ピックアップカリキュラム

## 産業動物臨床学実習B

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 犬の胃の“モデル”を使用した内視鏡の操作 2 鉗子の操作 3 動物用内視鏡の外観

## さまざまな動物の“モデル”を使用し、内視鏡検査の技術を学ぶ

本学では、臨床獣医師として必要な技術を学べるスキルスラボ棟を2022年に完成させました。スキルスラボ棟では、犬・猫・牛・馬・豚など動物の“モデル”を使用して5つの実習を行います。これらの実習は3年生から4年生で開講され、5年生で行う臨床実習で必要な技術を事前に学ぶ場となります。さまざまな動物の“モデル”を使用していることから、何度でも繰り返し練習をすることが可能です。写真は内視鏡検査の様子で、内視鏡の構造を学び、適切な操作方法を習得します。また、精巧に作られた犬の胃の“モデル”を用いて内視鏡の操作を実践したり、胃の中の異物を摘出するための器具である鉗子の操作を体験します。内視鏡検査は伴侶動物や産業動物など多くの動物の検査に用いられるため、臨床獣医師にとって重要な技術の一つを学ぶ実習です。



大田 寛 准教授  
伴侶動物内科学ユニット



1 削蹄する場所の確認 2 蹄底(足裏)の確認 3 削蹄練習中の様子

## 生産動物の健康に直結する獣医臨床技術を体験的に学ぶ

生産動物の獣医臨床で必要とされる牛の扱い方から保定法、検査方法、治療の準備、治療方法を理解し、実践形式で診療技術の基礎を身につけていきます。例えば、牛の蹄を整える「削蹄」は重要な獣医師の仕事の一つです。牛が健康に生きるためには、蹄の健全性を保つことが欠かせません。削蹄の実際の作業工程を、モデルを用いて体験しながら習得していきます。身体を動かして理解を深め、楽しく学べることが本実習の醍醐味です。人よりも体格の大きい生産動物の獣医臨床では、見慣れないさまざまな専門道具を使用するため、学生たちは興味を持って真剣に取り組んでいます。生産動物の臨床教育施設が充実している本学で実践的に学ぶことは、貴重な経験になると思います。臨床技術の基礎を習得することで、卒業後の就職先でも仕事をスムーズに始めることができます。



村上 高志 助教  
生産動物外科学ユニット

# ユニット紹介



分野	ユニット	教員	職名	テーマ
生体機能学分野	獣医解剖学	渡邊 敬文	教授	解剖学から解く生体・形態機能
		高橋 直紀	講師	
	獣医生理学	小林 良祐	助教	生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明
		翁長 武紀	教授	
	獣医生化学	安井 由美子	准教授	遺伝子レベルで動物の病気を理解し、新しい診断法や治療法を開発する
守屋 大樹		講師		
獣医薬理学	寺岡 宏樹	教授	薬と有害物質の生体作用に関する研究	
感染・病理学分野	獣医ウイルス学	北村 浩	教授	生活習慣病や高齢疾患の病態モデルの開発と解析
		藤本 政毅	助教	
	獣医細菌学	萩原 克郎	教授	動物と人に感染するウイルス感染症学から予防・免疫、腫瘍ウイルス療法
		大道寺 智	准教授	
	医動物学	秋庭 正人	教授	細菌感染症の発病機構の解明と診断・防除技術の開発に関する研究
山口 智之		助教		
獣医病理学	浅川 満彦	教授	寄生虫病と原虫病を含む感染症の診断と疫学に重点を置く獣医学、医学および保全生態学の学際 One Health を標的にした野生動物医学研究	
予防獣医学分野	獣医臨床病理学	石崎 隆弘	講師	動物の疾患に関する病理診断ならびに病理学的研究
		松田 一哉	教授	
	食品衛生学	佐野 悠人	講師	全ての動物種における病態評価をさまざまな手法に基づいて解明し治療に役立てる
		鈴木 一由	教授	
	人獣共通感染症学	岡本 実	准教授	動物由来薬剤耐性菌の環境とヒトへの伝播機構の解明とその対策
平田 晴之		准教授		
獣医疫学	都築 直	准教授	細菌症人獣共通感染症および節足動物媒介性ウイルス感染症に関する研究	
	白井 優	教授		
獣医衛生学	福田 昭	講師	重要家畜・人獣共通感染症の効果的かつ受容可能な制圧方法の研究	
	村松 康和	教授		
ハードヘルズ学	内田 玲麻	准教授	ウシの抵抗力(免疫力)を明らかにし、病気を予防する方法についての研究	
	藤口 豪紀	教授		
生産動物医療学分野	動物生殖学	権平 智	准教授	乳牛群の疾病発生予防とリスク要因の解析
		及川 伸	教授	
	生産動物内科学	福森 理加	准教授	牛群あるいは牛個体ごとの生産効率および受胎成績を向上させる取り組み
		大谷 新太郎	教授	
	生産動物外科学	中田 健	教授	生産動物医療の個体診療と群管理における生産性阻害因子に関する研究
杉浦 智親		助教		
生産動物病態学	田島 蒼士	教授	牛の獣医臨床における治療から疾病解析・予防法の構築	
	安藤 達哉	准教授		
伴侶動物医療学分野	伴侶動物内科学	石川 高明	教授	牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践
		佐藤 綾乃	講師	
	伴侶動物外科学	村上 高志	助教	伴侶動物の内科学疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		福田 茂夫	講師	
	獣医麻酔学	小田 千田 圭吾	助教	消化器疾患(鳥巣・酒井・山本)、運動器・循環器・神経疾患(井坂・濱本・南)の診断・治療に関する研究
大田 寛		准教授		
画像診断学	山崎 裕毅	准教授	馬、犬、猫、兎の麻酔・疼痛管理および犬猫の集中治療に関する研究	
	田村 昌大	講師		
画像診断学	出口 辰弥	講師	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)	
	赤羽根 僚太	講師		
画像診断学	鳥巣 至道	教授	馬、犬、猫、兎の麻酔・疼痛管理および犬猫の集中治療に関する研究	
	井坂 光宏	教授		
画像診断学	濱本 裕仁	講師	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)	
	南 規利	講師		
画像診断学	酒井 俊和	助教	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)	
	山本 集士	助教		
画像診断学	山下 和人	教授	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)	
	伊丹 貴晴	准教授		
画像診断学	加藤 桂子	助教	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)	
	華園 究	准教授		
画像診断学	三好 健二郎	講師	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)	

**Pick up 01 獣医生理学ユニット**  
 生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明



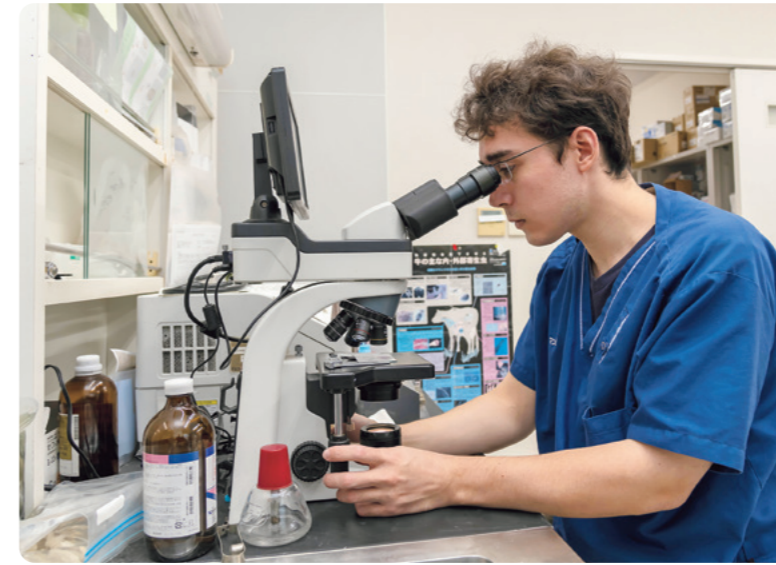
**Pick up 02 生産動物病態学ユニット**  
 牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践



# OB・OG インタビュー

※勤務先は2023年4月時点

就職実績 > P.88



オホーツク農業共済組合  
湧別家畜診療所

## 獣医師としてのチャンスをも さまざまな角度から提供してくれる

マンビ モンゴメリ さん  
 獣医学類 2020年3月卒業  
 北海道/北海道札幌南高等学校 出身

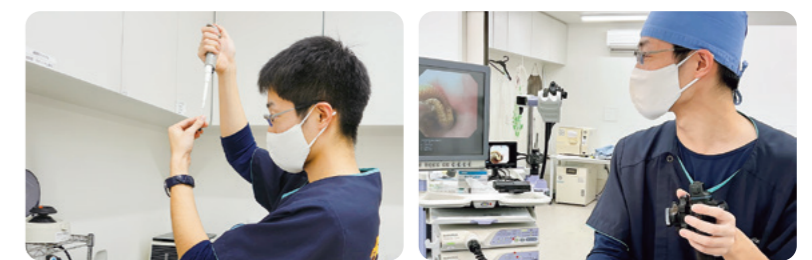
学生時代、十勝の酪農家さんのもとでの実習期間中、牛のお産に立ち会う機会がありました。とても緊迫した状況でしたが、無事に生まれてきた子牛、愛おしそうに舐める親牛、全身ぐちゃぐちゃになりながら酪農家さんと一緒にやりきったあの光景は忘れられません。私は現在、農業共済組合(NOSAI)で乳牛を主に、肉用牛までの一般診療や繁殖検診を行っています。自分の治療で瀕死の子牛が元気を取り戻したときや伝染病を拡散前に発見できたときに、やりがいを感じます。私は幼少期から獣医師になりたいと思っていましたが、獣医師の職域は多岐にわたり、本学ではその多くに触れる機会があります。自分がどの分野で活躍していくかを最初から決めつけず、大学が提供するチャンスを広く体験してみると、自分の道が見えてくると思います。

福岡夜間救急動物病院

## 多くの動物の命を救う 獣医学の知識を幅広く学べる場

藤 将大 さん  
 獣医学類 2021年3月卒業  
 福岡県/西南学院高等学校 出身

高校時代、将来は臨床獣医師になりたいと漠然と思いつつも、その対象を決めてはなかった中で、幅広く学べる酪農学園大学を選びました。私が所属していた「獣医病理学ユニット」では、病理解剖や組織診断を通じて、診断・治療に必要な基礎獣医学的な考え方など、現職で生きる多くの学びを得ました。現在は犬と猫の臨床獣医師として、地元福岡市の福岡夜間救急動物病院で働いています。初めて犬の帝王切開を執刀した時、母体から取り出した無呼吸状態の胎児の背中を必死に擦りました。しばらくして鳴き始め、新しい命が誕生した瞬間に立ち会えたのはとても感動しました。救急疾患では飼い主様に処置の方向性を決断していただくこともあるため、現在の状態や治療の必要性を素早く分かりやすく正確に説明することを心掛けています。



獣医学群

# 獣医保健看護学類

School of Veterinary Medicine/ Department of Veterinary Science

取得可能資格

- 家畜(牛)人工授精師  
※講習会受講・最終試験合格の場合

受験資格

- 愛玩動物看護師国家試験
- ペット栄養管理士

学類でサポートする資格

- 食品衛生責任者
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
- 学芸員

目指す職業

- 小動物病院勤務 愛玩動物看護師
- 産業動物 動物看護師
- 動物医薬品関連企業
- ペットフード関連企業
- ペット保険企業
- 地方公務員/国家公務員
- 動物園・水族館

動物たちの  
幸せな生き方の答えを探す



学びのポイント

**Point 1** 高度化する獣医療を支える  
愛玩動物看護師を目指す

愛玩動物看護師の仕事は、動物病院での問診、検査、処置、手術、術後管理、入院管理、予防と多岐にわたりますが、獣医師の指示を正確に理解し実行することで動物たちの命を守ります。

**Point 2** 総勢50名を超える教員が指導!  
動物看護のスペシャリストを育成

本学類の教員を中心に獣医学類も含め総勢50名を超える教員が指導します。1・2年次は専門基礎教育を受け、2~4年次で動物看護に関する専門知識と技術を身につけます。獣医師、飼い主様、動物との信頼関係をしっかりと築き、チーム医療に貢献する動物看護スペシャリストの育成を目指しています。

**Point 3** 生産動物の  
獣医療現場でも活躍する  
生産動物看護師も育成・輩出

生産動物看護師へのニーズは高く、希望者は学内やNOSAIの実習に参加することにより、実際の生産動物の医療について学ぶことができます。また、大学で取得することができる家畜(牛)人工授精師の資格を持つことで貢献できる分野が広がります。

**Point 4** 本学類で飼育する犬とともに、  
実践的な学びを行う

本学類では動物看護に関する全ての講義・実習に役立つよう、犬種・年齢が異なるさまざまな犬たちを飼っています。毎日の世話は学生が交代で行い、犬の生態の理解を深め、健康管理や病気の早期発見ができる知識が自然と身につきます。



# 学びの流れ／カリキュラム

☆1 外国人留学生のみ  
※この内容は2023年4月1日現在のものです。今後変更もあります。

## 1年次

### 基礎教育

- 建学原論
- キリスト教学
- 健士健民・獣医学入門実習
- 獣医療概論
- 社会学
- 心理学
- 生物学
- 化学
- 運動の科学
- 体育実技 I
- 体育実技 II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語 I
- 英語 II
- 日本語 I ☆1
- 日本語 II ☆1

### 専門基礎教育

- 獣医組織学 A
- 獣医生化学
- 獣医生理学総論
- 感染と免疫
- 動物倫理・動物福祉学
- 動物ハンドリング実習
- 全学共通科目 A
- 全学共通科目 B

### 専門教育

- 動物看護学概論
- 伴侶動物学 A
- 伴侶動物学 B

## 2年次

### 基礎教育

- 統計学 I
- 統計学 II
- Veterinary Topic English (Standard)
- Veterinary Topic English (Advanced)
- English for Veterinary Skills

### 専門基礎教育

- 獣医薬理学 A
- 獣医寄生虫学
- 獣医病理学総論
- 実験動物学
- 動物栄養管理学

### 専門教育

- 家畜解剖学(農食環境学群共通)
- 畜産学総論
- 動物内科看護学
- 動物外科看護学
- 動物臨床看護学総論
- 動物臨床検査学
- 簿記・会計学概論
- 動物形態機能学実習
- 動物看護基礎実習 I
- 動物看護基礎実習 II

### 専修教育

- グルーミング理論
- グルーミング実習

### 畜産関連科目

- 学外農場実習

## 3年次

### 専門基礎教育

- 動物行動学
- 臨床薬理学
- 野生動物学
- 獣麻酔疼痛管理学
- 公衆衛生学総論
- 臨床繁殖学 A
- 博物館実習

### 専門教育

- 動物臨床看護学各論 A
- 動物臨床看護学各論 B
- 動物臨床看護学各論 C
- 伴侶動物内科看護学実習
- Shelter Medicine
- 伴侶動物外科看護学実習
- 伴侶動物麻酔看護学実習
- 動物臨床検査学実習 I
- 動物臨床検査学実習 II
- 動物看護総合実習 I (酪小獣)

### 専修教育

- 中獣医学
- 動物理学療法学
- 動物行動学実習
- 獣医保健看護学演習
- 基礎動物看護学演習 I
- 基礎動物看護学演習 II
- 応用動物看護学演習 I
- 応用動物看護学演習 II
- 臨床動物看護学演習 I
- 臨床動物看護学演習 II

## 4年次

### 専門教育

- 動物人間関係学
- 動物看護総合実習 II
- 学内動物病院実習

### 専修教育

- 動物環境衛生学
- 獣医畜産法規
- 伴侶動物飼養管理学
- 生産動物飼養管理学
- 統合動物看護学
- 基礎動物看護学演習 III
- 基礎動物看護学アドバンスプログラム
- 応用動物看護学演習 III
- 応用動物看護学アドバンスプログラム
- 臨床動物看護学演習 III
- 臨床動物看護学アドバンスプログラム

### 畜産関連科目

- 家畜育種学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜育種・繁殖学実験

CHECK!

カリキュラム  
マップ

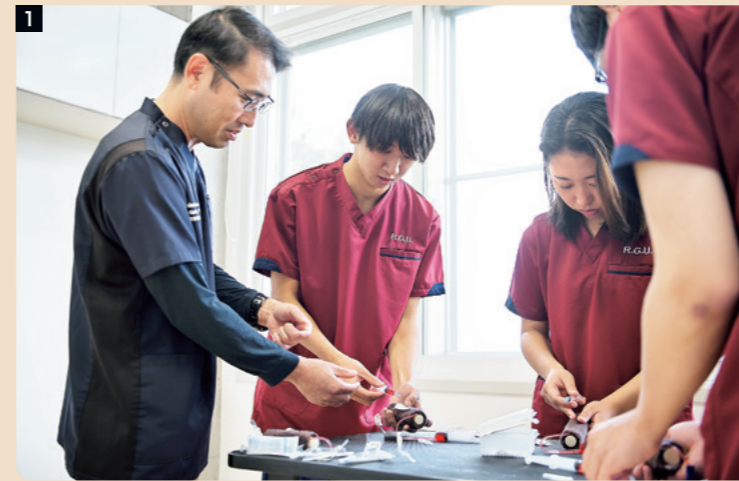


Pick up!

## ピックアップカリキュラム 1

## 動物看護基礎実習 I・II

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 獣医教員の指導のもと、自主的に技術を習得  
2 犬の前肢に近い採血モデルを使って練習  
3 模型の動物病院受付カウンターでの実技

### 飼い主様とのコミュニケーションから 検査技術までをスキルスラボで学ぶ

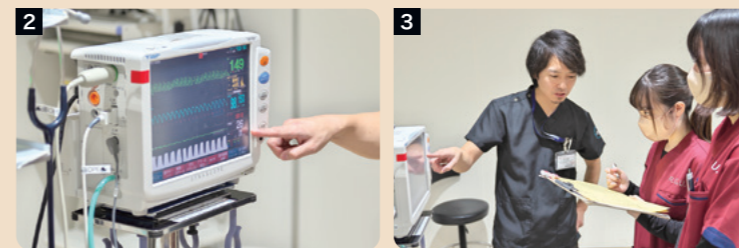
動物看護師に求められるスキルは多様です。受付から問診、処置、検査、最終的な会計まで行う場合もあります。そのような必要とされるスキルについて、スキルスラボで模擬実習を行います。動物看護基礎実習 I では、コミュニケーションに重点を置き、正しい接遇方法を用いて飼い主や患者とコミュニケーションをとり、クライアントが診てほしい症状や気になっている点について適切に引き出していきます。基礎実習 II では、各種検査、痛みの管理、採血やカテーテルの技術を学ぶとともに、看護計画を立て入院管理などを行います。ここで学んだスキルは、病院実習で実践的な技術の習得へと繋がっていきます。



郡山 尚紀 教授  
動物と人の関係学ユニット

## ピックアップカリキュラム 2

## CR対応実習



1 気管挿管の補助 2 麻酔モニターの波形と数値 3 異常値のチェックと対応

### 最新の麻酔管理技術を学び、さまざまな 臨床状況に対応できる能力を習得する

全身麻酔中の動物のバイタル(心拍数・呼吸数など)をモニタリングし、安全・安心な麻酔管理のトレーニングを積む実習です。動物の麻酔は手術室だけでなく附属動物医療センター内の至るところで行われますので、多くの動物と触れ合い、実際に麻酔管理を経験することができます。最新の麻酔管理技術を学び、安全かつ動物個々に合わせたアプローチでさまざまな臨床状況に対応できる能力を習得します。教員や獣医師との協力を通じて、円滑で効果的なチームワークを築くためのコミュニケーションスキルも身につけます。予測不可能な状況に冷静に対応し適切な判断を行う能力を磨き、手術後の症例の栄養管理や疼痛管理といった入院管理も学びます。社会において動物たちの健康と福祉に貢献するプロフェッショナルとしての道を切り拓く実習です。



伊丹 貴晴 教授  
獣医麻酔学ユニット(獣医学類)

※CR対応実習は、伴侶動物内科看護学実習、Shelter Medicine、伴侶動物外科看護学実習、伴侶動物麻酔看護学実習を行う授業であり、本実習は伴侶動物麻酔看護学実習です。

# ユニット紹介



ユニット	教員	職名	テーマ
動物医療学	椿下 早絵	准教授	犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み
	八百坂 紀子	講師	中獣医学(東洋医学)やデンタルケアについての研究
	村上 義樹	助教	臨床現場で動物看護師に必要な考え方や知識・技術の習得を目指す
動物生命科学	林 英明	教授	動物福祉の向上を目指した動物の客観的評価と現場への応用
	宮庄 拓	准教授	さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について
動物と人の関係学	川添 敏弘	教授	「殺処分ゼロ」など動物愛護に伴う分野を科学的な視点で研究
	郡山 尚紀	教授	人と動物とのより良い関係を目指す研究:身近な伴侶動物から野生動物まで
	高橋 優子	教授	獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う
	能田 淳	教授	地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康:ワンヘルスに向けた環境衛生学

動画で詳しくCHECK!

## Pickup 01 動物と人の関係学ユニット

「殺処分ゼロ」など動物愛護に伴う分野を科学的な視点で研究/人と動物とのより良い関係を目指す研究:身近な伴侶動物から野生動物まで/獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う/地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康:ワンヘルスに向けた環境衛生学



## Pickup 02 動物医療学ユニット

犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み/中獣医学(東洋医学)やデンタルケアについての研究



## Pickup 03 動物生命科学ユニット

動物福祉の向上を目指した動物の客観的評価と現場への応用/さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について



## NEWS

### 獣医保健看護学類が主体となって開催する大学のイベント 動物愛護フェスティバルinえべつ

毎年9月は、全国的に動物愛護週間に合わせて、さまざまなイベントが開かれます。酪農学園大学のキャンパスにおいても、獣医師会や行政と協力し北海道で最大の「動物愛護フェスティバルinえべつ」を開催します。動物愛護に関わるイベントやチャリティー販売などはもちろんのこと、譲渡会や犬の運動会、犬のフリスビーなど、人も犬も楽しめる催しになっています。

このフェスティバルは、獣医保健看護学類が、会場の設営からテントでの犬のおやつ販売、犬の健康診断やしつけ相談、さらにはステージイベントなど多くの部分を担っています。江別市や札幌市を中心に最大で5000人余りのたくさんの人と犬を中心とした多くの動物が集まる楽しいイベントです。また、酪農学園大学ならではの、牛との触れ合いや乗馬体験もあり、動物との素敵な関係を見て、触れて、学ぶことができます。このような行事を獣医保健看護学類の学生たちは経験することで、知識や技術を外へアピールするとともに、学びにつなげていきます。



# OB・OG インタビュー

※勤務先は2023年4月時点

就職実績 > P.88

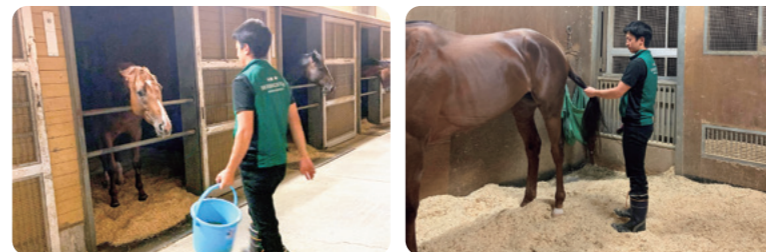


JRA栗東トレーニングセンター  
橋口威倉(調教助手)

## 動物への対応力を鍛え 夢であった競走馬の世界へ

幣旗 勇太郎さん  
獣医保健看護学類 2017年3月卒業  
北海道/北海道静内高等学校 出身

私の実家が競走馬の牧場を営んでおり、また小学生から高校生まで馬術を習っていたこともあり、自然と将来は馬に関する仕事に携わりたいと考えていました。大学卒業後は千葉県の競走馬の牧場に就職。その後、調教助手の試験に合格し、現在はJRAの調教拠点である栗東トレーニングセンターで、調教助手として競走馬の馬体チェックなどに毎日励んでいます。特に競走馬は些細なケガや体調不良が大きなケガや病気に繋がるため、いち早く気付くことが重要です。馬の体調管理の基本は在学中に学びました。学類犬を世話する講義があり、実習はもちろん、日々の体調管理や体調のトラブルに対して試行錯誤しながら解決するなど、学類犬と共に成長した経験は、現在の馬の体調管理や問題解決に対する引き出しの多さに繋がっていると思います。



## 札幌夜間動物病院

## 質の高い動物看護の学びが 実際の獣医療現場に活かしている

濱中 なぎささん  
獣医保健看護学類 2017年3月卒業  
山口県/山口県立岩国高等学校 出身

私は札幌夜間動物病院で動物看護師として勤務しています。主に診療中の保定や投薬準備、血液検査や糞尿検査といった業務を行っています。また、受付の入電で症状を聞き出し、重症度を判断することも重要な仕事です。速やかな処置のために、飼い主様の不安を取り除きながら、迅速かつ正確に情報を聞き出せるよう心掛けています。動物たちが治療後に元気になった姿を見たときや、飼い主様から感謝されたときには、この仕事を選んで良かったと感じます。酪農学園大学では、伴侶動物だけではなく、牛や馬など幅広い獣医療が学べることが魅力です。また、獣医学類と同じ学群のため、動物看護や獣医学の基礎も高いレベルで履修できます。実習での麻酔や心肺蘇生の経験は、実際の獣医療現場でも生かされています。



# 国際交流

## 人と研究の国際交流を積極的に推進

海外の大学・研究機関との学術交流の窓口として学術交流協定の締結や、学生交流などを推進しています。また、学生の多様なニーズに応えるため海外研修・留学プログラムの充実にも努めており、語学研修、ファームステイ、動物・環境保護などのプログラムを企画・紹介しています。



## 学術交流協定

本学は、海外の大学などとの学術交流協定を23カ国43機関と締結しており、学術資料の交換、教員や学生の派遣・受入、共同研究、セミナーなどの開催で交流を行っています。

### 学術交流協定機関

## 23カ国 43機関

- カナダ** アルバータ大学/オールズカレッジ/サスカチュワン大学
- アメリカ** オハイオ州立大学(獣医学部、食品・農業・環境科学部)/コーネル大学/フィンドレー大学/パデュエ大学
- パラグアイ** アスンシオンカトリック大学
- ロシア** 極東農業大学
- 中国** 新疆農業大学/内蒙古農業大学/内蒙古民族大学/陝西省動物研究所
- 韓国** 国立韓京大学校
- 台湾** 国立嘉義大学/国立屏東科技大学/国立中興大学
- フィリピン** 東フィリピン大学
- マレーシア** サバ大学

- ベトナム** ハノイ公衆衛生大学/ベトナム国立農業大学/国立獣医学研究所
- タイ** マヒドン大学(熱帯医学部、獣医学部)/チュラーロンコーン大学/カセサート大学/保健省医科学局/コンケン大学/タマサート大学
- ミャンマー** 獣医科学大学
- インド** サムヒギンボトム農業科学技術大学
- モンゴル** モンゴル生命科学大学/フスタイ国立公園/モンゴル国立大学
- カザフスタン** アルファラビカザフ国立大学/国立バイオテクノロジーセンター
- ポーランド** ワルシャワ生命科学大学
- ドイツ** ハノーバー獣医科大学
- デンマーク** 国立畜産研究所
- イギリス** グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所
- ケニア** 国際家畜研究所
- コートジボワール** スイス科学研究所
- ウガンダ** マケレレ大学
- イタリア** バドヴァ大学

3カ月 タイ・カセサート大学

## 獣医学部単位互換プログラム

### 受動的な大学生活ではなく自ら進んで学習する意欲が得られた

藤森 摂さん  
獣医学類 6年 青森県弘前市/青森県立弘前中央高等学校 出身

日本では得られない経験や獣医療の症例を学べると思い、3カ月間留学をしました。タイの大学では十数人のグループに分かれ農場訪問の実習を行い、学生が主体となりながらサンプリングやオーナーへの質疑などを実施していました。私には先生が常に付き添い説明をしてくれましたが、その際に現地の学生は積極性と主体性があり、学習意欲が非常に高いと感じました。大学の環境も、学生自らが率先して意見を発表する機会が多く設けられていることに気がきました。大学という場所は受け身で過ごしても進級や卒業ができます。しかし本来は自ら能動的に学びを求めるところであると、留学を通して考えるようになったことはプラスの部分だと思います。帰国後は周りの雰囲気流されるばかりではなく、自らの意思を強く持って日々の大学生活を送っています。



1カ月 カナダ・アルバータ大学

## 夏季研修プログラム

### オンライン留学をきっかけにカナダの地へ留学を決意

林 優奈さん  
環境共生学類 4年 京都府/大谷高等学校 出身

私は2021年に、酪農学園大学が主催する「オンライン留学プログラム」に参加しました。そこでカナダのアルバータ大学の先生や他大学の学生とともに、カナダの文化や環境、語学などを学びました。この研修で留学に興味を湧き、1カ月間カナダへ語学留学をしました。期間中は15人のクラスに分けられ、全て英語を使った講義を受けました。グループワークを主体にカナダの文化や気候、歴史などを学び、日々新たな発見がありました。授業では分からなければいつでも質問して欲しい、というスタンスだったこともあり、積極的に他人とコミュニケーションがとれるようになったと感じます。少しでも留学に興味がある人は、ぜひ思い切って挑戦してみてくださいと思います。



# 酪農学園大学 大学院

## 農・食・環境・生命の最先端研究に取り組む

酪農学園大学は、農・食・環境・生命の領域において、それぞれが互いに連携しながら地球と生命を科学する大学です。その研究領域は、産業としての農だけではなく、生命を健やかに育むための食や健康、地球環境に至るまでの社会を構成するあらゆる分野におよびます。獣医学研究科(2専攻)と酪農学研究科(4専攻)で構成される本学大学院は、こうした強みを生かし、建学の精神である「健土健民」という理念の具体的実現をテーマに、高度な専門性を有し、それを職業で表現していく人材、技術革新など将来を切り拓く研究者の育成を目指しています。

農・食・環境に関わる研究を現場から学び、現場に返す

## 酪農学研究科

### 食生産利用科学専攻

博士課程 3年

- 植物資源生産学
- 動物資源生産学
- 食資源開発利用学
- 応用食品化学※
- 微生物利用学※
- 農業経営政策学
- 食料経済学

### 食品栄養科学専攻

博士課程 3年 修士課程 2年

- 加工特性**
  - 食品加工特性学
  - 食品物性学
- 健康栄養**
  - 健康栄養学
  - 臨床栄養学
- 栄養機能**
  - 食品栄養機能化学
  - 食品機能生化学
- 食環境管理**
  - 食品微生物管理学
  - 食品環境汚染学※

### 酪農学専攻

修士課程 2年

- 作物生産科学**
  - 土壌植物栄養学
  - 病理・害虫学
  - 飼料作物学
  - 植物遺伝学
  - 酪農機械学
- 酪農情報学**
  - 酪農経営情報学
  - 農業経営学
  - 酪農政策学
  - 農業市場学

### 家畜生産科学

- 家畜繁殖学
- 遺伝・育種学
- 家畜栄養学
- 家畜管理学
- 酪農生物化学

### 環境共生学

- 野生動物学
- 国際環境情報学
- 地球環境保全学

### フードシステム専攻

修士課程 2年

- 食資源利用システム**
  - 農・畜産食品学
- 食料政策システム**
  - 食料政策論
  - 食品流通論
- 経営管理システム**
  - 経営管理論
  - 食品情報システム論

臨床と基礎の両面から獣医学の発展を推進する

## 獣医学研究科

### 獣医学専攻

博士課程 4年

- 基礎獣医学(生体機能学)**
  - 獣医解剖学
  - 獣医生理学
  - 獣医生化学
  - 獣医薬理学
  - 獣医放射線生物学※
  - 疾患モデル学
- 臨床獣医学(伴侶動物医療学)**
  - 伴侶動物内科学
  - 伴侶動物外科学
  - 獣医臨床腫瘍学
  - 画像診断学
  - 獣医麻酔学
  - 獣医運動器・循環器病学
  - 獣医神経病学
  - 馬臨床学

### 基礎獣医学(感染・病理学)

- 獣医病理学
- 医動物学
- 獣医ウイルス学
- 獣医細菌学
- 獣医臨床病理学

### 臨床獣医学(生産動物医療学)

- 生産動物内科学
- 生産動物外科学

### 応用獣医学(衛生環境学)

- 獣医衛生学
- 獣医疫学
- 食品衛生学
- 環境衛生学
- 人と動物の関係学
- 人獣共通感染症学
- ハードヘルス学
- 獣医倫理学

### 獣医保健看護学専攻

修士課程 2年

#### 基礎・応用獣医保健看護学

- 獣医解剖学
- 獣医生理学
- 獣医生化学
- 動物薬理学
- 獣医病理学
- 医動物学
- 獣医微生物学
- 公衆衛生学
- 環境衛生学

#### 臨床獣医保健看護学

- 獣医衛生学
- 生産獣医療学
- 動物疾病治療学
- 獣医麻酔学
- 画像診断学
- 動物理学療法学※
- 動物行動学

※指導教員不在(2024年4月1日現在)



# 地域・企業との連携

酪農学園大学では多くの自治体や企業と協定を締結し、教育・研究活動に役立てています。また、自治体や企業の依頼をうけ、本学の知的資源を活用した対応なども行います。



## 連携企業 41 機関

### 協定先一覧

浜中町/栗山町/西興部村/公益財団法人 道央農業振興公社/江別市/市内3大学/江別商工会議所/江別市/道総研 食品加工研究センター/北海道大学/洞爺湖町/公益財団法人 北海道農業公社/北海道ホルスタイン農業協同組合/公益社団法人 北海道酪農検定検査協会/一般社団法人 ジェネティクス北海道/GIS 関連団体3者との包括協定/公益財団法人 札幌市公園緑化協会/滝上町/北海道情報大学/標茶町/標茶町農業協同組合/北海道標茶高等学校/公益財団法人 知床財団/占冠村/旭川市(旭山動物園)

/遠軽町/湧別町/佐呂間町/オホーツク農業共済組合/えんゆう農業協同組合/湧別町農業協同組合/佐呂間町農業協同組合/株式会社北海道銀行/札幌グランドホテル/北海道\*/中標津町/中標津町教育委員会/中標津町農業協同組合/計根別農業協同組合/北海道中標津農業高等学校/北海道科学大学/札幌市/地方独立行政法人 北海道立総合研究機構/一般財団法人 北海道農業協同組合学校/北海道ワイン株式会社/生活協同組合コープさっぽろ/北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合/梨湖フーズ株式会社/学校法人高橋学園札幌どうぶつ専門学校/浜頓別町/北海道農業協同組合中央会/北海道コカ・コーラボトリング株式会社\*/株式会社サングリント陽園/島根県/北海道農政事務所/学校法人八紘学園 北海道農業専門学校/株式会社菊田食品/イオン北海道株式会社

※学校法人酪農学園との協定

## オホーツクでの参加型臨床実習

獣医学類ではオホーツク地域との協定に基づき、農業共済組合や診療所の獣医師の皆さんのご協力のもと、生産動物医療に関する実習を行っています。机上の勉強だけではなく、最前線の現場における実践をもとに身につけた技術は、卒業後皆さんの力となります。



手術切開部レクチャー

手術腹腔内触診

## 産学連携ドローン教習コース

本学では「株式会社サングリント陽園(札幌市白石区)」との協定に基づき2022年から「産学連携ドローン教習コース」を創設し、教習を実施しています。

同コースでは、ドローンの基礎知識の座学から各種飛行訓練まで行っており、今後は実地での訓練やサポートを行い、即戦力となるドローン操縦者の育成を目指しております。本学学生をはじめとして、農林業など第一次産業関係者、自治体職員、環境保全団体、非営利組織の関係者を主な対象者としています。



## SDGsに関わる取り組み

本学ではSDGs(持続可能な開発目標)への貢献に向け、積極的に取り組みを推進しています。2021年度からは包括連携協定を締結した北海道コカ・コーラボトリング株式会社(東証スタンダード市場)と連携し、BtoBリサイクル(PETボトルの完全リサイクル)、エコフィード(食品加工副産物を使った家畜飼料)の研究、株式会社パイロットコーポレーションが実施する使用済ペリリサイクルプログラムへの参加、災害時支援に積極的に取り組んでいます。今後さらにさまざまな取り組みを行っていきますので、私たちと一緒に持続可能な未来を作りましょう!



## 酪農 PLUS+

本学では「酪農 PLUS+」というサイトも運営しています。酪農家の方々にとって有益な情報はじめ、在学生を紹介する「未来の酪農家」や、酪農・乳製品に関する疑問に本学教員がお答えする質問コーナーなど、学生の皆さんにとってもプラスになる情報を配信していますので、ぜひ活用してください!「酪農 PLUS+」マスコットキャラクターのサンディーも皆さんと会えることを楽しみに待っています! SNS へのいいね!もよろしくお願いします!



酪農 PLUS+のトップページ



酪農 PLUS+



Instagram

# キャリアサポート

## 入学直後から細やかにサポート 希望の進路へ向けて、多角的な支援体制を構築

酪農学園大学では、学生一人ひとりが的確な進路や職業の選択を成し遂げられるよう、学生の希望に沿ったキャリア支援を行っています。インターンシップの紹介や就職活動のノウハウを学ぶ「就活講座」をはじめ、公務員試験受験対策、面接対策、ビジネスマナーなど各種講座を開催。農食環境学群では2~3年生を対象にキャリア授業も開講しています。また、常駐するキャリアアドバイザーが、個別の進路相談のほか、書類添削や面接練習まで多角的にサポートしています。



1・2年次	3年次(獣医学類5年次)	4年次(獣医学類6年次)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就職ガイダンス</li> <li>● 公務員試験受験対策講座</li> <li>● なんでも就活相談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就職ガイダンス</li> <li>● 公務員受験対策講座</li> <li>● SPI対策講座</li> <li>● 就活キックオフセミナー</li> <li>● 履歴書対策講座</li> <li>● 合同業界セミナー</li> <li>● なんでも就活相談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就職ガイダンス</li> <li>● 面接対応力向上セミナー</li> <li>● 集団面接・グループディスカッション対策講座</li> <li>● なんでも就活相談会</li> </ul>
キャリア授業(農食環境学群2年次) ● キャリアベーシック	キャリア授業(農食環境学群3年次) ● キャリアデザインI [必修] ● キャリアデザインII [選択]	

3年次(獣医学類 5年次) 開催スケジュール ※2023年度実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公務員ガイダンス		アセスメントテストの受験とフォローアップ講座			就活キックオフセミナー(学類毎に実施)		就活講座				就活解禁前 直前講座
							農林水産省主催 技術職員業務説明会(獣医、畜産系)				合同業界セミナー
単独企業説明会							単独企業説明会				
公務員対策コース						能力検査対策コース					

## 主なプログラム



### 公務員試験対策講座

対象 1~3年生(獣医3~5年生)

基礎能力試験(教養試験)の対策講座として週に2日間オンデマンドで開講します。公務員を目指す方に限らず、民間企業の選考で実施されるSPI試験や一般常識試験の対策コースもあります。



### 学内合同業界セミナー

対象 3年生(獣医5年生)

学内またはWEBにて2月頃開催。各業界の企業より採用ご担当者様にお越しいただき、業界のことはもちろん、事業内容や職種についてなどを知ることができます。



### 面接対策講座

対象 4年生(獣医6年生)

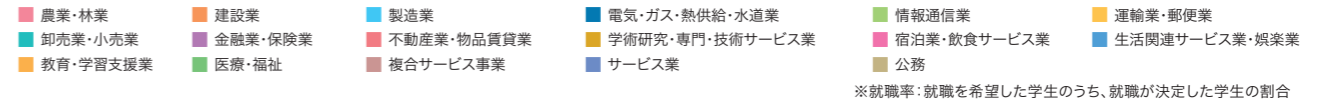
就職活動の本格的な準備の一つとして、集団面接やグループディスカッションなど、実践を意識した面接対策を行います。面接の流れ、面接官の関心事、準備の進め方について学びます。

2022年度卒業生

# 業種別就職状況・主な就職先

2023年5月現在

※1 自営者を含む ※2 就職先は自営者を除く



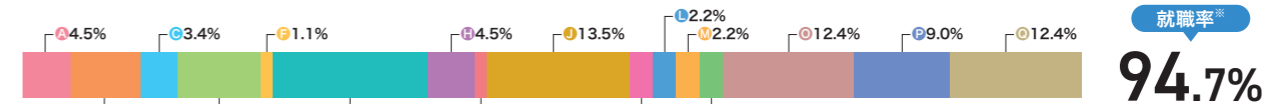
※就職率：就職を希望した学生のうち、就職が決定した学生の割合

## 循環農学類



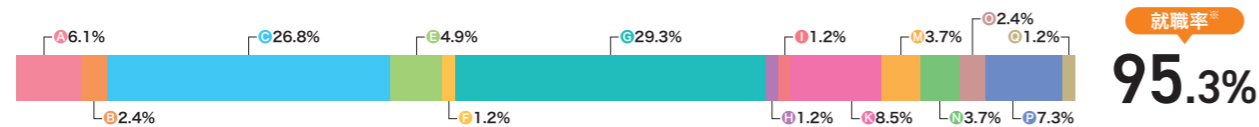
- A 農業・林業** (株)マルシメおめぎ、(同)まきの農園、(有)やえやまファーム、(有)NKファーム、(有)福屋牧場、(有)ファームクリエイト、(有)藤井牧場、(株)町村農場、(有)バイナランドデーリィ、(有)ランドハート、(有)トミーランド、(株)丸尾牧場、(株)高橋牧場、吉田牧場、(同)久保田牧場、佐藤牧場、(有)デーリィファーム若松、(有)阿部牧場、(有)安曇野牧場、(有)屈臣肉牛牧場、(株)トップファーム、ノーザンファーム、(有)谷口ファーム、(株)アーク、(一社)家畜改良事業団、(株)勢戸、(株)流山、西ノ森ファーム(株)、前津牧場、(有)福澤農場、(株)椎内AIセンター、(株)ティリーファーストゆうべつ、(株)カウネイルキーパー、(有)ニューブリーズ
- B 建設業** (株)熊谷組、(有)東興電機工業所
- C 製造業** マルハニチロ畜産(株)、よつ葉乳業(株)、(株)ロバパン、(株)おびなた、ホクレンくみあい飼料(株)、明治飼糧(株)、JA全農北日本くみあい飼料(株)、MFフィード(株)、アグリ技研(株)、(有)渡辺酒造店、日本全業工業(株)、ミヤリサン製菓(株)、住商アグリビジネス(株)、エムシー・ファティコム(株)、日本ヒューム(株)、八光グループ【(株)八光、(株)八光電機】、三相電機(株)
- D 電気・ガス・熱供給・水道業** (株)グリーンシステムコーポレーション
- E 情報通信業** (株)アシスト北海道、(株)システナ、(株)テクノウイング
- G 卸売業・小売業** (株)丹波屋、浮田産業(株)、(株)札幌山本養蜂園、(株)アイマト、(株)ホクリヨウ、阪神米穀(株)、(株)サングリーン太陽園、(株)コーンズ・エージー、ヤンマーアグリジャパン(株)、エム・エス・ケー農業機械(株)、日本ニューホランド(株)、(株)北海道クボタ、(株)宮田自動車商会、イオン北海道(株)、(株)ダイイチ、(株)ATグループ、(株)クオリア、北海道いすゞ自動車(株)、北海道スバル(株)、島村楽器(株)
- H 金融業・保険業** 北海道農業共済組合
- J 学術研究・専門・技術サービス業** 独立行政法人家畜改良センター、(公社)日本食肉格付協会、(公財)北海道農業公社、日本スターティング・システム(株)、(有)大浩商事、(株)トータルハードマネジメントサービス、(一社)ジェネティクス北海道、(株)テクノプロ・コンストラクション、たくまアニマルクリニック
- K 宿泊業・飲食サービス業** (株)アレフ(びっくりドンキー)、(株)コワイドMD、(株)ダイナックホールディングス
- L 生活関連サービス業・娯楽業** (株)乗馬クラブクレイン
- M 教育・学習支援業** 学校法人酪農学園、北海道大野農業高等学校、北海道社管高等学校、北海道教育委員会、北海道ニセコ高等学校、宮城県教育委員会、岐阜県教育委員会、福島県教育委員会、宮城県農業高等学校、東京都立農産高等学校、ヒューマンアカデミー(株)、(公財)さっぽろ青少年女性活動協会、(株)ドリームモーターズスクール
- N 医療・福祉** 野幌歯科クリニック、(株)食環境衛生研究所、(株)学研ココファン、社会福祉法人敬仁会、特定非営利活動法人子ども支援ホーム 学童保育じゅんぷ
- O 複合サービス事業** ホクレン、鹿追町農協、きたみらい農協、とうや湖農協、清里町農協、釧路農協連、きたそらち農協、十勝農協連、全国酪農協同組合連合会、ひまわり農協、中春別農協、長野ハヶ岳農協、上伊那農協、関東生乳販売農協連、紀の里農協、全国農業協同組合連合会福島県本部、東京スマイル農協
- P サービス業** WDB(株)エウレカ社、(株)アルプスアグリキャリア(旧(株)アグリ&ケア)、ALSOK北海道(株)
- Q 公務** 法務省・防衛省・自衛隊、北海道、山形県、福島県、兵庫県、岩手県、鹿児島県、島根県、新潟県、土別市

## 環境共生学類



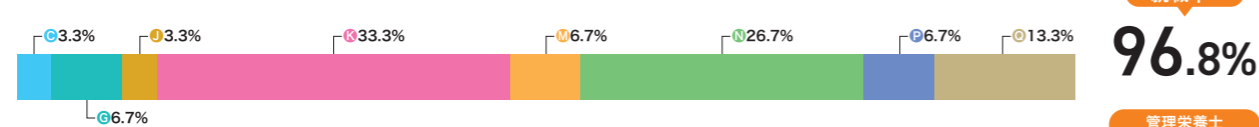
- A 農業・林業** (有)バイナランドデーリィ、ルツ羊蹄ファーム(株)、狼狽村酪農ヘルパー運営有限責任事業組合
- B 建設業** (株)櫻井千田、(株)ログスホーム、岸本産業(株)、妻神工業(株)、(株)清弘エンジニアリング
- C 製造業** (株)八天堂、橋製氷(株)、(株)テラダイ
- E 情報通信業** (株)ネクスト、(株)アイティ・コミュニケーションズ、ESRIジャパン(株)(エスリジャパン)、(株)スリー・イー、(株)テクノロジープレイン、(株)NDPマーケティング、六伍伍参六(株)
- F 運輸業・郵便業** 北海道通運(株)
- G 卸売業・小売業** (株)丹波屋、サッポロロウエシマコーヒー(株)、東日本フード(株)、(株)ホクリヨウ、(株)もっかいトラスト、(株)北海道クボタ、(株)ネペンテス、フラワーヒルズ(株)、(株)スウィーツ、(株)エムテジ、田中電子(株)、(有)ニワヤマ商事
- H 金融業・保険業** 札幌中央信用組合、北海道信用漁業協同組合連合会、(有)コスモ保険センター
- I 不動産業・物品賃貸業** (株)エムズ
- J 学術研究・専門・技術サービス業** ジュラテクノロジ(株)、(株)森林テクノクス、(株)パスコ、FRSコーポレーション(株)、(株)エル技術コンサルタント、(株)福田水文センター、(株)野生鳥獣対策連携センター、デザイン設計(株)、明治コンサルタント(株)、大地コンサルタント(株)、アルスマエヤ(株)、(株)北海道技術コンサルタント
- K 宿泊業・飲食サービス業** 北こぶし知床 ホテル&リゾート、(一財)休暇村協会
- L 生活関連サービス業・娯楽業** (有)アースサークル、(株)アワーズ
- M 教育・学習支援業** 北海道教育委員会、長崎玉成高等学校
- N 医療・福祉** 社会福祉法人富良野あさひ郷、特定非営利活動法人福祉環境地域センター
- O 複合サービス事業** ホクレン、南幌町農協、とうや湖農協、ようてい農協、東京谷農協、香川県農協、下川町森林組合、新おたる農協
- P サービス業** (株)北清、(株)夢真、日研トータルソーシング(株)、(株)APパートナーズ、Evand(株)、(株)シー・アイ・シー、(株)一才房コンサル
- Q 公務** 環境省・防衛省・自衛隊、北海道警察、東京都、函館市、帯広市、福島県警察、釧路町、白石市、標津町

## 食と健康学類(管理栄養士コースを除く)



- A 農業・林業** (同)たてお農園、ルツ羊蹄ファーム(株)、(有)ノースワン
- B 建設業** 北海道セキスイハイム(株)、(株)一条工務店
- C 製造業** 北海道糖業(株)、(株)マルハニチロ北日本、(株)ホクビー、(株)宝来屋本店、日本食研ホールディングス(株)、サンマルコ食品(株)、日本フードバック(株)、(株)ロバパン、(株)ケイシイシイ、(株)シャトレーゼ、桂新堂(株)、(株)北海道酪農公社、(株)角谷文治郎商店、新札幌乳業(株)、(株)ロイズコンフェクト、コープフーズ(株)、(株)エフピーエス、(株)日清製粉ウエルナ
- E 情報通信業** (株)ペイロール、(株)GENOVA、(株)Risus One、NowYouSee(株)
- F 運輸業・郵便業** SBSフレックネット(株)
- G 卸売業・小売業** (株)セコマ、サミット(株)、東ワラ商事(株)、(株)肉の山本、(株)ダイイチ、ユニー(株)、(株)コーンズ・エージー、生活協同組合コープさっぽろ、イオン北海道(株)、日本アクセス北海道(株)、北雄ラッキー(株)、(株)ストライプインターナショナル、国分北海道(株)、(株)ヨークベニマル、イオンリテール(株)、(株)マックスガイ、(株)ホッカン、大丸(株)
- H 金融業・保険業** 札幌中央信用組合
- I 不動産業・物品賃貸業** APAMAN(株)(旧アバマンショップホールディングス)
- K 宿泊業・飲食サービス業** (株)アレフ(びっくりドンキー)、北一食品(株)、(株)First Drop、(株)はなまる、(株)SKYcorporation、(株)レイズインターナショナル、くら寿司(株)
- M 教育・学習支援業** 北海道教育委員会
- N 医療・福祉** (株)化合物安全性研究所、医療法人社団明生会イムス札幌消化器中央総合病院、社会福祉法人はるにれの里
- O 複合サービス事業** サツラク農協、ホクレン
- P サービス業** (株)アルプスアグリキャリア(旧(株)アグリ&ケア)、(株)ワールドコーポレーション、(一社)北海道ハイヤー協会、(株)アヴァンティスタッフ、(株)岩井プラントサービス、綜合警備保障(株)
- Q 公務** 池田町

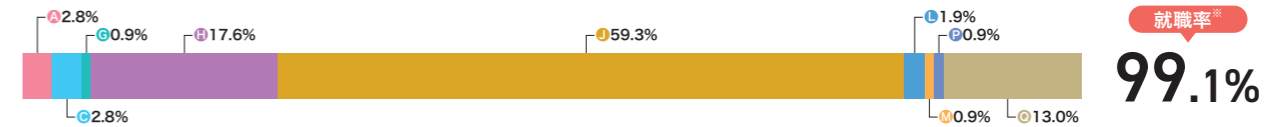
## 食と健康学類(管理栄養士コース)



- C 製造業** (株)久原本家食品
- G 卸売業・小売業** 生活協同組合コープさっぽろ
- J 学術研究・専門・技術サービス業** (一財)日本食品検査
- K 宿泊業・飲食サービス業** コンパスグループ・ジャパン(株)(旧 西洋フード・コンパスグループ)、(株)Les Deux、小林食堂、日清医療食品(株)、エムサービス(株)、(株)LEOC
- M 教育・学習支援業** 学校法人酪農学園、学校法人養和学園
- N 医療・福祉** 医療法人社団H・N・メディック、医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院、医療法人 慶心会 ラ・デュース中島、(株)ソクイ、(株)まなのもり、社会福祉法人旭川松の木会、社会福祉法人東苗穂福祉会、千歳春日保育園
- P サービス業** WDB(株)エウレカ社、(株)モード・プランニング・ジャパン
- Q 公務** 北海道警察、芦別市、遠軽町、富良野広域連合富良野学校給食センター

管理栄養士  
国家試験合格率\*  
**92.1%**  
\*過去5年(2018~2022)平均合格率  
\*全国平均61.6%

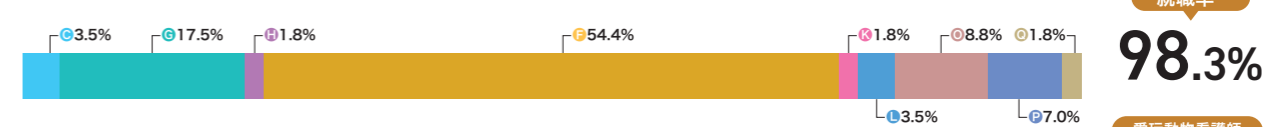
## 獣医学類



- A 農業・林業** ノーザンファーム、日本レイヤー(株)、(株)ノースベッツ
- C 製造業** (株)秋川牧園、(株)微生物化学研究所、共立製菓(株)
- G 卸売業・小売業** イオンペット(株)
- H 金融業・保険業** 北海道農業共済組合、兵庫県農業共済組合、広島県農業共済組合、山口県農業共済組合、長崎県農業共済組合、宮崎県農業共済組合、鹿児島県農業共済組合、沖縄県農業共済組合、ひがし統括センター(旧北海道ひがし農業共済組合)、新潟県農業共済組合
- J 学術研究・専門・技術サービス業** (株)ボソリサーチセンター、(有)ホクアイ・ベッツ北愛動物病院、小滝橋動物病院、(有)ラーク動物病院、えのもと動物病院、いなにわ動物クリニック、フジタ動物病院、田口動物病院、(有)ペリナリーサービス直井動物病院、ビジョン動物愛護病院、清和台動物病院、(株)コジマ(コジマ動物病院)、茶屋ヶ坂動物病院、(有)アニケアこざわ犬猫病院、グレイス動物医療センター、はとの里動物病院、シラナガ動物病院、やまと動物病院、リンクス動物病院、(株)テリアもりやま犬と猫の病院、させ犬猫の病院、(株)オーシャン動物病院、(株)日本動物高度医療センター、ふく動
- L 生活関連サービス業・娯楽業** 日本中央競馬会
- M 教育・学習支援業** 学校法人酪農学園
- Q 公務** 北海道、千葉県、兵庫県、鹿児島県、埼玉県、青森県、高知県、群馬県、滋賀県、長崎県、奈良県、旭川市、京都府

獣医師  
国家試験合格率\*  
**85.7%**  
\*過去5年(2018~2022)全国平均80.5%

## 獣医保健看護学類



- C 製造業** 日本全業工業(株)、共立製菓(株)
- G 卸売業・小売業** ジャベル(株)、ベッツファースト(株)、(株)チャーム、イオンペット(株)、(株)ジョイフルエーカー
- H 金融業・保険業** アニコム損害保険(株)
- J 学術研究・専門・技術サービス業** (株)ボソリサーチセンター、(有)ホクアイ・ベッツ北愛動物病院、(株)グリーンフォレスト緑の森どうぶつ病院、大阪動物医療センター、ソマリ犬猫病院、こにし動物クリニック、ミズノ動物クリニック、(有)札幌緑が丘動物病院、江別白樺通りアニマルクリニック、(有)磯動物病院、ウェスト動物病院、ほさか動物病院、山陽動物医療センター、盛岡動物医療センター、松園動物病院、ラバス動物病院、(株)日本動物高度医療センター、(株)JPR、酪農学園大学附属動物医療センター、北海道動物運動器
- L 生活関連サービス業・娯楽業** (株)加森観光本社、(公財)軽種馬育成調教センター
- O 複合サービス事業** 日本郵便(株)(日本郵政グループ)、大樹町農協、るもい農協、全国農業協同組合連合会茨城県本部
- P サービス業** (株)ハチオウ、(株)アスパーク、(株)クリア、(株)フローエンス
- Q 公務** 海上保安庁

愛玩動物看護師  
国家試験合格率\*  
**95.1%**  
\*既卒者含む  
\*第1回実績



四季折々の彩りに満ちたキャンパスで  
どんな仲間たちと出会えるか。  
ワクワクするキャンパスライフが  
あなたを待っています!

# Campus Life



# 施設紹介

学び・食・健康など学生生活の全てを  
支援する施設と職員がそろっています。

## Facilities



### 中央館

**A B** ロビー / お弁当を食べたり、友人とおしゃべりしたり、自習したりなど学生たちが自由に出入りできるフリースペースです。

**C D** 附属図書館 / 約32万7千冊の蔵書数で書籍だけではなく、雑誌や新聞、DVDや語学CDなどもそろっています。

■図書・雑誌フロア(3F~5F): 一般図書から論文まで充実。静かな環境で勉強がはかどります。

■マルチメディアフロア(6F): DVDや語学CDなど視聴覚資料が満載。AVブースで視聴もできます。

■オープンPCフロア(7F): 学生が自由に使えるパソコンが設置されています。

**E** 生協中央店 / おにぎりやお弁当、パンなど、軽くお昼をすませたい方はこちらへ。酪農学園大学ブランドの健土健民牛乳やバター、アイスも購入できます。



### 健民館

**F G** アリーナ / 開放感のあるアリーナには、吹き抜け部分にクライミングウォールを設置。ギャラリースペースもあり、観覧が可能です。

**H** 合宿部屋 / 合宿エリアは浴室や厨房・食堂を完備しています。

**I** アクティブスペース / 大きな多目的アクティブスペースのほか、課外活動部室や合宿スペースを完備。コモンスペースでミーティングも可能です。地下1Fには吹奏楽団専用部屋もあります。



### 酪農学園ホール(学園生協)

**J** ホール / 1Fのスペースは、食事でも、学生の憩いの場になっています。

**K** 生協サービス店・ルームガイド店 / 帰省や就職活動の時など飛行機、ホテルのチケットを手配してくれます。卒業旅行もここでチェック。物件探しもラクラクです。

**L M** 書籍店・生協購買店 / 大学オリジナルブランド製品が買えるのはここだけ! 参考書や文房具もここでそろえることができます。

**N** ATM / ゆうちょ銀行のATM。財布が空っぽになっていても、慌てなくて済みます。 ※北洋銀行は中央館1Fに設置しています。

### Check!

生協食堂/カフェテリア方式で、1日70品以上のメニューを用意。季節に応じていろいろなフェアメニューが登場するなど、通い続けても飽きがきません。



### D1号館

獣医保健看護学類実習室 / ドッグトレーニングや動物ハンドリング実習、獣医保健看護学類で飼っている学類犬の健康チェック、同学類のゼミ活動などで主に使用。また一般の方向けに行っている犬のしつけ教室や歯磨き教室にも使われています。



### 学生サービスセンター

**O** キャリアセンター、学生支援課、教務課、医務室などがあり、学生生活および就職の相談を受け、サポートします。

**P** 学生相談室 / カウンセラーが常駐して、学生一人ひとりがより良い学生生活を送れるようサポートします。勉強のこと、健康のこと、対人関係など、相談できます。



### 黒澤記念講堂

「健土健民」を提唱し、農民の育成を目指した酪農学園の創立者・黒澤西蔵の偉業を記念する講堂。1Fでは大学礼拝や講演会が行われ、2Fには黒澤西蔵資料室などがあります。



### B4号館

学習支援室 / 勉強のことで悩んだり、困った際はここへ。英語、数学、国語、情報の専門学習支援アドバイザーが常駐し、学生の習熟度に合わせてサポートします。





## 部活動 クラブ・サークル

日々の学びとともに、生涯にわたる仲間ができる各種のクラブ・サークル活動も盛んです。大学間の交流や、社会人との交流も広がります。



HP  
サークルページ

# Clubs & Circles



### その他の クラブ・ サークル

#### 体育系

- ソフトテニス部
- 剣道部
- ラグビー部
- 山岳部
- 男子バレーボール部
- 柔道部
- バドミントン部
- ワンダーフォーゲル部
- スキー部
- ウエイトリフティング部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 少林寺拳法部
- 空手道部
- アーチェリー部
- 水泳部 酪泳会
- 合気道部
- 硬式テニス部
- 軟式野球部
- 女子バスケットボール部
- フリースタイルスキークラブ
- North Paddler
- 卓球部
- ハンドボール部
- ビリヤードサークル Number9
- 準硬式野球部
- 自転車部
- 女子アイスホッケー部

#### 文化系

- 合唱団
- 軽音楽同好会
- 写真部
- 美術部
- 音楽研究会
- キリスト者学生会
- 旅行サークル「The travelers」
- 漫画倶楽部
- 創作文化研究会
- 酪農学園ボランティアクラブ
- 酪農茶道部
- 棋道部
- 野菜サークル (V.R)
- 植林研究会
- 室内楽団
- ア・カベラサークル『唄種』
- 野生動物との共存支援サークル えれふぁんと
- どうぶつボランティア 幸せなしっぽ
- 国際交流サークル SukaRela
- サマーアグリキャンプ
- ワインサークル「ROWP」
- 動物保全研究会 ルウェ





仲間と楽しく

一人で気ままに

# My Rakuno Life

実家を離れて過ごす大学生活ってどんな感じだろう？

仲間とわいわい楽しい学生寮、のびのびとした一人暮らし。それぞれの先輩のライフスタイルを見てみよう。



## 学生寮 (希望寮)



**久保 晴暉さん**  
獣医学類 3年 鹿児島県 / 鹿児島県立鹿屋農業高等学校 出身  
鹿児島県出身 通学時間 約5分

寮生活のメリットは、学年や学類関係なく仲の良い友人や先輩をつくれること

北海道という初めての土地で、環境に早く慣れたいという思いがありました。高校時代から寮生活をしてきたため、集団生活への不安も少なく寮生活を決めました。キャンパス内に寮があり、徒歩5分で講義棟や研究棟に通えるので大変便利です。

寮生活のメリットは、学年や学類関係なく仲の良い友人や先輩をつくれること。毎日朝晩の食事があるため、バランスのとれた食生活を送れることも助かっています。メニューも豊富でおいしく、毎日楽しみにしています。あとはお風呂が広く、寒い時期に疲れて帰ってきた後に温かい湯船に浸かれるのがありがたいです。共同生活なので、共用の場所は綺麗に掃除をして、寮内の人が気分良く過ごせるよう気をつけています。

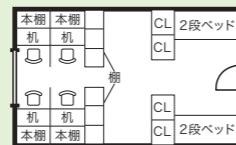


全自動洗濯機と乾燥機を完備。つなぎ専用の洗濯機もあります



入寮者専用のセキュリティカードで開閉するため、セキュリティ対策も万全です

### 間取り(4人部屋)



### 寮費(年間)

	希望寮(男子)	清温泉(女子)
入寮費	60,000円	
学寮費	1人部屋	486,000円
	2人部屋	-
	4人部屋	426,000円
食費(2食)	258,000円	

※電気、ガス、水道の光熱水費、Wi-Fi使用料が含まれています

### Check! 大学敷地内の学生寮で安心・快適な暮らしをはじめよう

学内には2つの学生寮があります。大学の敷地内だから通学ラクラク♪ 1人部屋、2人部屋(清温泉のみ)、4人部屋があり、充実した設備が整っています。



希望寮(男子寮)



清温泉(女子寮)



1人部屋もあります

詳しくはコチラ



## 一人暮らし

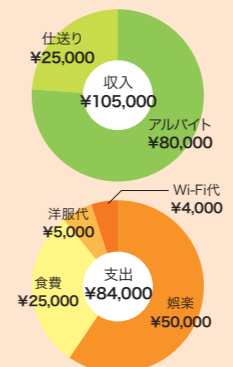


**三木 ひなたさん**  
循環農学類 2年 大阪府 / 大阪女学院高等学校 出身  
大阪府出身 通学時間 約30分

好きな時間に好きなことができる点が、一人暮らしの魅力

共同生活にやや苦手意識があったので、一人暮らしを決めました。大学まで徒歩30分とアクセスが良く、白が基調の明るい雰囲気が入って今の物件を選択。コンビニ・薬局・バス停が近いこと、オートロック、水道代が固定であることも決め手になりました。空港へのアクセスが良いため旅行に行きやすく、自然豊かで景色もきれいな良い場所だと思います。好きな時間に好きなことができる点、北海道まで遊びに来てくれた家族や友人を泊められる点が一人暮らしの魅力ですね。最近は自炊をしていて、安いスーパーで買い物したり、必要のない物を買わないようにしたりと、工夫してやりくりしています。忙しい大学生活と並行しながら効率よく家事を行う今の生活を楽しんでいます。

### 1カ月の生活費



### Check! 酪農学園生協ルームガイドで安心して一人暮らしをはじめよう

酪農学園生協で一年を通じてお部屋探しのお手伝いしているルームガイド。本人の希望や生活に合う部屋を的確に紹介します。仲介手数料は全物件無料です。



詳しくはコチラ



INFORMATION ※日程・内容は予定であり、変更の可能性があります。

見て・聞いて・味わおう！ 酪農学園まるごと体感！

# OPEN CAMPUS 2024

本学開催



第1回 6/30日

第2回 7/20土・21日

第3回 9/28土

2025年  
第4回 3/22土



酪農の魅力を全力でお伝えします!!

学食体験では自慢のアイスをプレゼント!

オープンキャンパススタッフがあなたの進路を応援します!!

主なプログラム

●学類イベント

- ・学類の魅力紹介
- ・研究室・ユニット紹介
- ・キャンパスライフ紹介 など

●見学イベント

- ・酪農生産ステーション
- ・作物生産ステーション
- ・肉畜生産ステーション
- ・附属動物医療センター
- ・環境共生学類施設見学

●オープンラボ

●見学ツアー

●学食体験

●学生相談・教員相談・入試相談 など

受験生サイトもCHECK!



オープンキャンパススタッフ Instagram



オープンキャンパススタッフ X



## 出張オープンキャンパス

in 大阪 東京

教員、学生、入試広報センター教職員が現地の会場で直接、酪農学園大学の魅力をお伝えします!!

大阪 8/24土 東京 8/26日



## ミニ出張オープンキャンパス

in 大阪 東京

教員、学生が北海道からWEB出演! 入試広報センター教職員が、現地の会場で個別相談を行います!

大阪 6/1土 東京 6/8土



北海道まで来られなくてもキャンパスを体感!



## 学内見学

実際にキャンパスを見てみたい! 学内の雰囲気を感じたい! という皆さんをお待ちしています。

詳細・申し込み方法についてはコチラから



学内見学期間 5/1水 ~ 10/31木まで  
(土曜・日曜・祝日および8/10~17を除く)  
時間 9:00~16:00



RGUをもっと身近に!

## 酪農学園大学を知るなら SNS や動画もチェック!



ムービーで大学の空気をお届け!

## 酪農学園大学 MOOVIE

酪農学園大学の大学紹介ムービーが満載。学類紹介から大学の最新ニュースまで、北海道・大自然にあるキャンパスを体験できます。

要チェック!

今すぐ見たいこう



幅広く知りたい方はこちらへ

## 公式サイト



入試情報やオープンキャンパス情報がまとまっています

## 受験生サイト



SNSでタイムリーな情報をキャッチ!

Facebook



Instagram



X



いつでも! 気軽な質問はLINEで!

LINEメニューから質問をタップ! 自動応答ですぐに回答を受け取れます。



※LINE相談で解消しない質問は、Zoom個別相談を活用してください!

要予約! じっくり相談はZoomで!

Zoomを利用し、大学教職員が直接相談・説明を行います。

開催日時 5月下旬~10/31木

お申し込み WEBオープンキャンパス特設サイトに

